

各務原市
多文化共生推進プラン策定調査
結果報告書

令和4年3月

各務原市

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査概要.....	1
3.	報告書の見方.....	1
II	統計資料	2
1.	人口推移.....	2
2.	国籍別人口・在留資格別人口.....	3
3.	外国人市民の年齢別人口構成.....	4
4.	外国籍市民の国籍別在留資格別人口.....	5
5.	外国人児童生徒数.....	6
III	外国人市民アンケート調査結果	7
1.	調査結果のまとめ.....	7
2.	ご自身のことについて.....	10
3.	日本語について.....	18
4.	生活全般について.....	28
5.	仕事について.....	46
6.	医療等について.....	51
7.	子育て・教育について.....	55
8.	日本人との交流・活動について.....	65
9.	今後の定住意向について.....	79
10.	各務原市のサービスについて.....	86
IV	日本人市民アンケート調査結果	103
1.	調査結果のまとめ.....	103
2.	ご自身のことについて.....	105
3.	外国人市民への理解や交流について.....	113
4.	多文化共生のまちづくりについて.....	122
V	団体・企業ヒアリング調査結果	130
1.	調査の目的.....	130
2.	調査概要.....	130
3.	調査結果.....	130
VI	外国人市民ワークショップ調査結果	132
1.	調査の目的.....	132
2.	調査概要.....	132
3.	調査結果.....	132

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民のみなさまが外国人市民についてどのような意識や関わりをお持ちなのかをお聞きし、多文化共生のまちづくりに反映させるために実施します。

2. 調査概要

調査対象者	市内に住む 16 歳以上の 日本人市民 2,000 人（無作為抽出）	市内に住む 16 歳以上の 外国人市民 2,000 人（無作為抽出）
調査票配布数	2,000 件	2,000 件
有効回答数	913 件（内 WEB 回答 294 件）	285 件（内 WEB 回答 108 件）
有効回答率	45.7%	14.3%
調査期間	令和 3 年 12 月 14 日～令和 4 年 1 月 20 日	
調査方法	郵送配布・郵送回収、WEB 回答	

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N(number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- 表中の比率で、最も高いものは **0.0**、次に高いものは **0.0** と強調した表示となっています。

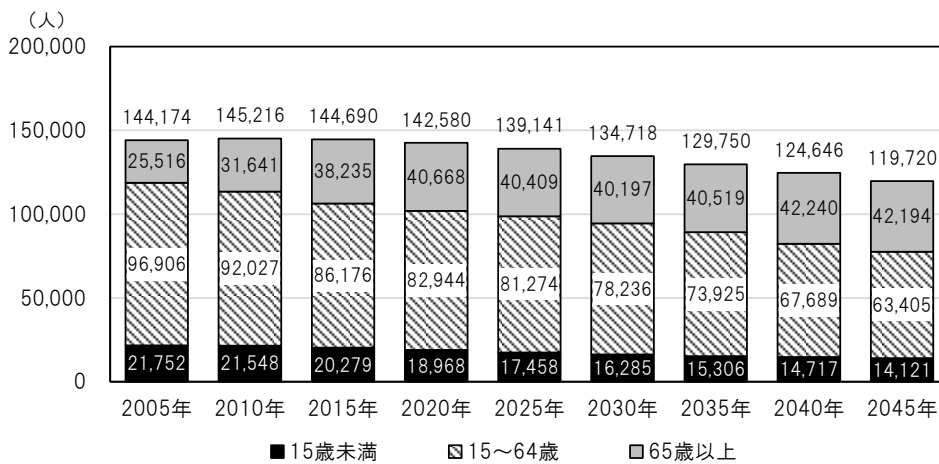
II 統計資料

1. 人口推移

各務原市の総人口は今後も減少していくことが予測されており、人口構成では、65歳以上の人口割合が増加することが見込まれています。

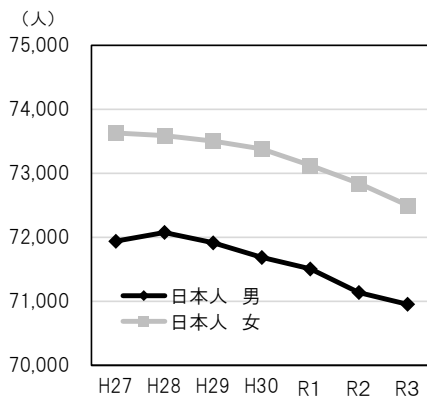
各務原市の人口の動向を日本人と外国人に分けてみると、日本人は男女ともに近年減少傾向にあります。外国人人口は男女ともに増加傾向にあります。特に外国人男性の増加率が高く、平成27年と令和2年を比較して500人近く増加しています。

■各務原市の人口の推移と推計

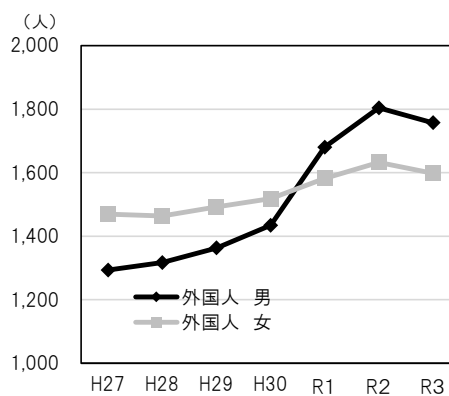


資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

■各務原市の日本人人口の推移



■各務原市の外国人人口の推移



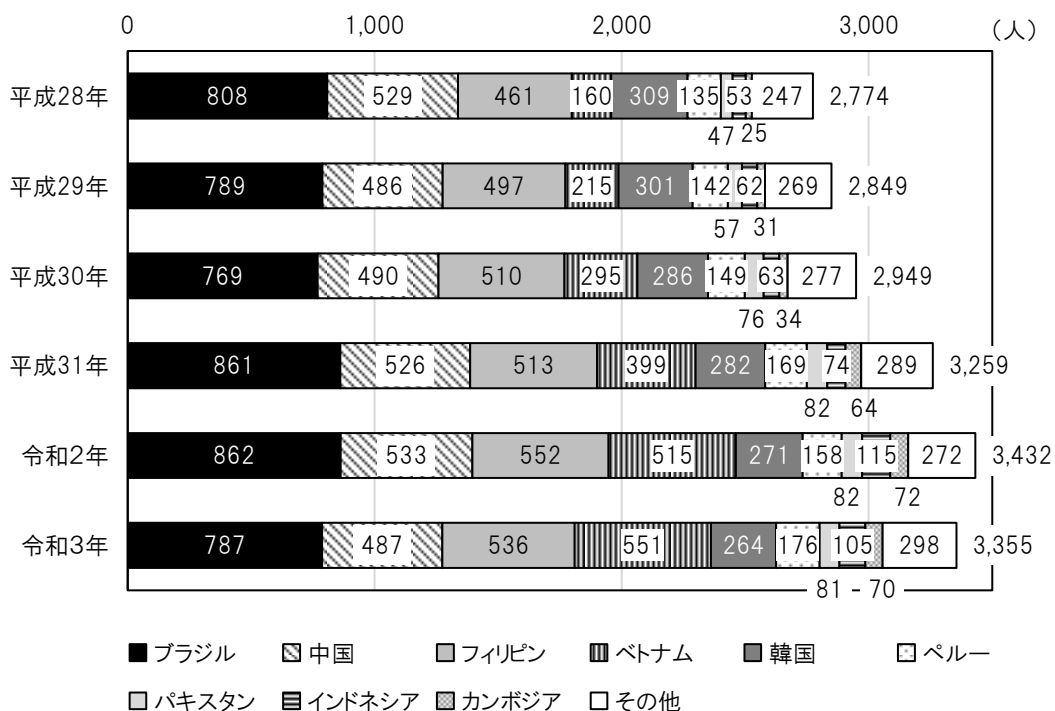
資料：各務原市HP統計

2. 国籍別人口・在留資格別人口

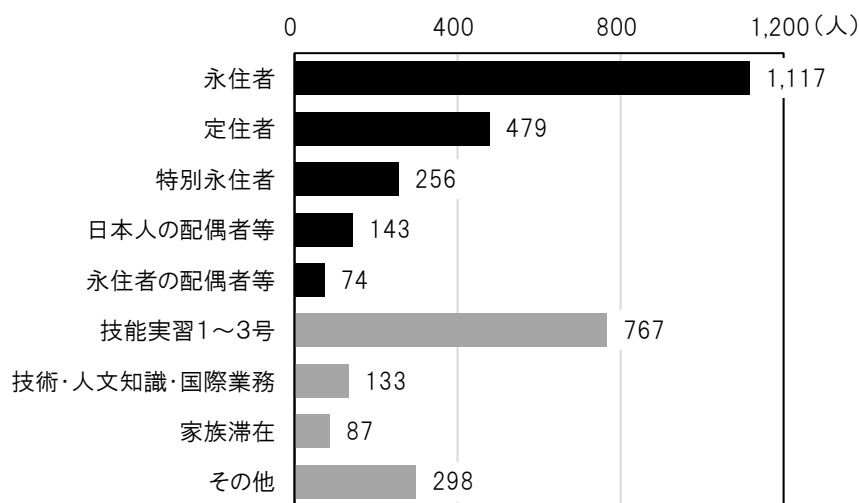
国籍別人口はブラジルが787人で最も多く、次いでベトナム（551人）、フィリピン（536人）となっています。なかでもベトナムは平成28年の160人から551人と増加幅が大きくなっています。

在留資格では身分・地位に基づく在留資格（永住者～永住者の配偶者等）が約6割を占めており、長期滞在の人が多くなっています。

■ 国籍別人口の推移（各年3月末）



■ 在留資格別人口（令和3年3月31日時点）

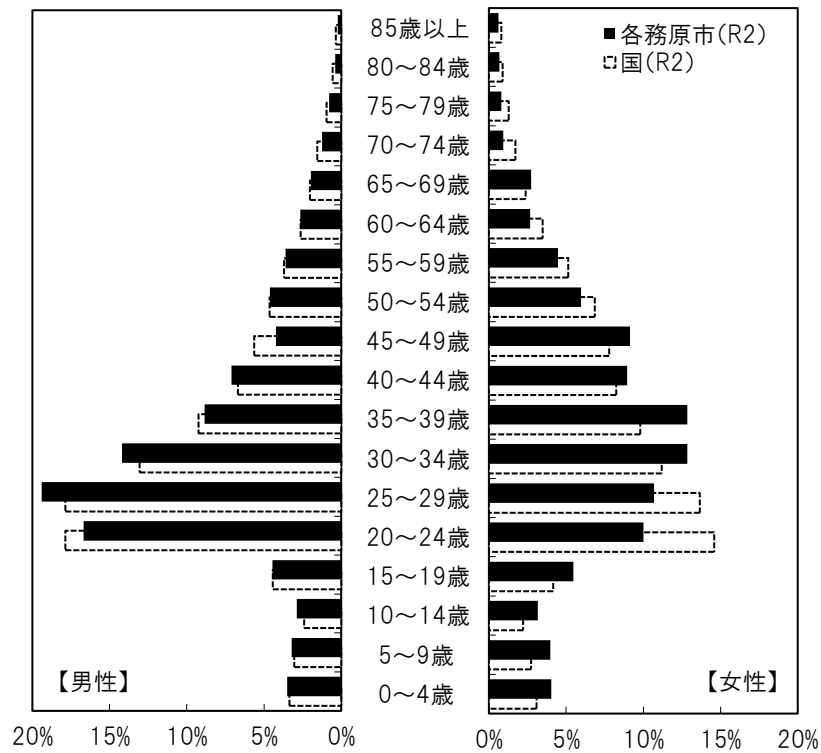


資料：各務原市統計データ

3. 外国人市民の年齢別人口構成

外国籍市民の年齢別人口構成割合では、全国合計に比べ、男性では20歳代後半～30歳代前半、女性では0～10歳代、30歳代、40歳代が主に高くなっています。

■外国人市民の年齢別人口構成（令和2年1月1日時点）

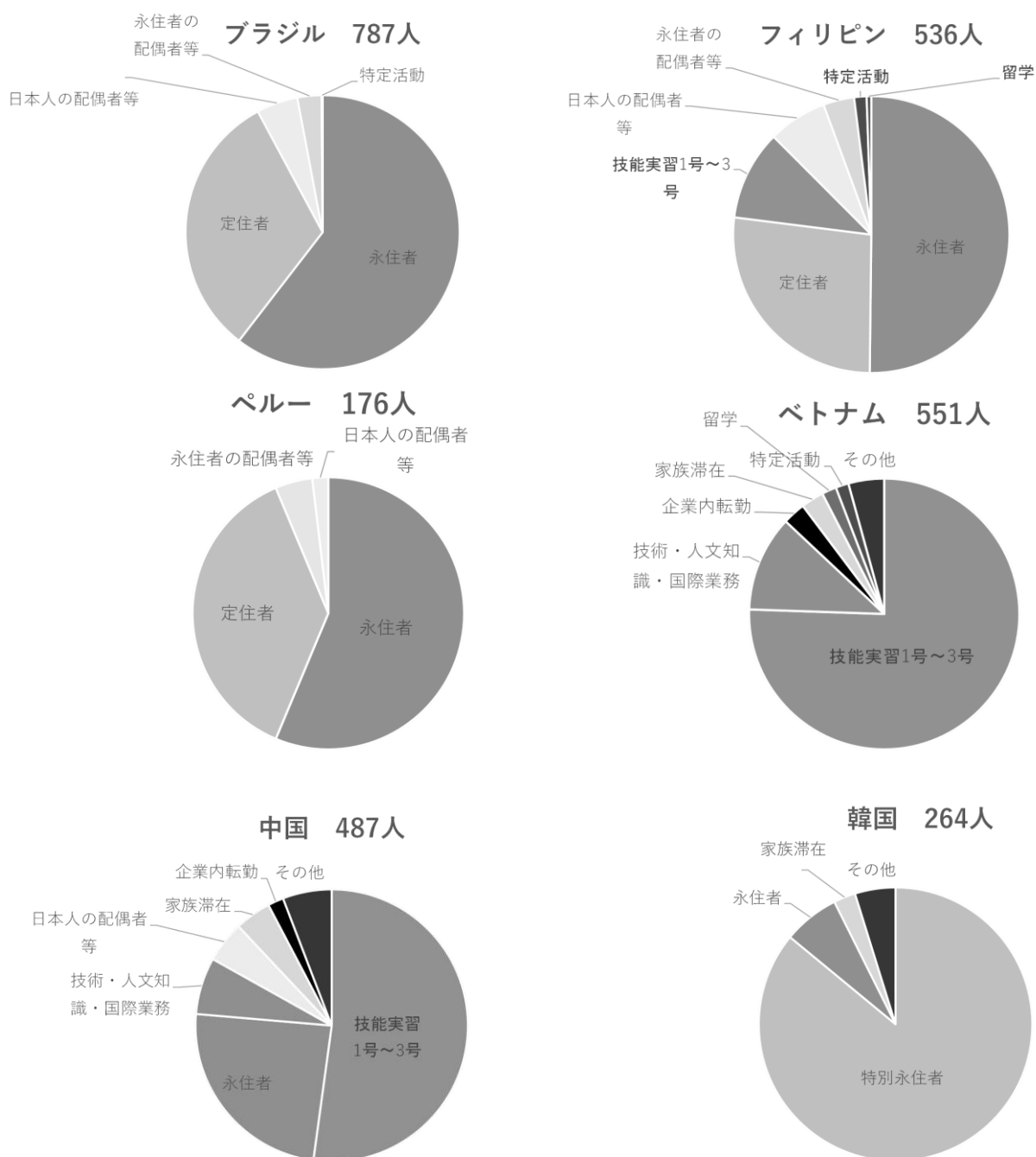


資料：住民基本台帳人口（総務省）

4. 外国籍市民の国籍別在留資格別人口

外国籍市民の国籍別在留資格別人口については、ブラジル国籍、フィリピン国籍、ペルー国籍では永住者が最も多く、ベトナム国籍、中国国籍では技能実習1～3号、韓国国籍では特別永住者が多くなっています。

■外国籍市民の国籍別在留資格別人口



2021年4月1日現在

5. 外国人児童生徒数

各務原市の外国人児童生徒数の合計は180人で、市内の小・中学校生徒児童数の約1.5%となっています。

国籍別ではブラジル国籍が78人と最も多く、次いでフィリピン国籍が28人、ペルー国籍が20人となっており、外国人児童生徒の約6割が日本語指導必要児童となっています。

小学校における外国人児童生徒数は123人、中学校では57人となっています。

■外国人児童生徒数

外国人児童生徒数の割合		
外国人児童生徒数	小・中学校生徒児童数	外国人児童生徒数割合
180	11,870	1.51%

国籍別児童生徒数		
	外国人児童生徒数	日本語指導必要児童生徒数
ブラジル	78	52
フィリピン	28	18
ペルー	20	15
中国	17	3
その他	37	24
合計	180	112

小学校		
	外国人児童生徒数	日本語指導必要児童生徒数
1年	26	17
2年	19	12
3年	22	15
4年	26	16
5年	16	12
6年	14	8
合計	123	80

中学校		
	外国人児童生徒数	日本語指導必要児童生徒数
1年	21	12
2年	20	10
3年	16	10
合計	57	32

2021年5月1日現在

Ⅲ 外国人市民アンケート調査結果

1. 調査結果のまとめ

①交流機会の創出・活性化が求められています。

○近隣の日本人住民との付き合いの有無については「親しく付き合っている」と「あいさつをする程度の付き合いはある」を合わせた【付き合いがある計】は62.5%、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた【付き合いがない計】は33.6%と3割以上の方は【付き合いがない】という結果となっています。（外国人市民調査：問40/P65）

○日本人住民との付き合いがない理由については「きっかけがない」が51.0%、「言葉が通じない」が31.3%、「文化や習慣の違いが理解してもらえないと思う」が19.8%となっており、「きっかけがない」は5割を超えています。（外国人市民調査：問41/P67）

○今後、希望する地域の日本人との交流については、「地域やまちのボランティア活動」が30.9%、「日本人に母国の文化を紹介」「日本の文化や習慣を学びたい」がともに30.2%となっており、何かしら日本人との交流を希望している結果となっています。（外国人市民調査：問43/P71）

○現在の仕事での困り事・不安な点については、「特にない」（48.5%）、「賃金（収入）が不満」（30.2%）に次いで、「コミュニケーションがうまくいかない」が17.0%で3位となっており、コミュニケーションは仕事場の困り事・不安な点においても大きな要因となっていることが見受けられます。（外国人市民調査：問29/P50）

※外国人市民ワークショップにおいても、コミュニケーションに関する関心は高く、コミュニケーションに関する要望・質問等が多くなっていました。（外国人市民ワークショップ調査：P132）

②多様な形の相談体制や情報提供が求められています。

○困り事の相談先については、「同じ国籍の友人」が34.7%、「会社の上司や同僚」が33.3%、「行政（市役所など）」が27.7%となっており、比較的身近にいる人が相談先となっていますが、相談できる人が身近にいない人は孤立する可能性も考えられます。

（外国人市民調査：問 18/P34）

○生活する上で、普段からの不安な点、困り事については、「特にない」、「日本語でのコミュニケーション」に次いで「火災や急なケガなど緊急時の対応」（17.5%）、「地震や台風などの災害時の対応」（16.5%）が上位にランクインしていることから、緊急時における体制づくりへの要望の高さが見受けられます。（外国人市民調査：問 17/P32）

○災害に対する不安な点については、「特にない」が38.9%、「避難場所がわからない」が30.2%、「災害時の行動や対応がわからない」が27.7%。また、「どこに連絡すればいいかわからない」も27.4%で4位にランクインしていることから、緊急時における初期行動の難しさが結果として表れています。（外国人市民調査：問22/P40）

○生活に必要な情報の入手方法については、「SNS（Facebook、LINEなど）」が42.8%、「母国語のテレビ・新聞・雑誌」が40.7%、「日本語のテレビ・新聞・雑誌」が40.4%となっており、情報のツールが多岐に渡っていることが見受けられます。（外国人市民調査：問19/P36）

○地震や台風等の情報の入手方法については、「インターネット」が67.0%、「テレビやラジオ」が58.2%、「SNS（Facebook、LINEなど）」が37.5%となっており、緊急性の高い情報については、「テレビやラジオ」のスコアが高くなっています。一方、「テレビやラジオ」に関しましては、言葉の壁による情報の理解度のバラツキが懸念されます。

（外国人市民調査：問24/P43）

○病気やけがで病院に行くときの困り事については、「特にない」が42.1%、「診察のときに、言葉がよく通じない」が26.0%、「薬の説明がわからない」が17.2%となっていることから、医療現場における受け入れ態勢の再構築が必要になってくると考えられます。

（外国人市民調査：問30/P51）

○出産・育児での困り事については、「予防接種の案内がよくわからない」が12.9%、保育所・幼稚園での困り事については、保育所・幼稚園に「通っていない」が20.3%、介護サービスを受ける際の困り事・心配事については、「介護保険制度がよくわからない」が21.1%と、制度に関して理解されていないと考えられる方が1割台から2割台と存在していることが、懸念材料となっています。

（外国人市民調査：問33/P55、問34/P56、問32/P54）

※外国人市民ワークショップでは、情報の入手についてはその方法がわからないといった意見が見られ、情報発信の在り方についてはコミュニケーションにつながる重要なツールとして、更なる周知・啓発を求める声が上がっていました。（外国人市民ワークショップ調査：P133）

③言語の壁に対する支援が求められています。

○生活する上で、普段からの不安な点、困り事についてみると、「特にない」が41.1%で最も高く、次いで「日本語でのコミュニケーション」が34.7%となっています。

(外国人市民調査：問17/P32)

○日本語の必要性については、「日常生活のために必要」が74.0%で最も高く、次いで「仕事・勉強をしていくために必要」が69.8%と多くの方が必要性を感じている結果となっています。

(外国人市民調査：問10/P22)

○各務原市に対して充実してほしいサービスについては、「行政情報の多言語化」が43.9%、「日本語教育・教室」が34.4%、「行政の窓口における通訳」が30.2%と上位項目は全て言語に関する要望となっています。(外国人市民調査：問52/P98)

○母国語での提供が必要な情報については、「医療、福祉」が49.1%、「税金関連」が41.4%、「災害時の情報(避難所など)」が35.1%となっており、難しい言葉になりがちな項目が上位にランクインしている結果となっています。(外国人市民調査：問21/P39)

○学校における困り事・悩み事については、「日本語の力が十分でない」が18.1%、「授業の内容が理解できない」が13.3%となっており、約1割の方が言語の壁が要因となる困り事・悩み事がかかえている結果となっています。(外国人市民調査：問38/P62)

○日本語を学ぶための方法については、「独学」が46.3%、「日本人の知人・友人に教えてもらう」が30.9%、「ボランティアによる日本語教室」が29.5%となっています。

また、日本語能力を高める努力についても、「本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる(通信教育を含む)」52.3%、「日本人の友人・知人に教えてもらっている」が20.0%、「家族に教えてもらっている」が18.9%となっていることから、1人で日本語を学ぶ状況が最も多く、多様な勉強手段が選択できる仕組みの構築が今後必要になってくると考えられます。

(外国人市民調査：問13/P26、問11/P23)

※外国人ワークショップにおいても、日本語については、勉強方法に関する質問や「やさしい日本語」を求める意見等もあり、言葉の壁を感じている方も見られました。

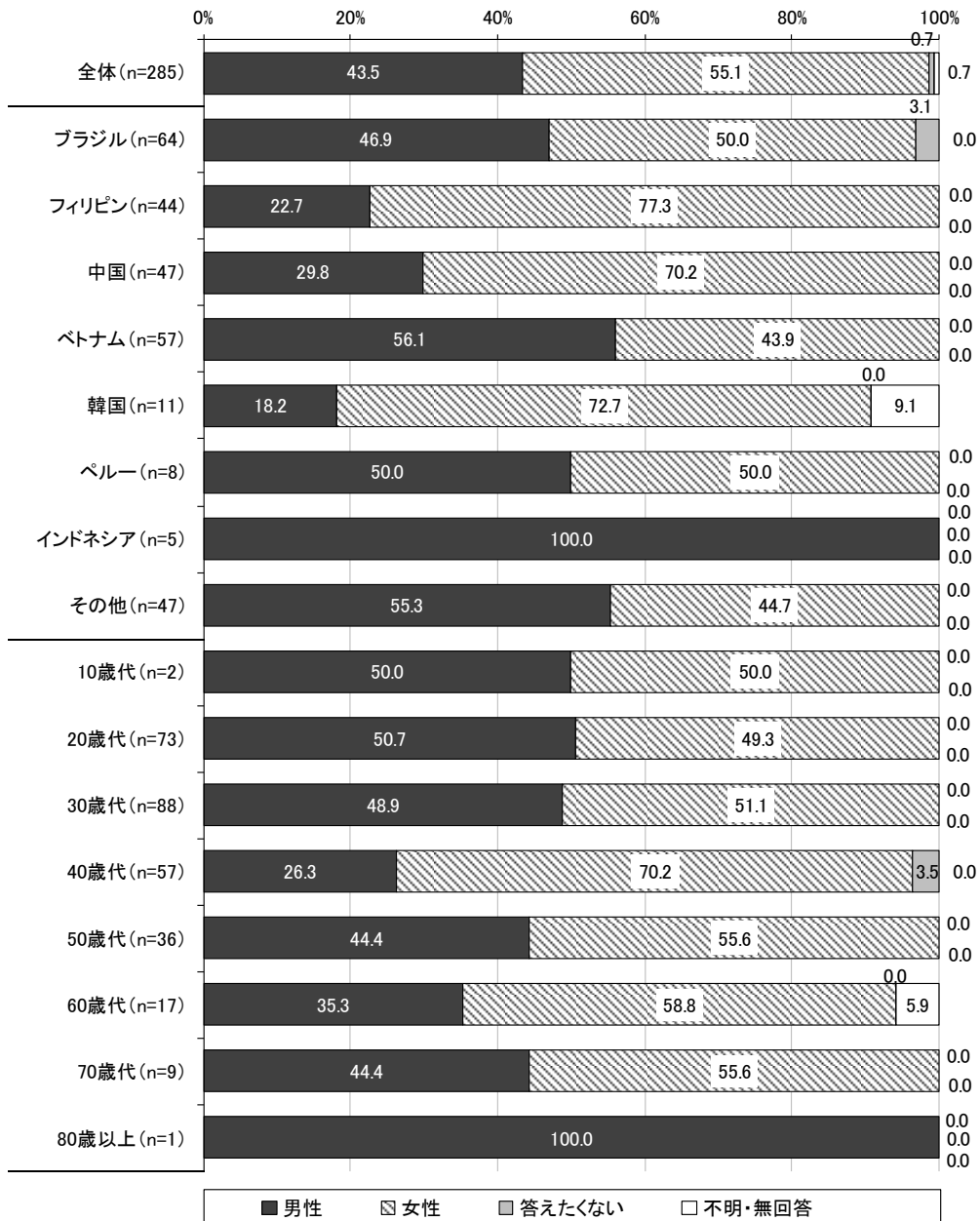
(外国人市民ワークショップ調査：P133)

2. ご自身のことについて

(1) 性別（単数回答）

問1 性別はどれにあてはまりますか。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が43.5%、「女性」が55.1%、「答えたくない」が0.7%となっています。

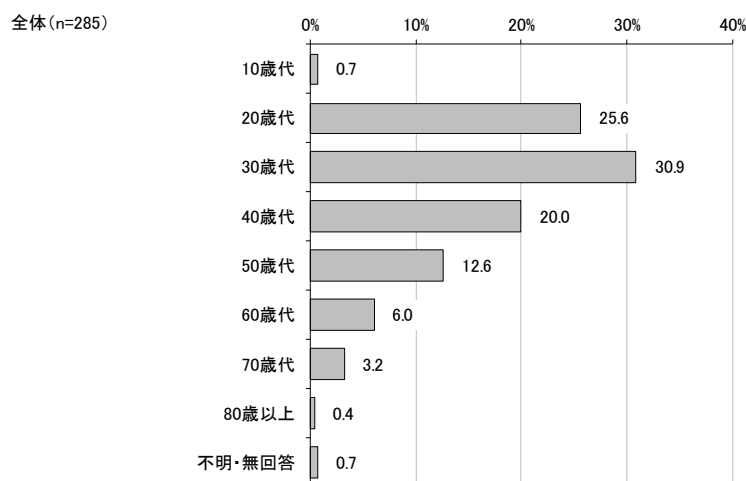


(2) 年齢（単数回答）

問2 年齢は次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

年齢についてみると、「30歳代」が30.9%で最も高く、次いで「20歳代」が25.6%、「40歳代」が20.0%となっています。

国籍別にみるとベトナムでは「20歳代」が61.4%と高くなっています。



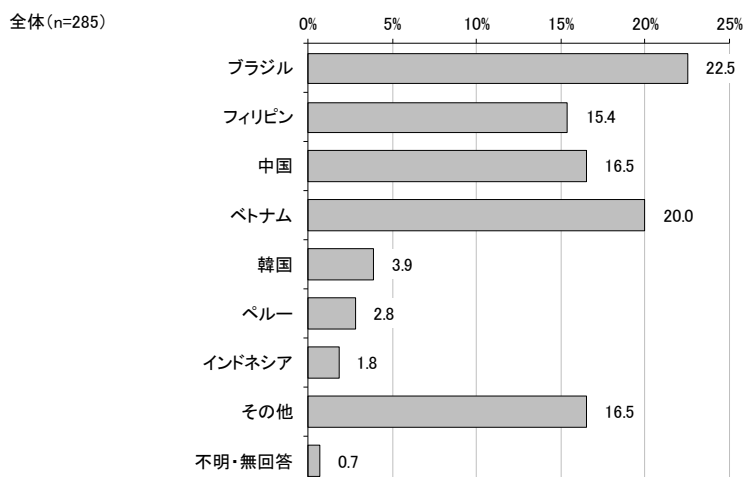
単位：%		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明・無回答
全体 (n=285)		0.7	25.6	30.9	20.0	12.6	6.0	3.2	0.4	0.7
国籍別	ブラジル (n=64)	3.1	9.4	23.4	25.0	25.0	12.5	1.6	0.0	0.0
	フィリピン (n=44)	0.0	15.9	27.3	34.1	20.5	2.3	0.0	0.0	0.0
	中国 (n=47)	0.0	25.5	42.6	23.4	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	ベトナム (n=57)	0.0	61.4	36.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1	27.3	27.3	9.1	0.0
	ペルー (n=8)	0.0	12.5	25.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	0.0	19.1	38.3	19.1	6.4	4.3	10.6	0.0	2.1

(3) 国籍（単数回答）

問3 国籍はどれですか。(1つに○)

国籍についてみると、「ブラジル」が22.5%で最も高く、次いで「ベトナム」が20.0%、「中国」「その他」がともに16.5%となっています。

年代別にみると20～30歳代は「ベトナム」、40～60歳代は「ブラジル」が最も高くなっています。



単位: %		ブラジル	フィリピン	中国	ベトナム	韓国	ペルー	インドネシア	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		22.5	15.4	16.5	20.0	3.9	2.8	1.8	16.5	0.7
年代別	10歳代 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	8.2	9.6	16.4	47.9	0.0	1.4	4.1	12.3	0.0
	30歳代 (n=88)	17.0	13.6	22.7	23.9	0.0	2.3	0.0	20.5	0.0
	40歳代 (n=57)	28.1	26.3	19.3	1.8	5.3	1.8	1.8	15.8	0.0
	50歳代 (n=36)	44.4	25.0	11.1	0.0	2.8	5.6	2.8	8.3	0.0
	60歳代 (n=17)	47.1	5.9	0.0	0.0	17.6	11.8	0.0	11.8	5.9
	70歳代 (n=9)	11.1	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	55.6	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

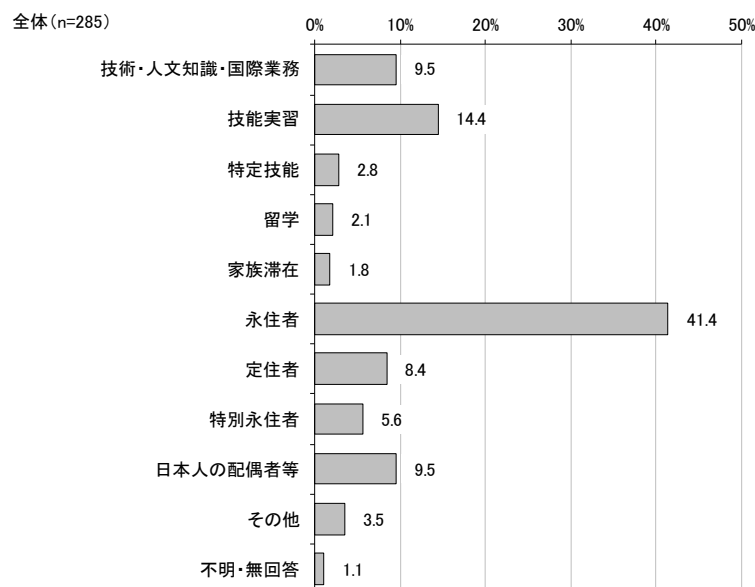
(4) 在留資格（単数回答）

問4 在留資格はどれですか。（1つに○）

在留資格についてみると、「永住者」が41.4%で最も高く、次いで「技能実習」が14.4%、「技術・人文知識・国際業務」「日本人の配偶者等」がともに9.5%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・韓国・その他は「永住者」が最も高く、ベトナムは「技能実習」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「技能実習」が最も高くなっています。30～60歳代は「永住者」が最も高く、50～60歳代は7割を超えています。



単位:%		技術・人文知識・国際業務	技能実習	特定技能	留学	家族滞在	永住者	定住者	特別永住者	日本人の配偶者等	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		9.5	14.4	2.8	2.1	1.8	41.4	8.4	5.6	9.5	3.5	1.1
国籍別	ブラジル (n=64)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67.2	26.6	0.0	1.6	3.1	1.6
	フィリピン (n=44)	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	59.1	15.9	2.3	11.4	4.5	0.0
	中国 (n=47)	17.0	14.9	0.0	4.3	4.3	31.9	0.0	0.0	25.5	2.1	0.0
	ベトナム (n=57)	21.1	49.1	12.3	1.8	5.3	3.5	0.0	0.0	3.5	3.5	0.0
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	63.6	9.1	0.0	0.0
	ペルー (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	12.8	4.3	2.1	4.3	0.0	40.4	0.0	14.9	12.8	6.4	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	17.8	37.0	6.8	6.8	2.7	15.1	6.8	0.0	2.7	2.7	1.4
	30歳代 (n=88)	15.9	15.9	3.4	1.1	2.3	26.1	9.1	2.3	18.2	5.7	0.0
	40歳代 (n=57)	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	68.4	10.5	5.3	10.5	3.5	0.0
	50歳代 (n=36)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.2	11.1	5.6	8.3	0.0	2.8
	60歳代 (n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.6	0.0	23.5	0.0	5.9	0.0
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

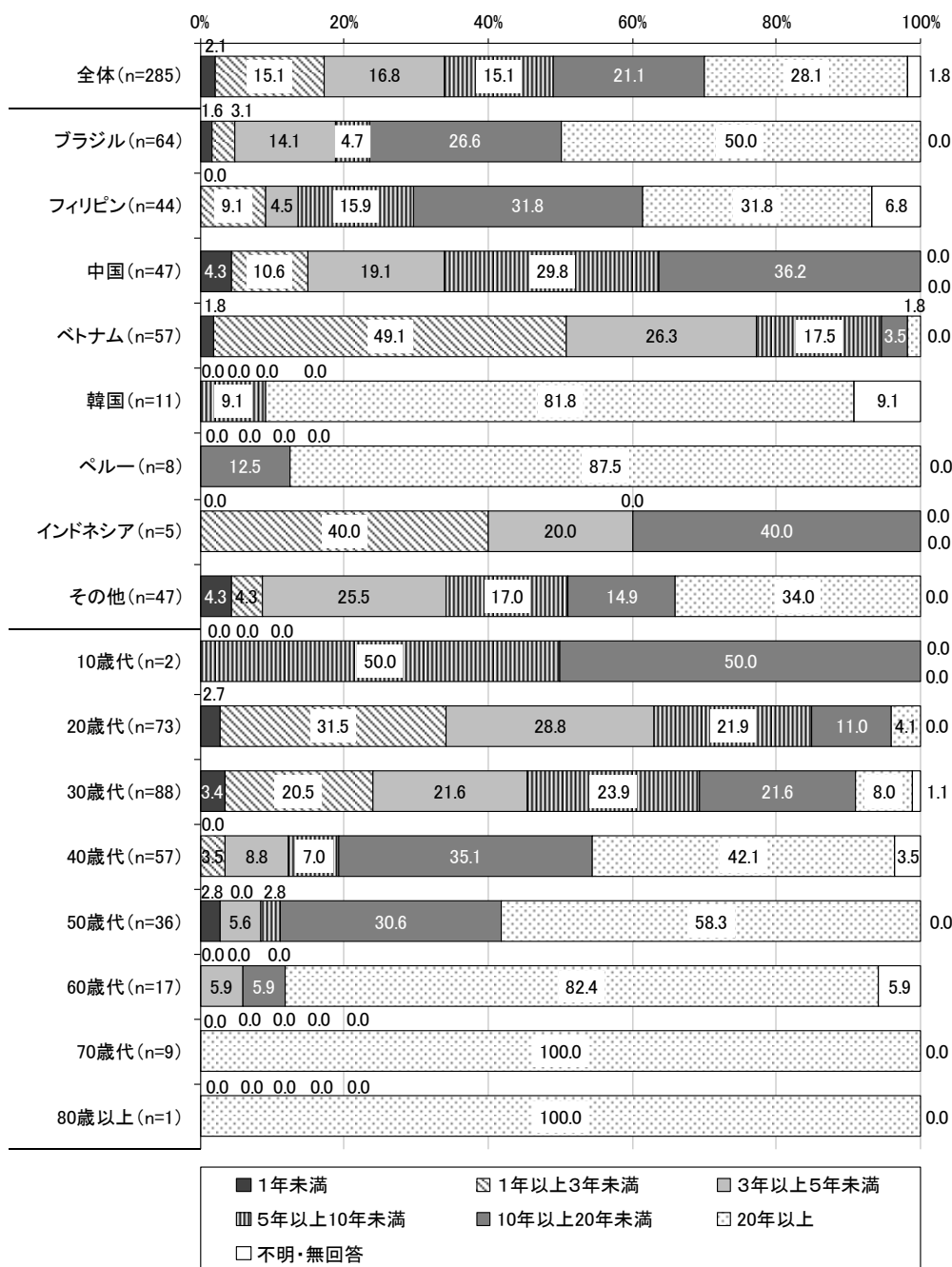
(5) 日本の居住年数（単数回答）

問5 日本に通算で何年くらい住んでいますか。（1つに○）

日本の居住年数についてみると、「20年以上」が28.1%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が21.1%、「3年以上5年未満」が16.8%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・韓国は「20年以上」が最も高く、韓国は8割を超えています。フィリピンは「10年以上20年未満」も高くなっています。中国は「10年以上20年未満」が最も高くなっています。

年代別では、年代に比例して居住年数が高くなる傾向となっています。



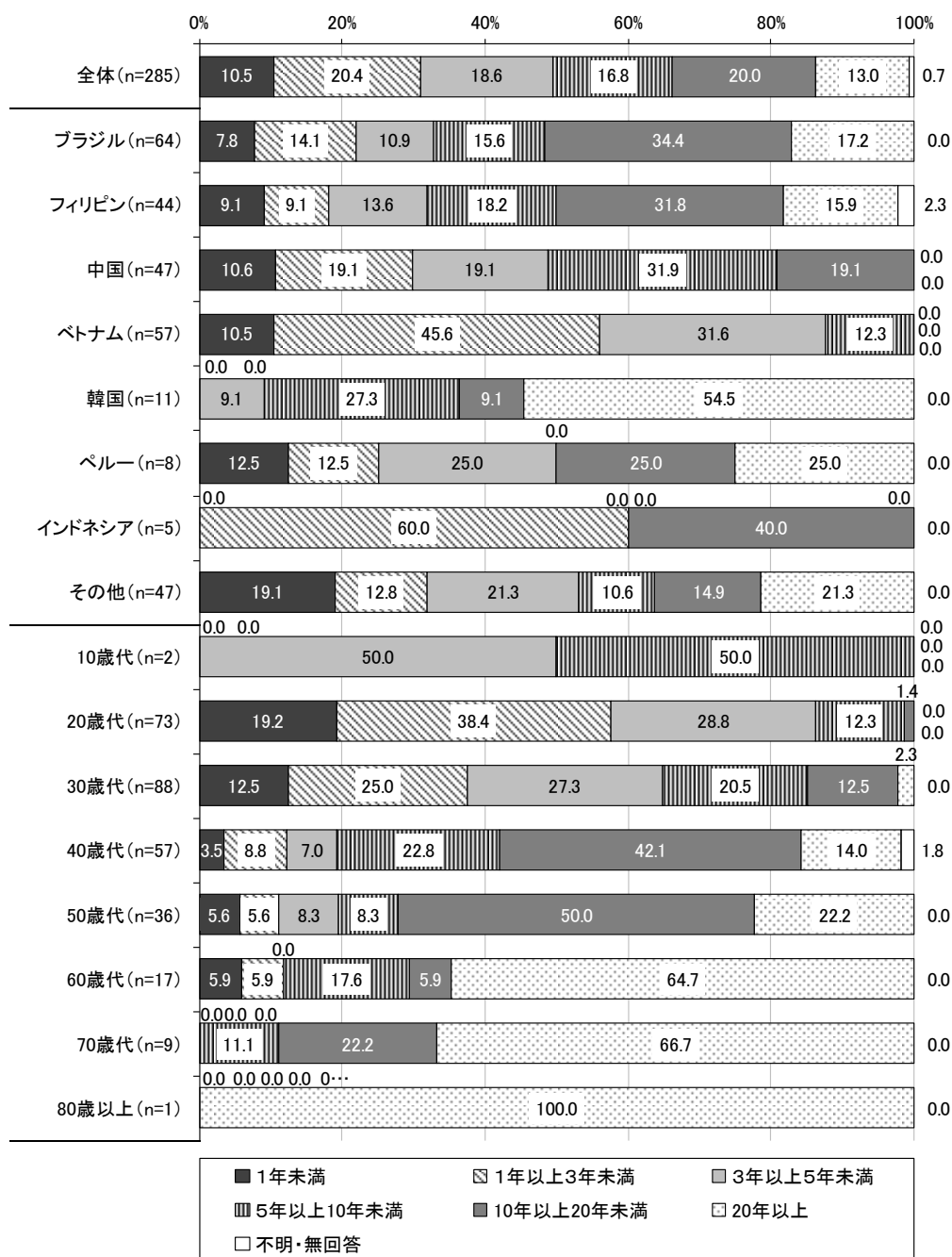
(6) 各務原市の居住年数（単数回答）

問6 各務原市に通算で何年くらい住んでいますか。（1つに○）

各務原市の居住年数についてみると、「1年以上3年未満」が20.4%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が20.0%、「3年以上5年未満」が18.6%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピンは「10年以上20年未満」が最も高く、中国は「5年以上10年未満」、ベトナムは「1年以上3年未満」、韓国は「20年以上」が最も高くなっています。

年代別では、日本の居住年数と同様、年代に比例して居住年数が高くなる傾向となっています。



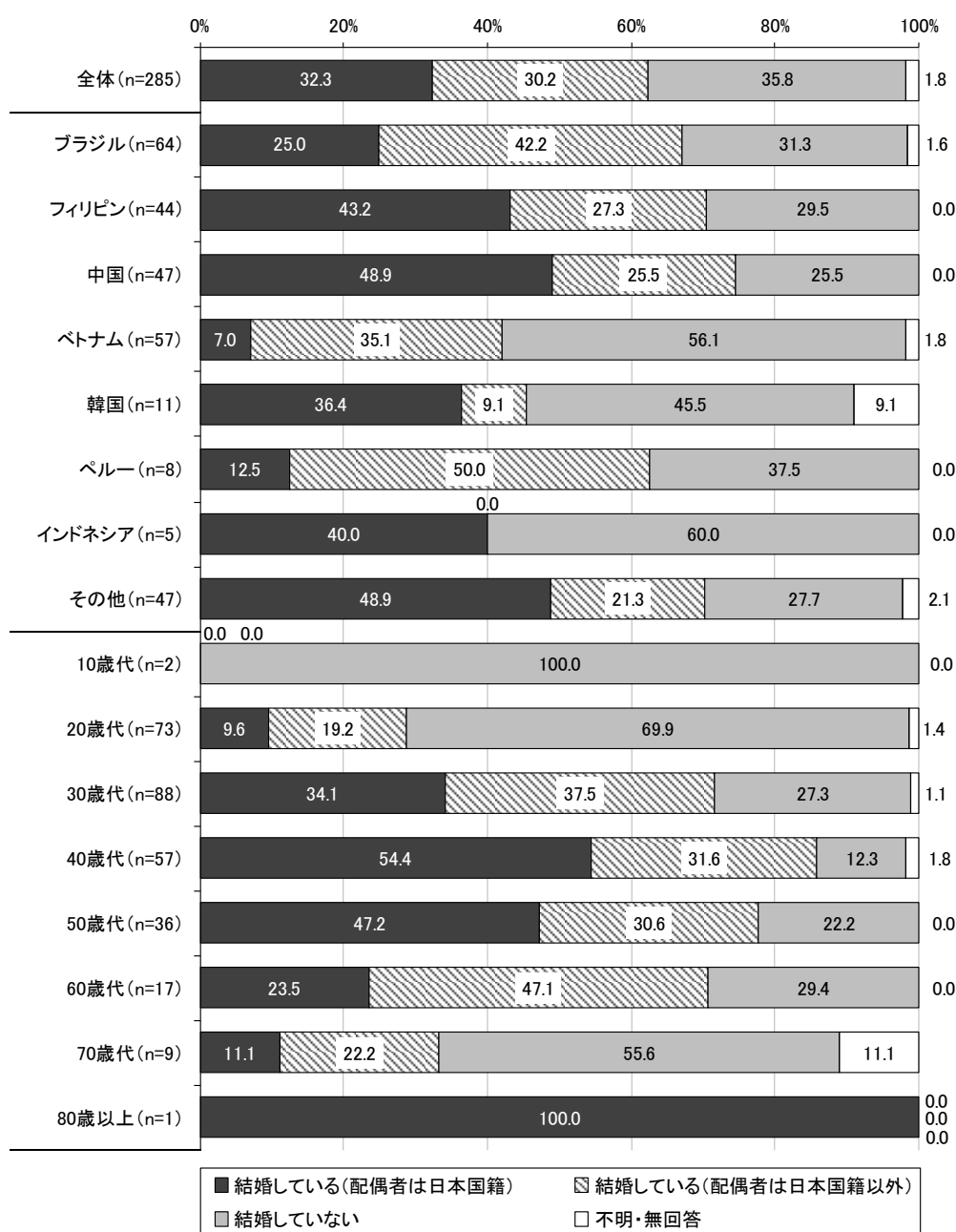
(7) 結婚の有無（単数回答）

問7 結婚していますか。(1つに○)

結婚の有無についてみると、「結婚していない」が35.8%、「結婚している（配偶者は日本国籍）」が32.3%、「結婚している（配偶者は日本国籍以外）」が30.2%となっており、「結婚している（配偶者は日本国籍）」と「結婚している（配偶者は日本国籍以外）」を合わせた【結婚している計】は62.5%と6割を超えています。

国籍別にみると【結婚している計】は中国（74.4%）が最も高く、次いでフィリピン（70.5%）、その他（70.2%）となっています。一方最も低い国籍はベトナムで42.1%となっています。

年代別で【結婚している計】をみると、20歳代は28.8%と3割を下回っていますが、30歳代では71.6%と7割を超えるスコアとなっています。



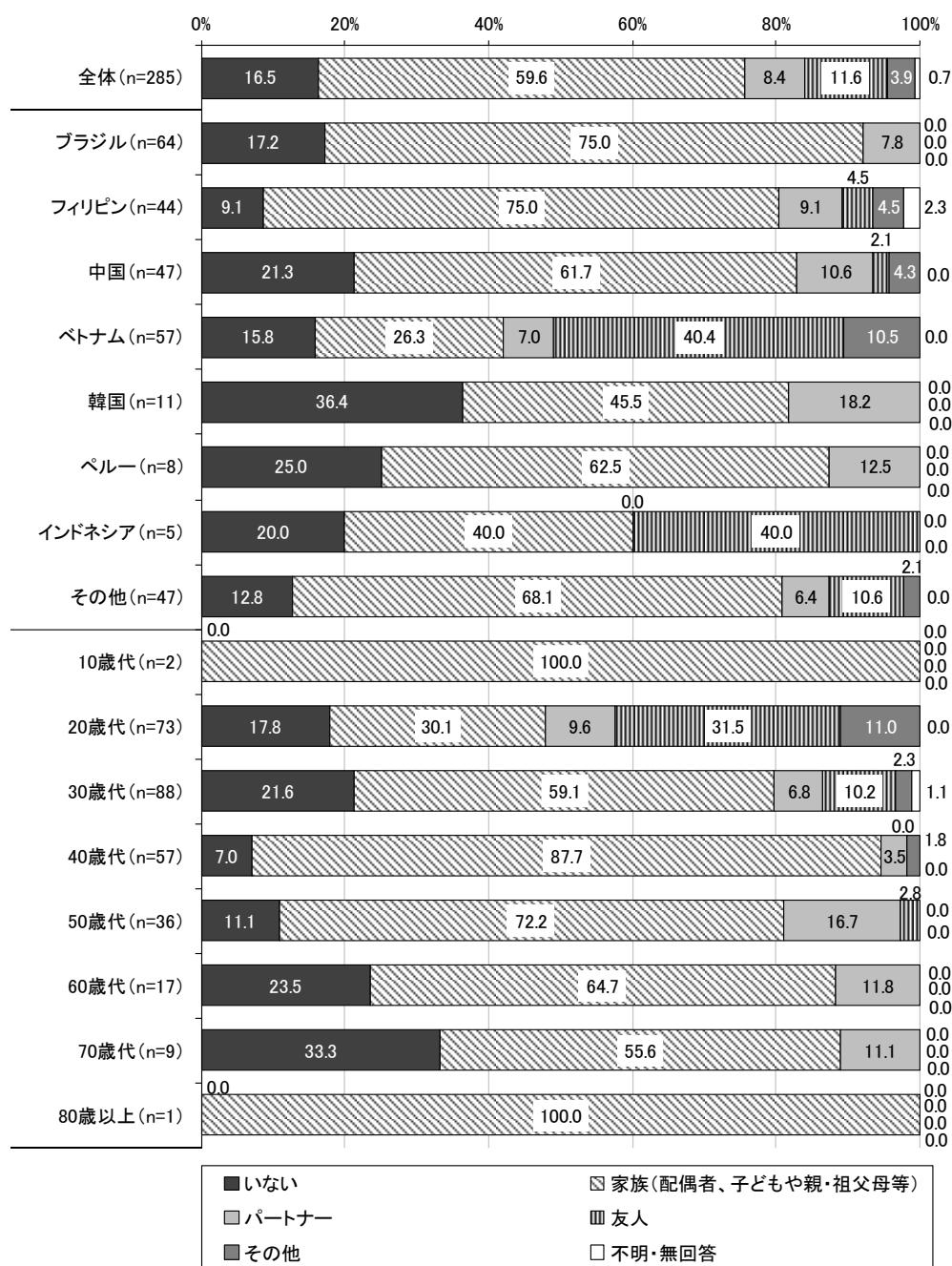
(8) 同居人について (複数回答)

問8 現在あなたと同居している人は誰ですか。(〇はいくつでも)

同居人についてみると、「家族(配偶者、子どもや親・祖父母等)」が59.6%で最も高く、次いで「いない」が16.5%、「友人」が11.6%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・韓国・その他は「家族」が最も高く、ベトナムは「友人」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「友人」が最も高く、30～60歳代は「家族」が最も高くなっています。



3. 日本語について

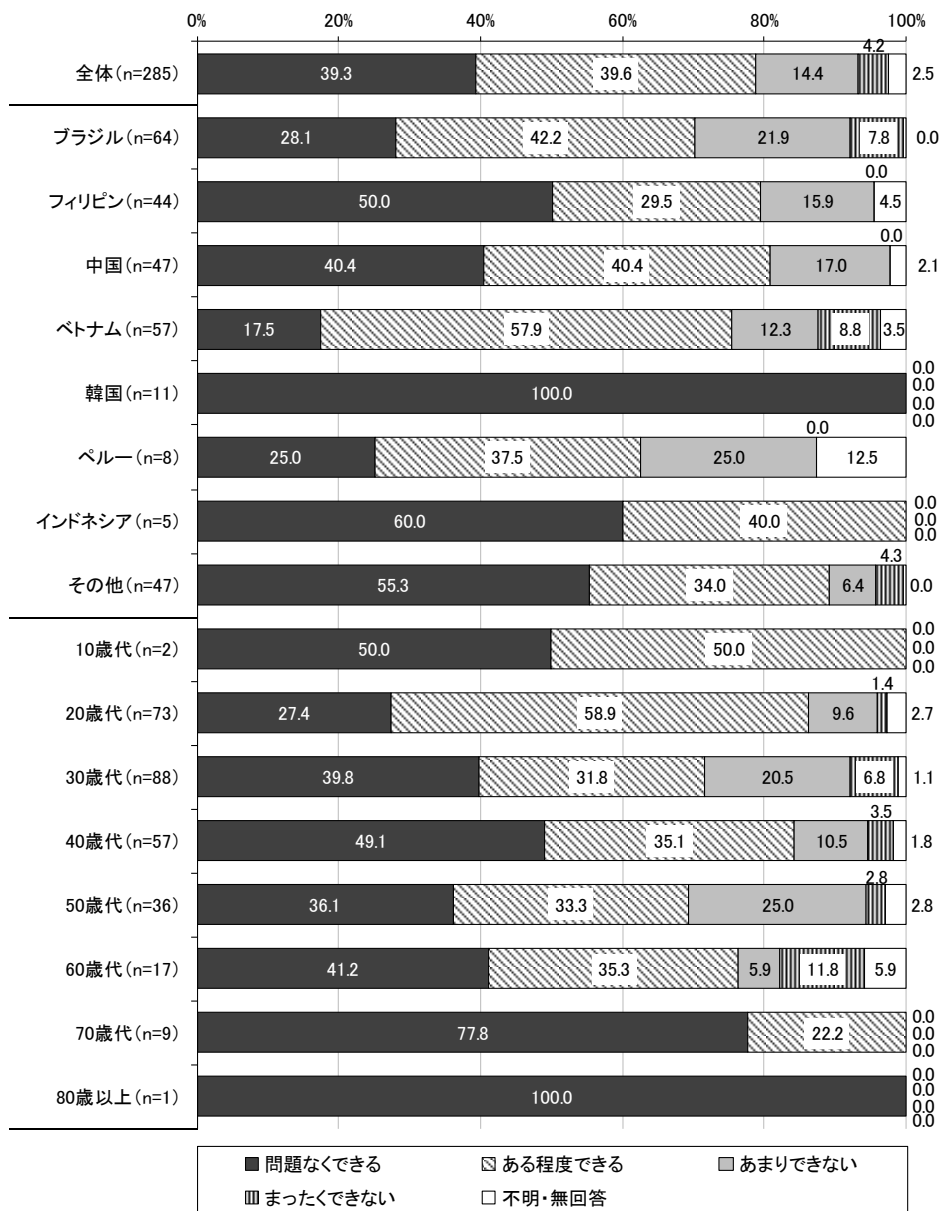
(9-A) 日本語の語学力 (単数回答)

問9-A 日本語で会話ができますか(1つに○)

日本語で会話ができるかについてみると、「ある程度できる」が39.6%、「問題なくできる」が39.3%、「あまりできない」が14.4%、「まったくできない」が4.2%となっており、「ある程度できる」と「問題なくできる」を合わせた【会話ができる計】は78.9%となっています。

国籍別にみると【会話ができる計】は韓国(100.0%)が最も高く、次いでその他(89.3%)、中国(80.8%)となっています。

年代別で【会話ができる計】をみると、20歳代(86.3%)が最も高く、次いで40歳代(84.2%)、60歳代(76.5%)となっています。一方、30歳代と50歳代は「あまりできない」と「まったくできない」を合わせた【会話ができない計】がともに2割台後半と他の年代に比べて高くなっています。



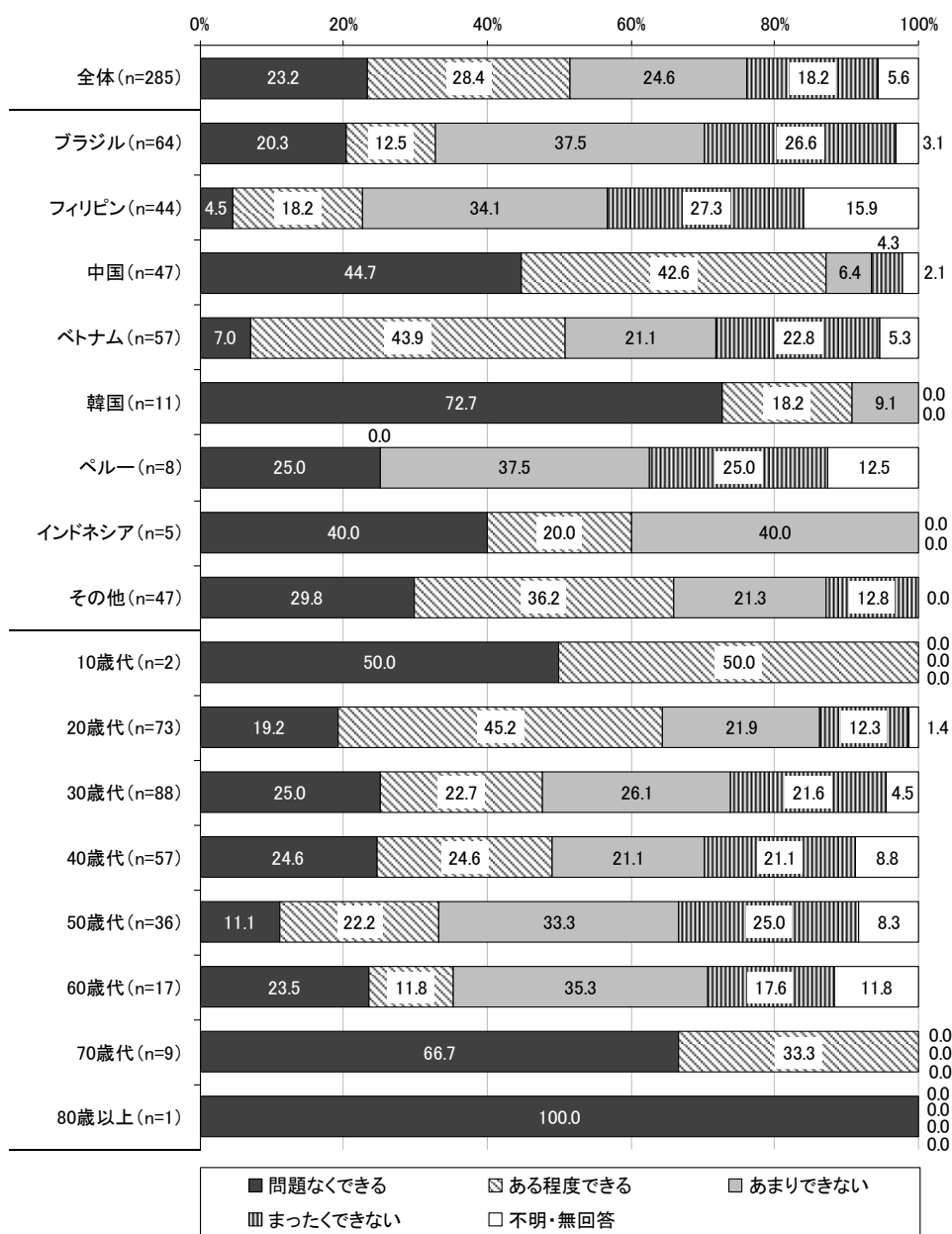
(9-B) 漢字の読解力 (単数回答)

問9-B 漢字を読むことができますか(1つに○)

漢字を読むことができるかについてみると、「ある程度できる」が28.4%、「あまりできない」が24.6%、「問題なくできる」が23.2%、「まったくできない」が18.2%となっており、「ある程度できる」と「問題なくできる」を合わせた【漢字を読むことができる計】は51.6%と、【会話ができる計】(78.9%)と比べて低くなっています。

国籍別にみると【漢字を読むことができる計】は韓国(90.9%)が最も高く、次いで中国(87.3%)、その他(66.0%)となっています。一方、最も低い国籍はフィリピンで22.7%となっています。

年代別で【漢字を読むことができる計】をみると、20歳代(64.4%)が最も高く、次いで40歳代(49.2%)、30歳代(47.7%)となっています。おおむね年代が上がるにつれて【漢字を読むことができる計】のスコアが低くなる傾向となっています。



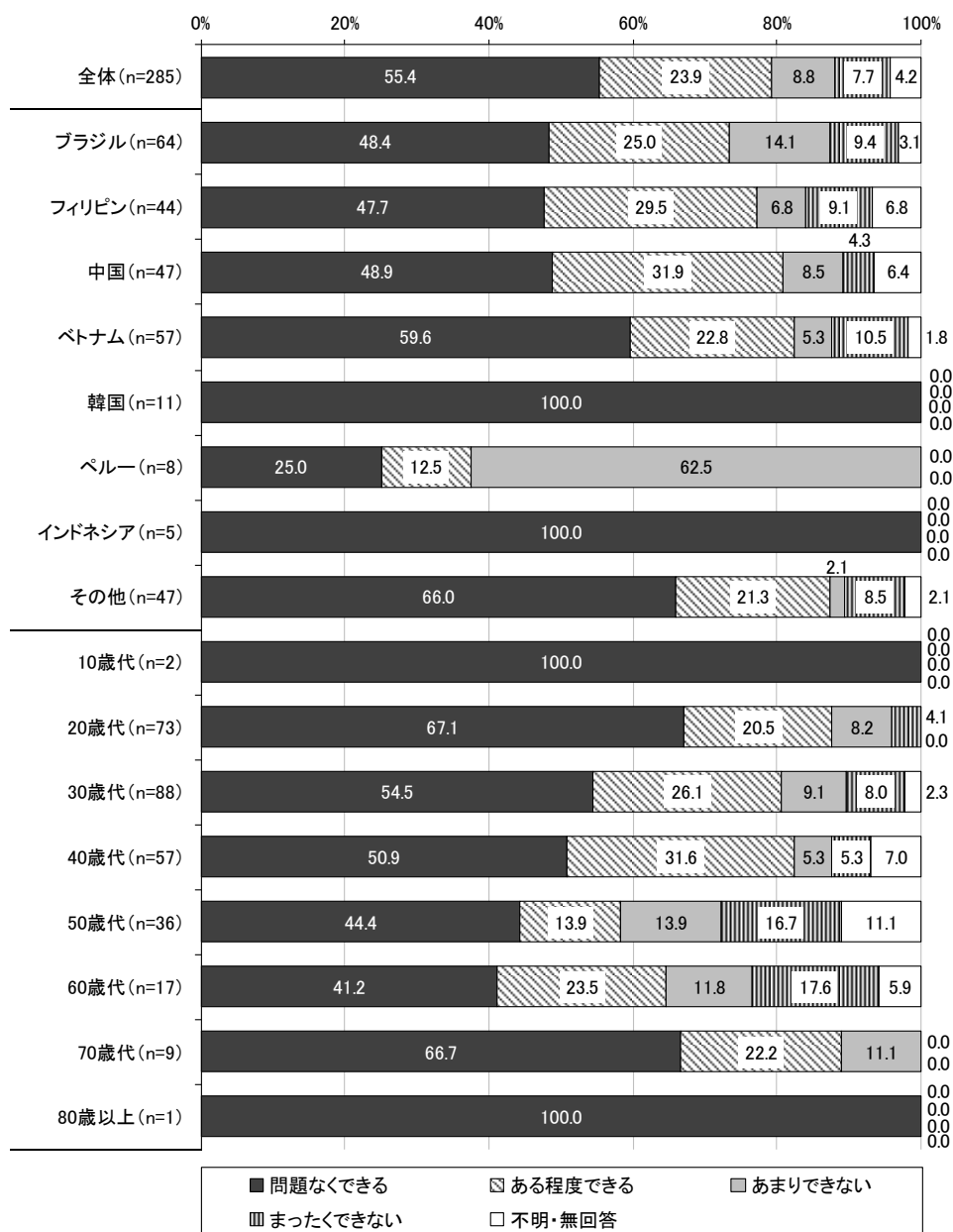
(9-C) ひらがな・カタカナの読解力 (単数回答)

問9-C ひらがな・カタカナを読むことができますか(1つに○)

ひらがな・カタカナを読むことができるかについてみると、「問題なくできる」が55.4%、「ある程度できる」が23.9%、「あまりできない」が8.8%、「まったくできない」が7.7%となっています。「ある程度できる」と「問題なくできる」を合わせた【ひらがな・カタカナを読むことができる計】は79.3%と、【漢字を読むことができる計】(51.6%)と比べて高くなっており、【会話ができる計】(78.9%)とは大きな差は見られません。

国籍別にみると【ひらがな・カタカナを読むことができる計】は韓国(100.0%)が最も高く、と次いでその他(87.3%)、ベトナム(82.4%)となっています。

年代別で【漢字を読むことができる計】をみると、20歳代(87.6%)が最も高く、次いで40歳代(82.5%)、30歳代(80.6%)となっており、【漢字を読むことができる計】と同様、おおむね年代が上がるにつれてスコアが低くなる傾向となっています。



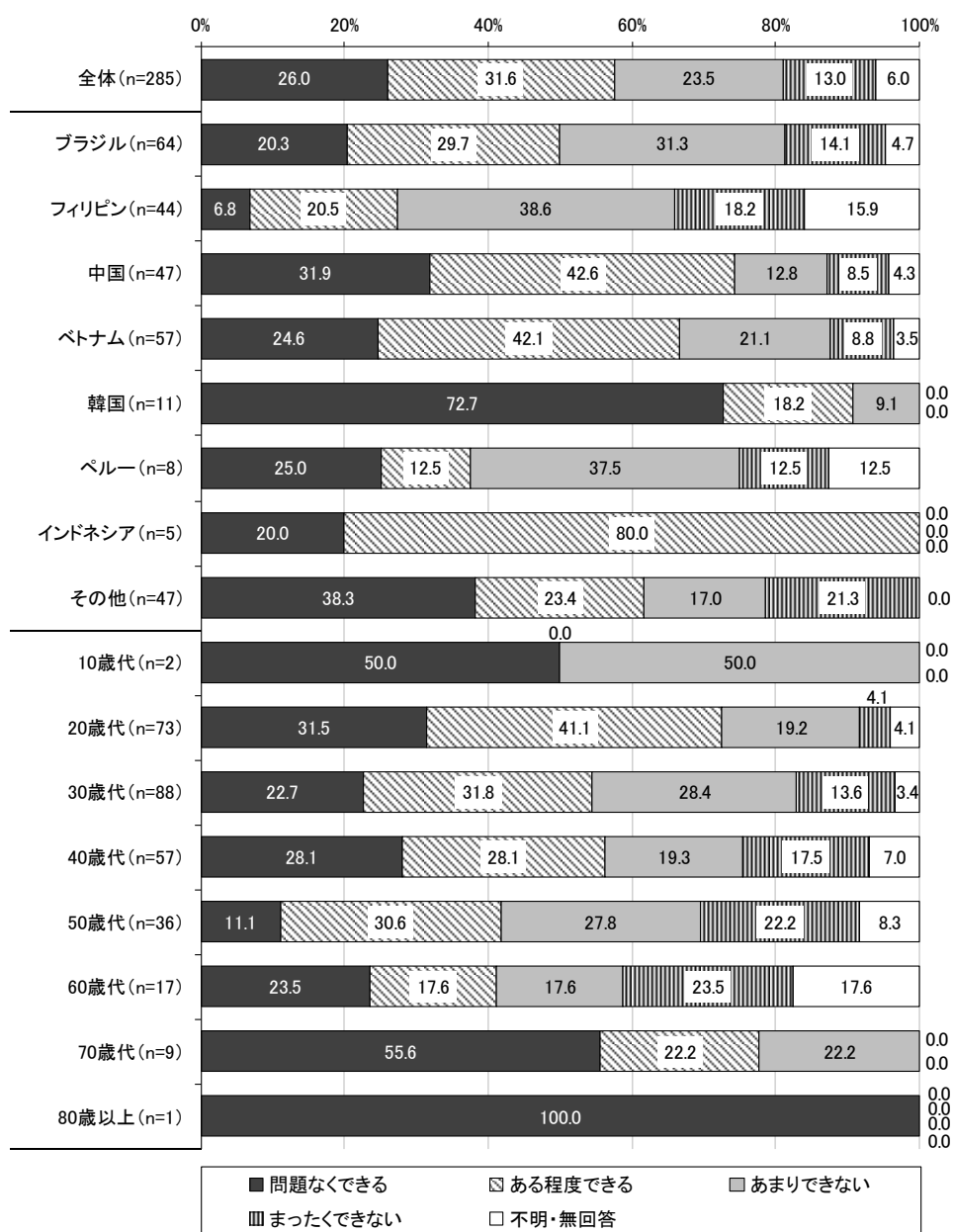
(9-D) 日本語の書記能力 (単数回答)

問9-D 日本語を書くことができますか(1つに○)

日本語を書くことができるかについてみると、「ある程度できる」が31.6%、「問題なくできる」が26.0%、「あまりできない」が23.5%、「まったくできない」が13.0%となっています。「ある程度できる」と「問題なくできる」を合わせた【日本語を書くことができる計】は57.6%となっています。

国籍別にみると【日本語を書くことができる計】は韓国(90.9%)が最も高く、と次いで中国(74.5%)、ベトナム(66.7%)となっています。

年代別で【日本語を書くことができる計】をみると、20歳代(72.6%)が最も高く、次いで40歳代(56.2%)、30歳代(54.5%)となっています。



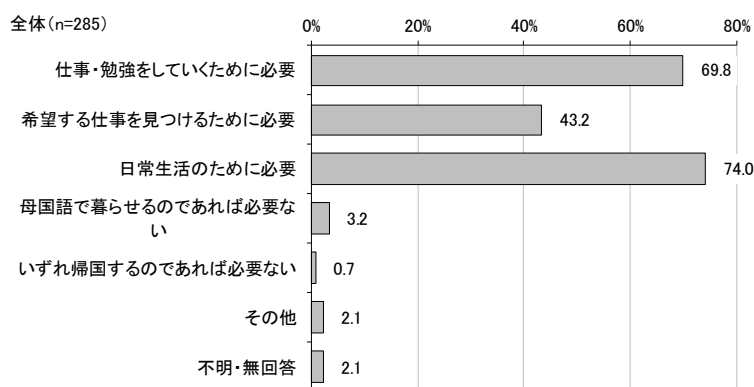
(10) 日本語の必要性について（複数回答）

問 10 日本語の必要性についてどのように考えますか。（○はいくつでも）

日本語の必要性についてみると、「日常生活のために必要」が74.0%で最も高く、次いで「仕事・勉強をしていくために必要」が69.8%、「希望する仕事を見つけるために必要」が43.2%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・韓国・その他は「日常生活のために必要」が最も高く、ブラジルは「希望する仕事を見つけるために必要」、中国は「仕事・勉強をしていくために必要」も高くなっています。ベトナムは「仕事・勉強をしていくために必要」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「仕事・勉強をしていくために必要」が最も高く、30～60歳代は「日常生活のために必要」が最も高くなっています。



単位: %		仕事・勉強をしていくために必要	希望する仕事を見つけるために必要	日常生活のために必要	母国語で暮らせるのであれば必要ない	いずれ帰国するのであれば必要ない	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		69.8	43.2	74.0	3.2	0.7	2.1	2.1
国籍別	ブラジル (n=64)	70.3	75.0	75.0	1.6	1.6	0.0	1.6
	フィリピン (n=44)	63.6	38.6	79.5	2.3	0.0	0.0	0.0
	中国 (n=47)	78.7	34.0	78.7	0.0	0.0	4.3	0.0
	ベトナム (n=57)	91.2	36.8	71.9	3.5	1.8	0.0	0.0
	韓国 (n=11)	18.2	9.1	63.6	0.0	0.0	18.2	18.2
	ペルー (n=8)	75.0	37.5	87.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=5)	100.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	51.1	36.2	72.3	10.6	0.0	4.3	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	86.3	46.6	69.9	1.4	0.0	1.4	0.0
	30歳代 (n=88)	72.7	39.8	73.9	3.4	1.1	0.0	0.0
	40歳代 (n=57)	64.9	45.6	78.9	3.5	0.0	3.5	3.5
	50歳代 (n=36)	66.7	44.4	77.8	2.8	0.0	0.0	2.8
	60歳代 (n=17)	52.9	52.9	82.4	0.0	0.0	5.9	5.9
	70歳代 (n=9)	0.0	11.1	66.7	0.0	0.0	22.2	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

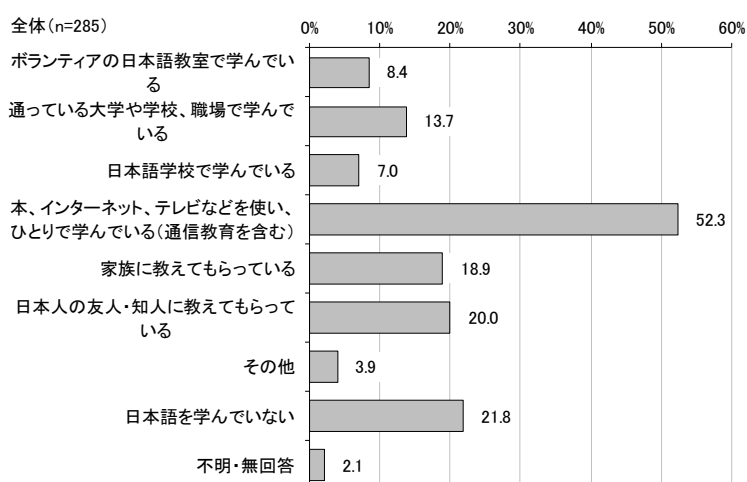
(11) 日本語能力を高める努力について（複数回答）

問 11 日本語能力を高めるためにどのような努力をしていますか。（○はいくつでも）

日本語能力を高める努力についてみると、「本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる（通信教育を含む）」が52.3%で最も高く、次いで「日本人の友人・知人に教えてもらっている」が20.0%、「家族に教えてもらっている」が18.9%となっています。

国籍別にみると、どの国籍においても「本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる」が最も高くなっています。また、中国では「通っている大学や学校、職場で学んでいる」（29.8%）・「日本語学校で学んでいる」（25.5%）もともに2割台と高くなっています。

年代別にみると、20～60歳代は「本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる」が最も高くなっています。20歳代・30歳代では「ボランティアの日本語教室で学んでいる」「日本語学校で学んでいる」も他の年代に比べて高くなっています。



単位: %		ボランティアの日本語教室で学んでいる	通っている大学や学校、職場で学んでいる	日本語学校で学んでいる	本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる (通信教育を含む)	家族に教えてもらっている	日本人の友人・知人に教えてもらっている	その他	日本語を学んでいない	不明・無回答
全体 (n=285)		8.4	13.7	7.0	52.3	18.9	20.0	3.9	21.8	2.1
国籍別	ブラジル (n=64)	9.4	4.7	1.6	43.8	6.3	12.5	1.6	43.8	0.0
	フィリピン (n=44)	2.3	15.9	0.0	59.1	43.2	15.9	0.0	6.8	0.0
	中国 (n=47)	14.9	29.8	25.5	46.8	27.7	29.8	4.3	12.8	0.0
	ベトナム (n=57)	12.3	15.8	3.5	78.9	8.8	33.3	3.5	7.0	1.8
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	36.4
	ペルー (n=8)	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	6.4	8.5	6.4	46.8	21.3	14.9	10.6	25.5	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	12.3	21.9	9.6	65.8	11.0	28.8	1.4	13.7	1.4
	30歳代 (n=88)	10.2	15.9	11.4	62.5	17.0	20.5	3.4	19.3	0.0
	40歳代 (n=57)	3.5	7.0	3.5	42.1	33.3	21.1	3.5	24.6	0.0
	50歳代 (n=36)	8.3	11.1	0.0	38.9	22.2	11.1	2.8	33.3	0.0
	60歳代 (n=17)	5.9	0.0	0.0	23.5	17.6	0.0	5.9	47.1	11.8
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	33.3	11.1	22.2
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本語能力を高める努力について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる」が高くなっています。

また、『日本語で会話をする／まったくできていない層』と、『ひらがな・カタカナを読む／あまりできない層』ではともに「日本語を学んでいない」が4割台と他の層に比べて高くなっています。

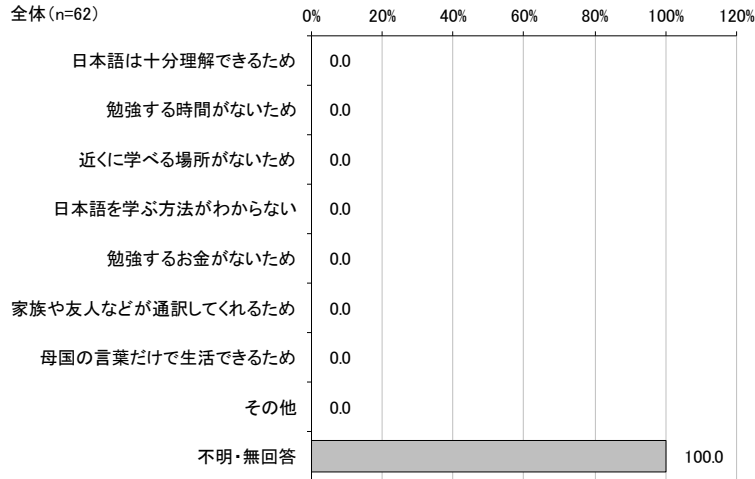
単位：%		ポランディアの日本語教室で学んでいる	通っている大学や学校、職場で学んでいる	日本語学校で学んでいる	本、インターネット、テレビなどを使い、ひとりで学んでいる（通信教育を含む）	家族に教えてもらっている	日本人の友人・知人に教えてもらっている	その他	日本語を学んでいない	不明・無回答
全体 (n=285)		8.4	13.7	7.0	52.3	18.9	20.0	3.9	21.8	2.1
日本語で会話をする	問題なくできる (n=112)	5.4	17.9	8.0	42.0	21.4	20.5	7.1	22.3	4.5
	ある程度できる (n=113)	10.6	14.2	8.0	67.3	19.5	23.9	1.8	13.3	0.9
	あまりできない (n=41)	12.2	7.3	4.9	39.0	14.6	9.8	2.4	39.0	0.0
	まったくできない (n=12)	8.3	0.0	0.0	41.7	8.3	8.3	0.0	41.7	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	6.1	19.7	12.1	31.8	12.1	15.2	10.6	30.3	7.6
	ある程度できる (n=81)	9.9	14.8	7.4	69.1	21.0	29.6	3.7	9.9	1.2
	あまりできない (n=70)	11.4	14.3	8.6	58.6	24.3	25.7	0.0	20.0	0.0
	まったくできない (n=52)	7.7	5.8	0.0	40.4	15.4	5.8	0.0	34.6	0.0
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	7.0	17.7	8.2	53.8	16.5	23.4	6.3	18.4	3.2
	ある程度できる (n=68)	13.2	8.8	10.3	60.3	26.5	19.1	1.5	17.6	1.5
	あまりできない (n=25)	8.0	12.0	0.0	36.0	8.0	4.0	0.0	48.0	0.0
	まったくできない (n=22)	9.1	0.0	0.0	40.9	18.2	9.1	0.0	31.8	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	6.8	18.9	10.8	36.5	14.9	21.6	10.8	25.7	6.8
	ある程度できる (n=90)	11.1	14.4	7.8	68.9	17.8	26.7	3.3	10.0	1.1
	あまりできない (n=67)	10.4	14.9	7.5	53.7	22.4	20.9	0.0	25.4	0.0
	まったくできない (n=37)	5.4	0.0	0.0	40.5	24.3	2.7	0.0	35.1	0.0

【問11で日本語能力を高める努力について、「8 日本語を学んでいない」と回答された人のみ】

(12) 日本語を学んでいない理由（複数回答）

問 12 日本語を学んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

日本語を学んでいない理由についてみると、「不明・無回答」のみとなっています。



単位: %		日本語は十分理解できるため	勉強する時間がないため	近くに学べる場所がないため	い日本語を学ぶ方法がわからない	勉強するお金がないため	家族や友人などが通訳してくれるため	母国の言葉だけで生活できるため	その他	不明・無回答
全体 (n=62)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
国籍別	ブラジル (n=28)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	フィリピン (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	中国 (n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ベトナム (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	韓国 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ペルー (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	インドネシア (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他 (n=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年代別	10歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=10)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30歳代 (n=17)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	40歳代 (n=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	50歳代 (n=12)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	60歳代 (n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

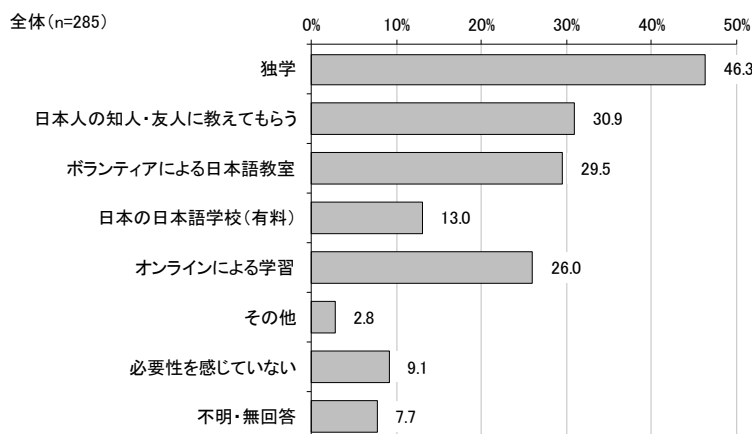
(13) 日本語を学ぶための方法（複数回答）

問 13 どのような方法で日本語を学びたいと思いますか。（○はいくつでも）

日本語を学ぶための方法についてみると、「独学」が46.3%で最も高く、次いで「日本人の知人・友人に教えてもらう」が30.9%、「ボランティアによる日本語教室」が29.5%となっています。

国籍別にみるとブラジルは「オンラインによる学習」が最も高くなっています。フィリピン・中国・ベトナム・韓国・その他は「独学」が最も高く、フィリピンは7割を超えています。

年代別では、20～60歳代は「独学」が最も高く、60歳代は「ボランティアによる日本語教室」も高くなっています。



単位: %		独学	日本人の知人・友人に教えてもらう	ボランティアによる日本語教室	日本の日本語学校(有料)	オンラインによる学習	その他	必要性を感じていない	不明・無回答
全体 (n=285)		46.3	30.9	29.5	13.0	26.0	2.8	9.1	7.7
国籍別	ブラジル (n=64)	26.6	20.3	40.6	12.5	45.3	1.6	12.5	1.6
	フィリピン (n=44)	72.7	36.4	20.5	11.4	9.1	4.5	2.3	2.3
	中国 (n=47)	44.7	31.9	27.7	12.8	21.3	4.3	6.4	12.8
	ベトナム (n=57)	57.9	45.6	42.1	15.8	42.1	1.8	1.8	3.5
	韓国 (n=11)	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	54.5
	ペルー (n=8)	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0
	インドネシア (n=5)	100.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=47)	40.4	31.9	21.3	14.9	12.8	4.3	21.3	10.6	
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	100.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	57.5	41.1	34.2	15.1	32.9	1.4	6.8	6.8
	30歳代 (n=88)	51.1	29.5	34.1	15.9	26.1	2.3	6.8	3.4
	40歳代 (n=57)	38.6	26.3	24.6	10.5	26.3	5.3	10.5	7.0
	50歳代 (n=36)	41.7	36.1	25.0	5.6	25.0	0.0	8.3	5.6
	60歳代 (n=17)	29.4	5.9	29.4	11.8	11.8	0.0	29.4	17.6
	70歳代 (n=9)	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	44.4
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

日本語を学ぶための方法について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「独学」が高くなっています。

『全て／まったくできていない層』と『ひらがな・カタカナを読む／あまりできない層』は「ボランティアによる日本語教室」が高くなっています。

単位：%		独学	日本人の知人・友人に教えてもらう	ボランティアによる日本語教室	日本の日本語学校（有料）	オンラインによる学習	その他	必要性を感じていない	不明・無回答
全体 (n=285)		46.3	30.9	29.5	13.0	26.0	2.8	9.1	7.7
日本語で会話	問題なくできる (n=112)	42.9	27.7	12.5	8.9	10.7	3.6	17.9	15.2
	ある程度できる (n=113)	54.0	32.7	36.3	17.7	36.3	1.8	5.3	4.4
	あまりできない (n=41)	43.9	36.6	43.9	12.2	36.6	4.9	0.0	0.0
	まったくできない (n=12)	0.0	25.0	83.3	8.3	50.0	0.0	0.0	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	30.3	12.1	10.6	7.6	9.1	6.1	25.8	21.2
	ある程度できる (n=81)	60.5	45.7	29.6	16.0	27.2	1.2	0.0	6.2
	あまりできない (n=70)	48.6	37.1	44.3	21.4	41.4	2.9	8.6	1.4
	まったくできない (n=52)	36.5	25.0	36.5	5.8	26.9	1.9	5.8	1.9
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	47.5	32.3	20.9	12.7	24.1	3.2	12.0	10.8
	ある程度できる (n=68)	48.5	30.9	39.7	16.2	32.4	2.9	8.8	5.9
	あまりできない (n=25)	36.0	28.0	40.0	12.0	20.0	4.0	0.0	0.0
	まったくできない (n=22)	31.8	22.7	54.5	4.5	31.8	0.0	4.5	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	32.4	20.3	9.5	8.1	17.6	6.8	23.0	20.3
	ある程度できる (n=90)	57.8	41.1	35.6	15.6	26.7	1.1	2.2	3.3
	あまりできない (n=67)	53.7	40.3	35.8	17.9	37.3	1.5	3.0	3.0
	まったくできない (n=37)	29.7	13.5	48.6	8.1	24.3	2.7	10.8	2.7

4. 生活全般について

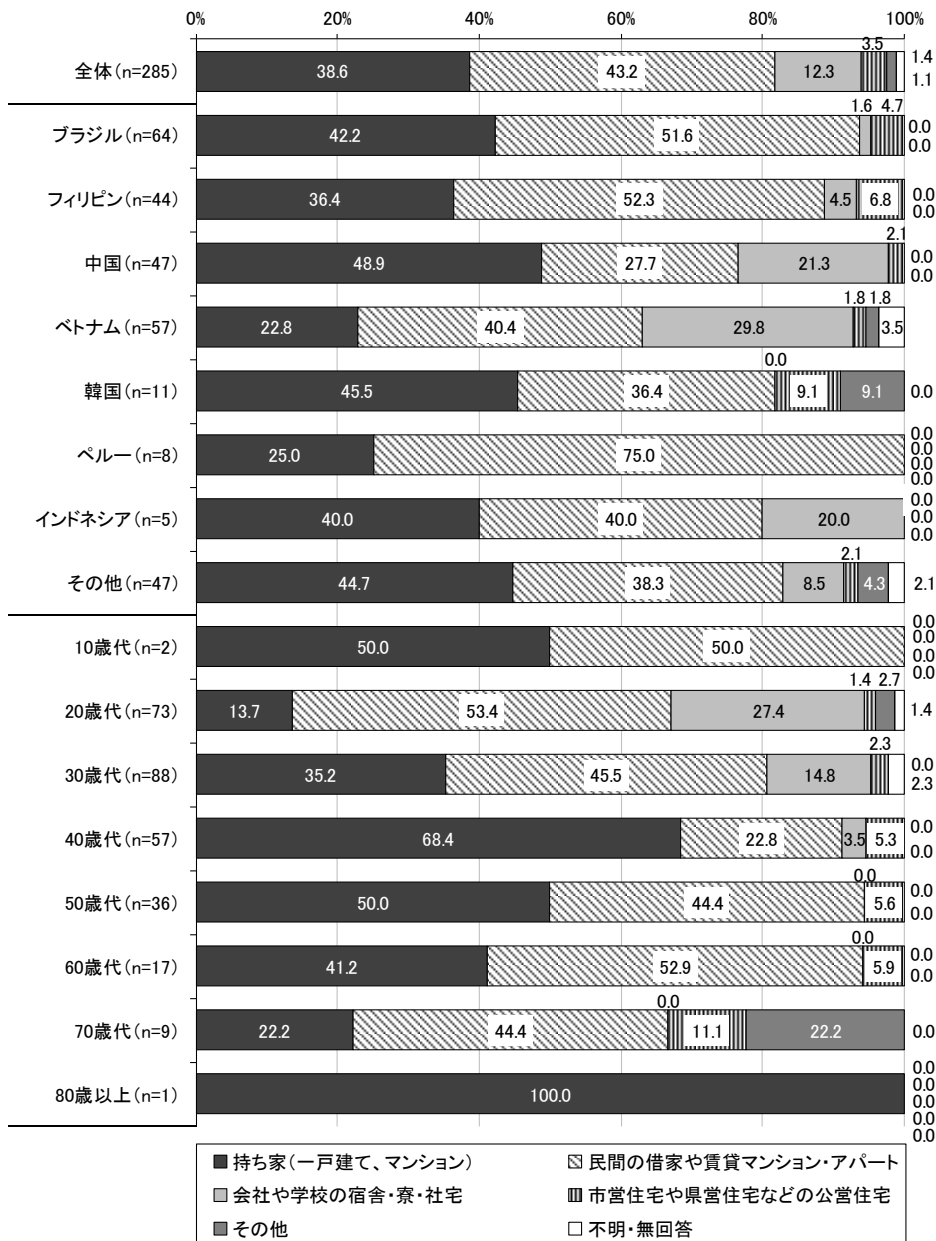
(14) 住んでいる家の種類（単数回答）

問 14 現在どのような家に住んでいますか。（1つに○）

住んでいる家の種類についてみると、「民間の借家や賃貸マンション・アパート」が43.2%で最も高く、次いで「持ち家（一戸建て、マンション）」が38.6%、「会社や学校の宿舍・寮・社宅」が12.3%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・ベトナムは「民間の借家や賃貸マンション・アパート」が最も高く、中国・韓国・その他は「持ち家（一戸建て、マンション）」が最も高くなっています。

年代別では、20～30歳代・60歳代は「民間の借家や賃貸マンション・アパート」が最も高くなっています。40～50歳代は「持ち家（一戸建て、マンション）」も高く、40歳代は68.4%と約7割となっています。



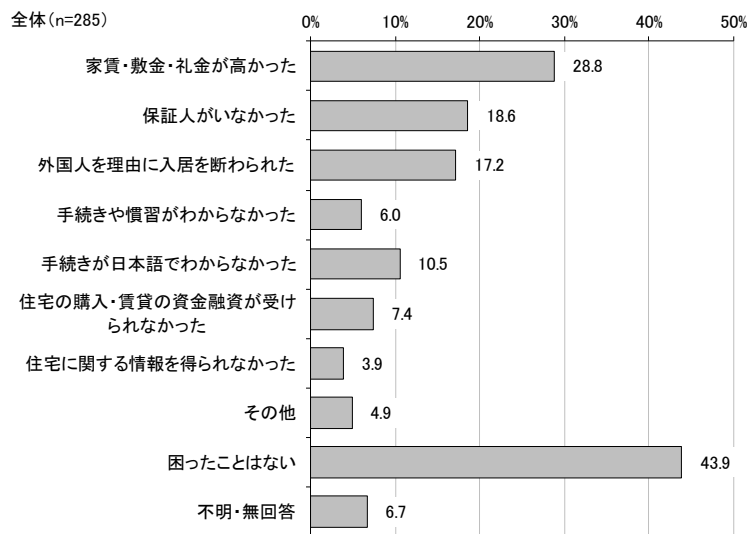
(15) 家を探す上での困り事（複数回答）

問 15 家を探す上で、困ったこと(困っていること)は何ですか。(○はいくつでも)

家を探す上での困り事についてみると、「困ったことはない」が43.9%で最も高く、次いで「家賃・敷金・礼金が高かった」が28.8%、「保証人がいなかった」が18.6%となっています。

国籍別にみるとブラジル・中国・韓国・その他は「困ったことはない」が最も高く、フィリピン・ベトナムは「家賃・敷金・礼金が高かった」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「家賃・敷金・礼金が高かった」が最も高く、30～60歳代は「困ったことはない」が高くなっています。



単位: %	家賃・敷金・礼金が高かった	保証人がいなかった	外国人を理由に入居を断われた	手続きや慣習がわからなかった	手続きが日本語でわからなかった	住宅の購入・賃貸の資金融資が受けられなかった	住宅に関する情報を得られなかった	その他	困ったことはない	不明・無回答	
	全体 (n=285)	28.8	18.6	17.2	6.0	10.5	7.4	3.9	4.9	43.9	6.7
国籍別	ブラジル (n=64)	31.3	20.3	17.2	3.1	14.1	6.3	1.6	1.6	54.7	0.0
	フィリピン (n=44)	43.2	18.2	18.2	11.4	9.1	11.4	2.3	6.8	29.5	2.3
	中国 (n=47)	27.7	12.8	21.3	2.1	2.1	8.5	6.4	8.5	48.9	6.4
	ベトナム (n=57)	33.3	26.3	10.5	10.5	17.5	7.0	10.5	3.5	28.1	19.3
	韓国 (n=11)	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	45.5	9.1
	ペルー (n=8)	50.0	12.5	37.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	50.0	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	8.5	14.9	19.1	2.1	12.8	4.3	0.0	4.3	55.3	6.4
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	39.7	23.3	24.7	9.6	11.0	11.0	4.1	8.2	28.8	8.2
	30歳代 (n=88)	28.4	20.5	21.6	5.7	12.5	8.0	6.8	1.1	43.2	8.0
	40歳代 (n=57)	17.5	15.8	8.8	1.8	5.3	5.3	1.8	7.0	52.6	5.3
	50歳代 (n=36)	33.3	13.9	8.3	5.6	13.9	2.8	0.0	0.0	55.6	2.8
	60歳代 (n=17)	17.6	11.8	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9	11.8	58.8	0.0
	70歳代 (n=9)	22.2	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

家を探す上での困り事について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「困ったことはない」が高くなっています。

一方、『日本語で会話をする／まったくできていない層』では、「保証人がいなかった」「手続きが日本語でわからなかった」が最も高く、『ひらがな・カタカナを読む／まったくできていない層』では「困ったことはない」「手続きが日本語でわからなかった」が最も高くなっています。

家の種類でみると、持ち家（一戸建て、マンション）、会社や学校の宿舎・寮・社宅では「困ったことはない」が最も高く、民間の借家や賃貸マンション・アパート、市営住宅や県営住宅などの公営住宅では「家賃・敷金・礼金が高かった」が最も高くなっています。

単位：%		家賃・敷金・礼金が高かった	保証人がいなかった	外国人を理由に入居を断られた	手続きや慣習がわからなかった	手続きが日本語でわからなかった	住宅の購入・賃貸の資金融資が受けられなかった	住宅に関する情報を得られなかった	その他	困ったことはない	不明・無回答
全体 (n=285)		28.8	18.6	17.2	6.0	10.5	7.4	3.9	4.9	43.9	6.7
日本語で会話	問題なくできる (n=112)	24.1	17.9	16.1	3.6	2.7	3.6	2.7	2.7	52.7	6.3
	ある程度できる (n=113)	33.6	19.5	22.1	6.2	12.4	11.5	2.7	5.3	36.3	8.8
	あまりできない (n=41)	29.3	12.2	7.3	7.3	14.6	4.9	2.4	9.8	46.3	2.4
	まったくできない (n=12)	25.0	41.7	8.3	8.3	41.7	8.3	16.7	0.0	33.3	8.3
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	18.2	21.2	19.7	3.0	3.0	4.5	3.0	3.0	51.5	6.1
	ある程度できる (n=81)	33.3	19.8	19.8	7.4	7.4	6.2	3.7	3.7	39.5	13.6
	あまりできない (n=70)	32.9	14.3	18.6	7.1	15.7	14.3	2.9	5.7	45.7	4.3
	まったくできない (n=52)	30.8	25.0	9.6	5.8	17.3	5.8	5.8	5.8	38.5	1.9
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	27.8	16.5	15.8	3.8	7.6	5.7	3.2	5.1	45.6	8.2
	ある程度できる (n=68)	30.9	25.0	22.1	10.3	14.7	8.8	2.9	4.4	45.6	2.9
	あまりできない (n=25)	36.0	20.0	28.0	4.0	0.0	16.0	4.0	4.0	40.0	8.0
	まったくできない (n=22)	27.3	22.7	4.5	9.1	31.8	4.5	13.6	4.5	31.8	4.5
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	24.3	17.6	13.5	1.4	1.4	1.4	2.7	2.7	56.8	5.4
	ある程度できる (n=90)	31.1	18.9	21.1	6.7	7.8	7.8	2.2	3.3	41.1	8.9
	あまりできない (n=67)	29.9	19.4	17.9	7.5	16.4	14.9	3.0	7.5	40.3	6.0
	まったくできない (n=37)	29.7	21.6	10.8	5.4	18.9	2.7	5.4	5.4	35.1	8.1

単位：%		家賃・敷金・礼金が高かった	保証人がいなかった	外国人を理由に入居を断られた	手続きや慣習がわからなかった	手続きが日本語でわからなかった	住宅の購入・賃貸の資金融資が受けられなかった	住宅に関する情報を得られなかった	その他	困ったことはない	不明・無回答
全体 (n=285)		28.8	18.6	17.2	6.0	10.5	7.4	3.9	4.9	43.9	6.7
家の種類	持ち家（一戸建て、マンション） (n=110)	10.9	7.3	10.9	4.5	9.1	2.7	3.6	3.6	62.7	6.4
	民間の借家や賃貸マンション・アパート (n=123)	50.4	30.9	27.6	8.1	13.8	12.2	3.3	4.1	30.9	1.6
	会社や学校の宿舎・寮・社宅 (n=35)	11.4	14.3	8.6	2.9	2.9	8.6	2.9	11.4	37.1	20.0
	市営住宅や県営住宅などの公営住宅 (n=10)	40.0	20.0	0.0	10.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	その他 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0

(16) 各務原市における、地域の方とのトラブルの経験（複数回答）

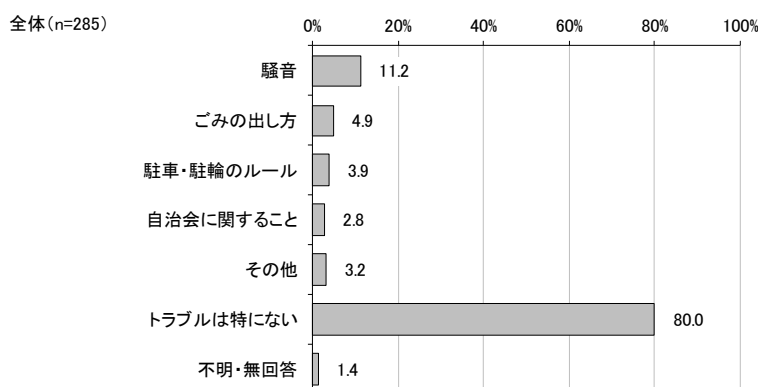
問 16 各務原市に住んでから、地域の方々との間で次のトラブルを経験したことがありますか。

（○はいくつでも）

各務原市における、地域の方とのトラブルの経験についてみると、「トラブルは特にない」が80.0%で最も高く、次いで「騒音」が11.2%、「ごみの出し方」が4.9%となっています。

国籍別にみると、どの国籍においても「トラブルは特にない」が最も高くなっています。また、ブラジルでは「騒音」が2割台前半と他の国籍と比べて高くなっています。

年代別にみると、どの年代においても「トラブルは特にない」が最も高く、50～60歳代では「騒音」がともに1割台後半と、他の国籍と比べて高くなっています。



単位：%		騒音	ごみの出し方	駐車・駐輪のルール	自治会に関すること	その他	トラブルは特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		11.2	4.9	3.9	2.8	3.2	80.0	1.4
国籍別	ブラジル (n=64)	23.4	9.4	9.4	3.1	1.6	68.8	1.6
	フィリピン (n=44)	13.6	4.5	4.5	9.1	9.1	68.2	0.0
	中国 (n=47)	4.3	2.1	2.1	0.0	0.0	91.5	2.1
	ベトナム (n=57)	8.8	3.5	1.8	1.8	3.5	82.5	1.8
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	ペルー (n=8)	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	その他 (n=47)	4.3	4.3	2.1	2.1	4.3	85.1	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	9.6	2.7	0.0	0.0	2.7	86.3	0.0
	30歳代 (n=88)	13.6	6.8	5.7	4.5	2.3	73.9	2.3
	40歳代 (n=57)	1.8	3.5	1.8	3.5	5.3	87.7	1.8
	50歳代 (n=36)	19.4	8.3	2.8	0.0	0.0	77.8	2.8
	60歳代 (n=17)	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	76.5	0.0
	70歳代 (n=9)	11.1	0.0	11.1	11.1	11.1	66.7	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

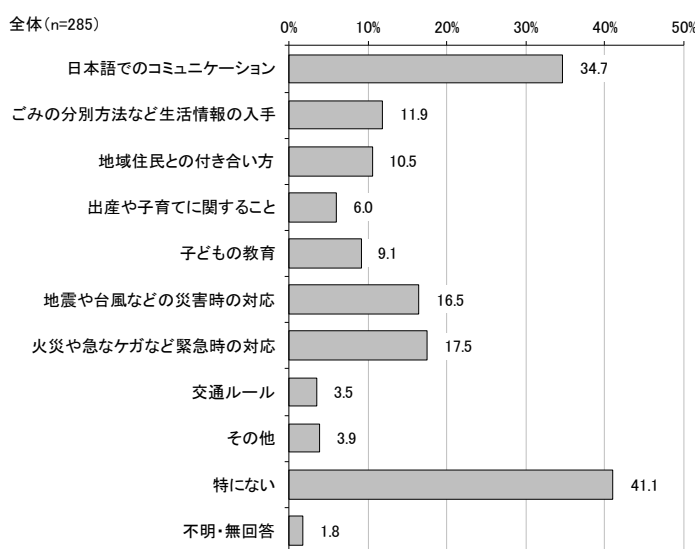
(17) 普段からの不安な点、困り事（複数回答）

問 17 普段から不安に思うこと、困っていることはありますか。（○はい/□でも）

普段からの不安な点、困り事についてみると、「特にない」が41.1%で最も高く、次いで「日本語でのコミュニケーション」が34.7%、「火災や急なケガなど緊急時の対応」が17.5%となっています。また、「地震や台風などの災害時の対応」（16.5%）も4位にランクインしていることから、緊急時における体制づくりへの要望の高さが見受けられます。

国籍別にみると、ベトナムは「日本語でのコミュニケーション」が最も高く、それ以外の国籍は「特にない」最も高くなっています。また、ブラジルでは「地震や台風などの災害時の対応」が3割台と他の国籍と比べて高くなっています。

年代別にみると、20～30歳代は「日本語でのコミュニケーション」が最も高く、20歳代は「特にない」も高くなっています。40～60歳代では「特にない」が最も高くなっています。



単位: %	日本語でのコミュニケーション	ごみの分別方法など生活情報の入手	地域住民との付き合い方	出産や子育てに関すること	子どもの教育	地震や台風などの災害時の対応	火災や急なケガなど緊急時の対応	交通ルール	その他	特にない	不明・無回答	
												全体 (n=285)
全体 (n=285)	34.7	11.9	10.5	6.0	9.1	16.5	17.5	3.5	3.9	41.1	1.8	
国籍別	ブラジル (n=64)	32.8	10.9	6.3	4.7	7.8	32.8	28.1	7.8	1.6	39.1	1.6
	フィリピン (n=44)	31.8	15.9	6.8	9.1	18.2	4.5	9.1	2.3	9.1	43.2	2.3
	中国 (n=47)	29.8	12.8	14.9	4.3	12.8	21.3	25.5	2.1	2.1	40.4	0.0
	ベトナム (n=57)	52.6	8.8	21.1	10.5	7.0	17.5	19.3	3.5	0.0	29.8	1.8
	韓国 (n=11)	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	63.6	0.0
	ペルー (n=8)	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	その他 (n=47)	29.8	12.8	8.5	2.1	4.3	4.3	4.3	0.0	10.6	51.1	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	42.5	11.0	9.6	5.5	5.5	6.8	12.3	1.4	4.1	42.5	1.4
	30歳代 (n=88)	37.5	18.2	18.2	11.4	13.6	21.6	19.3	4.5	5.7	33.0	2.3
	40歳代 (n=57)	35.1	5.3	10.5	3.5	10.5	15.8	21.1	3.5	3.5	43.9	0.0
	50歳代 (n=36)	27.8	8.3	2.8	2.8	11.1	27.8	27.8	5.6	0.0	38.9	2.8
	60歳代 (n=17)	17.6	11.8	0.0	0.0	0.0	11.8	11.8	5.9	5.9	47.1	5.9
	70歳代 (n=9)	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

普段からの不安な点、困り事について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「日本語でのコミュニケーション」が高くなっています。

一方、『全て／問題なくできる層』と『漢字を読む／ある程度できる層』、『ひらがな・カタカナを読む／ある程度できる層』は「特にない」が最も高くなっています。

単位：%		日本語でのコミュニケーション	ごみの分別方法など生活情報	地域住民との付き合い方	出産や子育てに関すること	子どもの教育	地震や台風などの災害時の対応	火災や急なケガなど緊急時の対応	交通ルール	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		34.7	11.9	10.5	6.0	9.1	16.5	17.5	3.5	3.9	41.1	1.8
日本語で会話	問題なくできる (n=112)	9.8	11.6	1.8	4.5	8.9	9.8	6.3	1.8	4.5	63.4	2.7
	ある程度できる (n=113)	43.4	12.4	10.6	6.2	9.7	16.8	23.0	3.5	3.5	33.6	0.0
	あまりできない (n=41)	63.4	4.9	22.0	4.9	9.8	24.4	22.0	2.4	4.9	14.6	2.4
	まったくできない (n=12)	100.0	41.7	50.0	16.7	0.0	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	6.1	9.1	3.0	3.0	6.1	10.6	6.1	1.5	3.0	65.2	1.5
	ある程度できる (n=81)	30.9	11.1	8.6	6.2	11.1	16.0	16.0	2.5	3.7	43.2	1.2
	あまりできない (n=70)	47.1	10.0	10.0	4.3	10.0	17.1	22.9	4.3	5.7	31.4	1.4
	まったくできない (n=52)	63.5	19.2	23.1	9.6	5.8	25.0	25.0	5.8	3.8	17.3	0.0
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	23.4	10.1	5.1	4.4	9.5	12.0	11.4	2.5	4.4	50.6	1.9
	ある程度できる (n=68)	44.1	14.7	13.2	5.9	10.3	22.1	26.5	5.9	1.5	35.3	0.0
	あまりできない (n=25)	48.0	8.0	16.0	12.0	8.0	24.0	24.0	4.0	4.0	32.0	0.0
	まったくできない (n=22)	72.7	22.7	36.4	4.5	0.0	27.3	27.3	4.5	4.5	4.5	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	16.2	10.8	2.7	5.4	6.8	10.8	9.5	1.4	2.7	60.8	1.4
	ある程度できる (n=90)	36.7	8.9	10.0	6.7	13.3	15.6	18.9	1.1	2.2	40.0	1.1
	あまりできない (n=67)	40.3	14.9	11.9	4.5	7.5	22.4	22.4	4.5	6.0	31.3	1.5
	まったくできない (n=37)	62.2	16.2	24.3	5.4	2.7	21.6	18.9	5.4	8.1	21.6	0.0

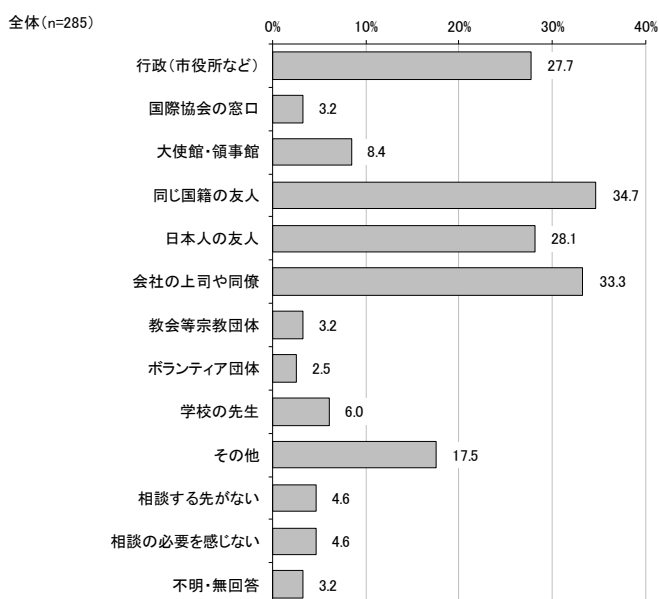
(18) 困り事の相談先（複数回答）

問 18 困っていることがある場合、どこ(誰)に相談しますか。(〇はいくつでも)

困り事の相談先についてみると、「同じ国籍の友人」が34.7%で最も高く、次いで「会社の上司や同僚」が33.3%、「行政（市役所など）」が27.7%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピンは「行政（市役所など）」が最も高く、中国は「同じ国籍の友人」、ベトナムは「会社の上司や同僚」、韓国は「日本人の友人」、その他は「その他」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「会社の上司や同僚」が最も高くなっています。30歳代は「同じ国籍の友人」、40～50歳代は「行政（市役所など）」、60歳代は「日本人の友人」が最も高く、40歳代は「その他」も高くなっています。



単位・%	行政 (市役所など)	国際協会の 窓口	大使館・ 領事館	同じ 国籍の 友人	日本 人の 友人	会 社 の 上 司 や 同 僚	教 会 等 宗 教 団 体	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体	学 校 の 先 生	そ の 他	相 談 す る 先 が な い	相 談 の 必 要 を 感 じ な い	不 明 ・ 無 回 答	
全体(n=285)	27.7	3.2	8.4	34.7	28.1	33.3	3.2	2.5	6.0	17.5	4.6	4.6	3.2	
国籍別	ブラジル(n=64)	53.1	6.3	6.3	43.8	26.6	25.0	7.8	1.6	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0
	フィリピン(n=44)	38.6	2.3	11.4	34.1	29.5	20.5	0.0	4.5	6.8	13.6	9.1	2.3	9.1
	中国(n=47)	25.5	4.3	17.0	38.3	21.3	25.5	0.0	2.1	10.6	29.8	4.3	2.1	0.0
	ベトナム(n=57)	5.3	0.0	8.8	38.8	29.8	71.9	3.5	3.5	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3
	韓国(n=11)	18.2	0.0	0.0	0.0	36.4	18.2	0.0	0.0	0.0	27.3	18.2	18.2	0.0
	ペルー(n=8)	37.5	25.0	0.0	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア(n=5)	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	その他(n=47)	14.9	0.0	4.3	25.5	31.9	25.5	4.3	2.1	10.6	36.2	10.6	8.5	4.3
年代別	10歳代(n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代(n=73)	13.7	1.4	11.0	39.7	27.4	56.2	4.1	1.4	8.2	9.6	6.8	2.7	2.7
	30歳代(n=88)	28.4	2.3	9.1	42.0	35.2	38.6	2.3	2.3	9.1	14.8	4.5	2.3	3.4
	40歳代(n=57)	31.6	5.3	10.5	26.3	21.1	17.5	3.5	3.5	3.5	31.6	3.5	3.5	5.3
	50歳代(n=36)	47.2	5.6	5.6	30.6	27.8	19.4	2.8	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6	2.8
	60歳代(n=17)	35.3	5.9	0.0	35.3	41.2	11.8	5.9	0.0	0.0	17.6	0.0	11.8	0.0
	70歳代(n=9)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	33.3	0.0
	80歳以上(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

困り事の相談先について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる層』では「日本の友人」「会社の上司や同僚」が高く、『全て／ある程度できる層・あまりできない層』では「同じ国籍の友人」が高くなっています。

『全て／まったくできていない層』では「行政（市役所など）」が高くなる傾向がみられますが、『日本語で会話をする／まったくできていない層』では「会社の上司や同僚」が最も高くなっています。

単位：%		行政 （市役所など）	国際協会の窓口	大使館・領事館	同じ国籍の友人	日本人の友人	会社の上司や同僚	教会等宗教団体	ボランティア団体	学校の先生	その他	相談する先がない	相談の必要を感じない	不明・無回答
全体 (n=285)		27.7	3.2	8.4	34.7	28.1	33.3	3.2	2.5	6.0	17.5	4.6	4.6	3.2
日本語で会話	問題なくできる (n=112)	26.8	0.9	7.1	23.2	35.7	26.8	1.8	1.8	4.5	24.1	4.5	9.8	3.6
	ある程度できる (n=113)	26.5	3.5	9.7	42.5	27.4	39.8	4.4	4.4	7.1	12.4	3.5	1.8	2.7
	あまりできない (n=41)	29.3	9.8	7.3	39.0	17.1	24.4	0.0	0.0	4.9	14.6	7.3	0.0	4.9
	まったくできない (n=12)	41.7	0.0	8.3	41.7	16.7	58.3	16.7	0.0	8.3	25.0	0.0	0.0	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	25.8	1.5	6.1	25.8	33.3	27.3	0.0	1.5	6.1	28.8	6.1	12.1	1.5
	ある程度できる (n=81)	18.5	1.2	13.6	32.1	25.9	32.1	4.9	1.2	6.2	21.0	3.7	3.7	4.9
	あまりできない (n=70)	34.3	4.3	7.1	42.9	40.0	41.4	4.3	5.7	8.6	7.1	2.9	1.4	4.3
	まったくできない (n=52)	36.5	5.8	5.8	34.6	15.4	36.5	3.8	0.0	1.9	15.4	5.8	0.0	1.9
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	24.1	1.3	8.9	29.7	31.8	38.6	2.5	2.5	5.7	20.3	3.2	7.0	3.2
	ある程度できる (n=68)	30.9	5.9	7.4	45.6	26.5	25.0	4.4	2.9	7.4	19.1	4.4	1.5	4.4
	あまりできない (n=25)	28.0	8.0	8.0	48.0	20.0	28.0	0.0	0.0	8.0	4.0	12.0	0.0	4.0
	まったくできない (n=22)	40.9	4.5	4.5	27.3	22.7	36.4	9.1	0.0	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	27.0	1.4	5.4	20.3	31.1	36.5	0.0	1.4	5.4	24.3	4.1	9.5	2.7
	ある程度できる (n=90)	24.4	2.2	12.2	38.9	31.1	30.0	6.7	2.2	5.6	14.4	5.6	2.2	3.3
	あまりできない (n=67)	31.3	6.0	7.5	41.8	26.9	43.3	0.0	4.5	7.5	11.9	4.5	3.0	4.5
	まったくできない (n=37)	32.4	2.7	5.4	29.7	27.0	24.3	8.1	0.0	2.7	27.0	2.7	0.0	2.7

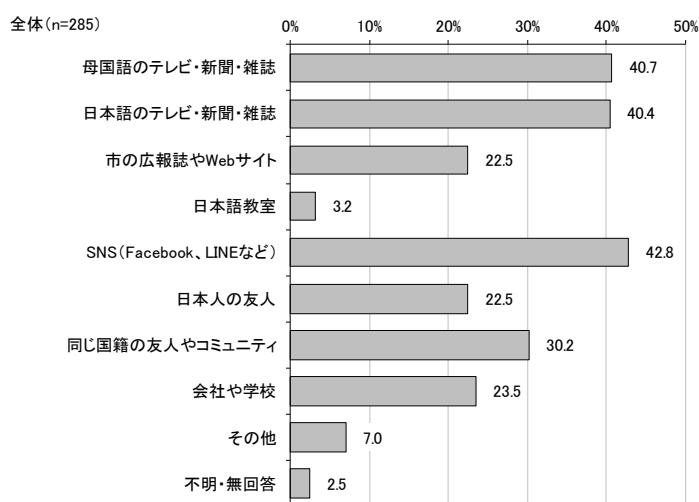
(19) 生活に必要な情報の入手方法（複数回答）

問 19 生活に必要な情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

生活に必要な情報の入手方法についてみると、「SNS (Facebook、LINEなど)」が42.8%で最も高く、次いで「母国語のテレビ・新聞・雑誌」が40.7%、「日本語のテレビ・新聞・雑誌」が40.4%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピンは「母国語のテレビ・新聞・雑誌」が最も高くなっています。中国は「同じ国籍の友人やコミュニティ」、ベトナム・その他は「SNS (Facebook、LINEなど)」が最も高く、その他は「日本語のテレビ・新聞・雑誌」も高くなっています。韓国は「日本語のテレビ・新聞・雑誌」が最も高くなっています。

年代別では、20～30歳代は「SNS (Facebook、LINEなど)」が最も高く、40歳代は「日本語のテレビ・新聞・雑誌」、50～60歳代は「母国語のテレビ・新聞・雑誌」が最も高くなっています。



単位: %	母国語のテレビ・新聞・雑誌	日本語のテレビ・新聞・雑誌	市の広報誌やWebサイト	日本語教室	SNS (Facebook、LINEなど)	日本人の友人	同じ国籍の友人やコミュニティ	会社や学校	その他	不明・無回答	
	全体 (n=285)	40.7	40.4	22.5	3.2	42.8	22.5	30.2	23.5	7.0	2.5
国籍別	ブラジル (n=64)	53.1	39.1	40.6	7.8	39.1	17.2	32.8	12.5	3.1	0.0
	フィリピン (n=44)	47.7	45.5	11.4	2.3	43.2	29.5	38.6	34.1	4.5	0.0
	中国 (n=47)	34.0	61.7	17.0	0.0	25.5	25.5	38.3	17.0	12.8	2.1
	ベトナム (n=57)	42.1	24.6	12.3	5.3	77.2	26.3	29.8	28.1	0.0	1.8
	韓国 (n=11)	0.0	54.5	27.3	0.0	9.1	9.1	0.0	9.1	9.1	27.3
	ペルー (n=8)	25.0	37.5	37.5	0.0	37.5	12.5	25.0	12.5	12.5	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	34.0	36.2	23.4	0.0	36.2	23.4	23.4	34.0	17.0	4.3
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	42.5	39.7	11.0	2.7	60.3	28.8	32.9	31.5	2.7	1.4
	30歳代 (n=88)	39.8	40.9	25.0	4.5	50.0	22.7	30.7	28.4	6.8	2.3
	40歳代 (n=57)	36.8	49.1	33.3	1.8	29.8	22.8	24.6	19.3	14.0	0.0
	50歳代 (n=36)	44.4	30.6	19.4	2.8	33.3	22.2	41.7	16.7	11.1	0.0
	60歳代 (n=17)	58.8	47.1	23.5	5.9	23.5	5.9	29.4	5.9	0.0	5.9
	70歳代 (n=9)	11.1	33.3	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

生活に必要な情報の入手方法について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる層』では「日本語のテレビ・新聞・雑誌」が最も高く、『全て／ある程度できる層・あまりできない層・まったくできない層』では「母国語のテレビ・新聞・雑誌」や「SNS（Facebook、LINEなど）」が高くなっています。

単位：%		母国語のテレビ・新聞・雑誌	日本語のテレビ・新聞・雑誌	市の広報紙やウェブサイト	日本語教室	SNS（Facebook、LINEなど）	日本人の友人	同じ国籍の友人やコミュニティ	会社や学校	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		40.7	40.4	22.5	3.2	42.8	22.5	30.2	23.5	7.0	2.5
を日本語で会話	問題なくできる (n=112)	25.9	58.0	27.7	1.8	39.3	23.2	19.6	25.0	8.0	4.5
	ある程度できる (n=113)	52.2	35.4	18.6	4.4	45.1	23.0	33.6	23.9	6.2	0.9
	あまりできない (n=41)	43.9	22.0	19.5	2.4	43.9	17.1	48.8	12.2	7.3	2.4
	まったくできない (n=12)	41.7	0.0	25.0	8.3	50.0	25.0	41.7	41.7	8.3	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	19.7	62.1	36.4	1.5	31.8	22.7	18.2	21.2	9.1	6.1
	ある程度できる (n=81)	49.4	46.9	13.6	1.2	53.1	19.8	30.9	21.0	7.4	2.5
	あまりできない (n=70)	48.6	37.1	27.1	7.1	41.4	32.9	31.4	30.0	5.7	1.4
	まったくできない (n=52)	40.4	9.6	13.5	3.8	46.2	17.3	42.3	19.2	7.7	0.0
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	33.5	49.4	23.4	2.5	45.6	24.7	26.6	25.3	8.9	3.8
	ある程度できる (n=68)	50.0	42.6	26.5	5.9	41.2	19.1	29.4	19.1	5.9	0.0
	あまりできない (n=25)	52.0	12.0	20.0	4.0	48.0	24.0	40.0	20.0	4.0	4.0
	まったくできない (n=22)	50.0	4.5	9.1	0.0	31.8	13.6	40.9	27.3	4.5	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	21.6	58.1	31.1	2.7	40.5	24.3	21.6	23.0	8.1	5.4
	ある程度できる (n=90)	45.6	43.3	24.4	5.6	44.4	21.1	28.9	26.7	5.6	2.2
	あまりできない (n=67)	47.8	32.8	19.4	1.5	55.2	26.9	34.3	19.4	4.5	1.5
	まったくできない (n=37)	45.9	16.2	8.1	2.7	29.7	18.9	40.5	24.3	16.2	0.0

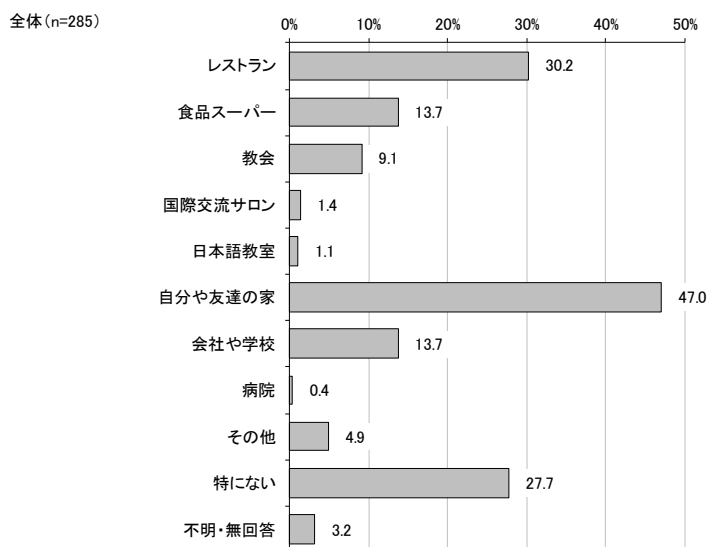
(20) 同じ国の人たちと集まる場所（複数回答）

問 20 同じ国の人たちと集まる場所はどこですか。（○はいくつでも）

同じ国の人たちと集まる場所についてみると、「自分や友達の家」が47.0%で最も高く、次いで「レストラン」が30.2%、「特にない」が27.7%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・ベトナムは「自分や友達の家」が最も高く、韓国・その他は「特にない」が最も高くなっています。フィリピン・中国は「レストラン」も4割台と他の国籍と比べて高くなっています。

年代別にみると、20～60歳代では「自分や友達の家」が最も高く、20～30歳代は「レストラン」も3割台と他の年代と比べて高くなっています。



単位: %		レストラン	食品スーパー	教会	国際交流サロン	日本語教室	自分や友達の家	会社や学校	病院	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		30.2	13.7	9.1	1.4	1.1	47.0	13.7	0.4	4.9	27.7	3.2
国籍別	ブラジル (n=64)	23.4	15.6	14.1	4.7	1.6	53.1	18.8	1.6	4.7	26.6	1.6
	フィリピン (n=44)	43.2	29.5	22.7	0.0	0.0	47.7	29.5	0.0	2.3	13.6	2.3
	中国 (n=47)	42.6	4.3	0.0	0.0	0.0	59.6	0.0	0.0	8.5	23.4	2.1
	ベトナム (n=57)	21.1	19.3	5.3	1.8	3.5	52.6	14.0	0.0	3.5	22.8	5.3
	韓国 (n=11)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	63.6	18.2
	ペルー (n=8)	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	29.8	2.1	6.4	0.0	0.0	36.2	10.6	0.0	6.4	44.7	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	34.2	16.4	9.6	0.0	1.4	54.8	13.7	0.0	5.5	19.2	4.1
	30歳代 (n=88)	37.5	15.9	4.5	1.1	2.3	51.1	15.9	0.0	4.5	28.4	2.3
	40歳代 (n=57)	28.1	10.5	14.0	1.8	0.0	40.4	14.0	0.0	8.8	26.3	0.0
	50歳代 (n=36)	16.7	8.3	13.9	2.8	0.0	44.4	11.1	2.8	2.8	27.8	5.6
	60歳代 (n=17)	23.5	11.8	11.8	5.9	0.0	47.1	11.8	0.0	0.0	35.3	5.9
	70歳代 (n=9)	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

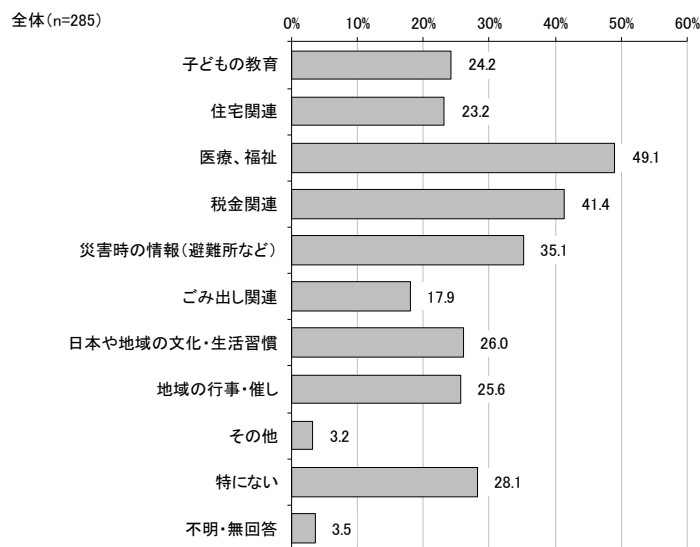
(21) 母国語での提供が必要な情報（複数回答）

問 21 母国語での提供が必要だと思う情報はありますか。（〇はいくつでも）

母国語での提供が必要な情報についてみると、「医療、福祉」が49.1%で最も高く、次いで「税金関連」が41.4%、「災害時の情報（避難所など）」が35.1%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・ベトナムは「医療、福祉」が最も高く、中国は「特にない」も高くなっています。韓国・その他は「特にない」が最も高くなっています。また、ブラジルは「税金関連」、ベトナムは「税金関連」「災害時の情報（避難所など）」がそれぞれ5割台半ばと高くなっています。

年代別にみると、20歳代と40～60歳代では「医療、福祉」が最も高く、60歳代は「特にない」も高くなっています。30歳代は「税金関連」が最も高くなっています。



単位: %		子どもの教育	住宅関連	医療、福祉	税金関連	災害時の情報（避難所など）	ごみ出し関連	日本や地域の文化・生活習慣	地域の行事・催し	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		24.2	23.2	49.1	41.4	35.1	17.9	26.0	25.6	3.2	28.1	3.5
国籍別	ブラジル (n=64)	28.1	32.8	59.4	56.3	46.9	28.1	40.6	40.6	4.7	15.6	1.6
	フィリピン (n=44)	47.7	27.3	65.9	43.2	29.5	18.2	38.6	31.8	2.3	15.9	2.3
	中国 (n=47)	12.8	6.4	40.4	27.7	29.8	8.5	23.4	14.9	0.0	40.4	2.1
	ベトナム (n=57)	21.1	28.1	57.9	54.4	54.4	24.6	26.3	28.1	1.8	15.8	5.3
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	81.8	0.0
	ペルー (n=8)	12.5	37.5	50.0	62.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0
	その他 (n=47)	23.4	23.4	29.8	27.7	21.3	12.8	10.6	19.1	4.3	44.7	6.4
	年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0
	20歳代 (n=73)	20.5	26.0	58.9	46.6	45.2	24.7	21.9	21.9	2.7	20.5	2.7
	30歳代 (n=88)	36.4	28.4	44.3	47.7	39.8	20.5	28.4	31.8	1.1	29.5	3.4
	40歳代 (n=57)	26.3	21.1	47.4	33.3	29.8	15.8	33.3	24.6	5.3	29.8	3.5
	50歳代 (n=36)	19.4	19.4	61.1	47.2	33.3	11.1	25.0	33.3	5.6	19.4	2.8
	60歳代 (n=17)	0.0	17.6	35.3	23.5	11.8	11.8	17.6	11.8	5.9	35.3	5.9
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	66.7	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

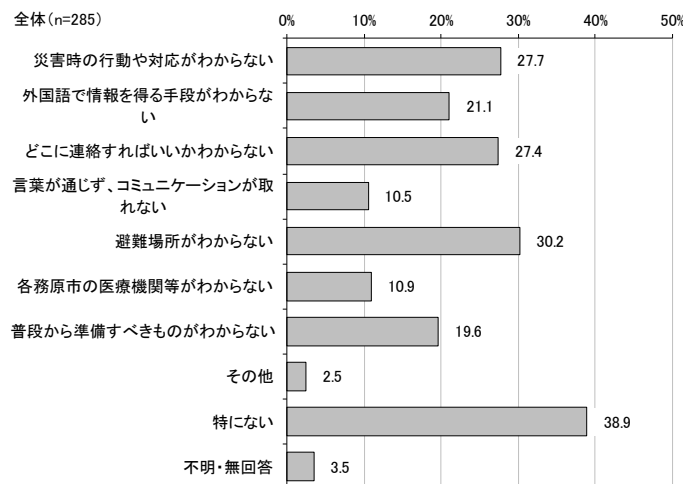
(22) 災害に対する不安な点（複数回答）

問 22 地震や台風等の災害に対して、どのような不安を感じますか。（〇はいくつでも）

災害に対する不安な点についてみると、「特にない」が38.9%で最も高く、次いで「避難場所がわからない」が30.2%、「災害時の行動や対応がわからない」が27.7%となっています。また、「どこに連絡すればいいかわからない」（27.4%）も4位にランクインしていることから、緊急時における初期行動の難しさが見受けられます。

国籍別にみるとブラジル・ベトナムは「避難場所がわからない」が最も高く、フィリピン・中国・韓国・その他は「特にない」が最も高くなっています。また、ベトナムは「災害時の行動や対応がわからない」が4割超と他の国籍と比べて高くなっています。

年代別にみると、20～40歳代では「特にない」が最も高く、50歳代は「どこに連絡すればいいかわからない」が最も高くなっています。60歳代は「災害時の行動や対応がわからない」「外国語で情報を得る手段がわからない」「避難場所がわからない」が最も高く、不安な点が多岐に渡っていることが伺えます。



単位: %	災害時の行動や対応がわからない	外国語で情報を得る手段がわからない	どこに連絡すればいいかわからない	言葉が通じず、コミュニケーションが取れない	避難場所がわからない	各務原市の医療機関等がわからない	普段から準備すべきものがわからない	その他	特にない	不明・無回答	
	全体 (n=285)	27.7	21.1	27.4	10.5	30.2	10.9	19.6	2.5	38.9	3.5
国籍別	ブラジル (n=64)	35.9	34.4	34.4	12.5	40.6	9.4	21.9	0.0	34.4	0.0
	フィリピン (n=44)	22.7	20.5	29.5	11.4	25.0	13.6	18.2	2.3	31.8	2.3
	中国 (n=47)	29.8	12.8	27.7	8.5	21.3	14.9	19.1	6.4	46.8	0.0
	ベトナム (n=57)	40.4	24.6	33.3	10.5	43.9	10.5	29.8	0.0	28.1	5.3
	韓国 (n=11)	18.2	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	9.1	0.0	27.3	27.3
	ペルー (n=8)	37.5	12.5	37.5	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0
	その他 (n=47)	8.5	10.6	17.0	10.6	21.3	10.6	14.9	4.3	57.4	4.3
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	28.8	21.9	27.4	6.8	34.2	13.7	28.8	0.0	41.1	1.4
	30歳代 (n=88)	30.7	20.5	28.4	13.6	31.8	13.6	17.0	2.3	40.9	3.4
	40歳代 (n=57)	21.1	17.5	21.1	8.8	22.8	8.8	14.0	3.5	43.9	1.8
	50歳代 (n=36)	30.6	25.0	36.1	16.7	33.3	5.6	25.0	2.8	30.6	2.8
	60歳代 (n=17)	35.3	35.3	29.4	5.9	35.3	11.8	17.6	5.9	23.5	11.8
	70歳代 (n=9)	11.1	0.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	33.3	22.2
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

災害に対する不安な点について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる層』では「特にない」が最も高く、『全て／ある程度できる層・あまりできない層・まったくできない層』では「避難場所がわからない」、「災害時の行動や対応がわからない」、「どこに連絡すればいいかわからない」が高くなっています。

また、『日本語で会話をする／まったくできていない層』と『ひらがな・カタカナを読む／まったくできない層』では、「外国語で情報を得る手段がわからない」も高くなっています。

単位：%		災害時の行動や対応がわからない	外国語で情報を得る手段がわからない	どこに連絡すればいいかわからない	言葉が通じず、コミュニケーションがとれない	避難場所がわからない	各務原市の医療機関等がわからない	普段から準備すべきものがわからない	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		27.7	21.1	27.4	10.5	30.2	10.9	19.6	2.5	38.9	3.5
を日本語で会話	問題なくできる (n=112)	16.1	9.8	13.4	3.6	17.9	5.4	9.8	5.4	57.1	5.4
	ある程度できる (n=113)	34.5	21.2	34.5	8.8	36.3	13.3	23.9	0.0	32.7	1.8
	あまりできない (n=41)	34.1	31.7	34.1	19.5	36.6	17.1	24.4	0.0	19.5	2.4
	まったくできない (n=12)	66.7	91.7	66.7	58.3	66.7	16.7	58.3	0.0	0.0	0.0
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	15.2	4.5	9.1	4.5	7.6	0.0	4.5	6.1	68.2	4.5
	ある程度できる (n=81)	32.1	14.8	29.6	6.2	32.1	13.6	24.7	1.2	33.3	3.7
	あまりできない (n=70)	31.4	30.0	34.3	10.0	41.4	14.3	27.1	1.4	31.4	2.9
	まったくできない (n=52)	38.5	38.5	38.5	23.1	40.4	13.5	21.2	0.0	21.2	0.0
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	23.4	13.9	17.7	3.2	26.6	8.2	17.7	3.8	48.7	3.8
	ある程度できる (n=68)	36.8	27.9	36.8	17.6	33.8	14.7	20.6	0.0	30.9	2.9
	あまりできない (n=25)	28.0	20.0	44.0	20.0	40.0	8.0	12.0	4.0	24.0	0.0
	まったくできない (n=22)	40.9	50.0	50.0	27.3	40.9	13.6	36.4	0.0	18.2	0.0
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	14.9	5.4	9.5	1.4	17.6	1.4	9.5	5.4	59.5	4.1
	ある程度できる (n=90)	31.1	21.1	28.9	10.0	24.4	14.4	17.8	1.1	44.4	2.2
	あまりできない (n=67)	34.3	31.3	38.8	14.9	50.7	16.4	29.9	1.5	19.4	4.5
	まったくできない (n=37)	40.5	29.7	37.8	18.9	32.4	10.8	24.3	0.0	18.9	0.0

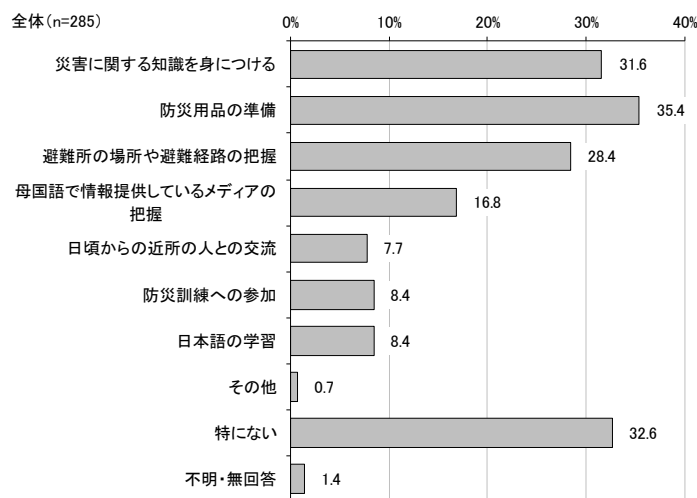
(23) 災害に対する備え（複数回答）

問 23 日頃から災害に対してどのような備えをしていますか。（〇はいくつでも）

災害に対する備えについてみると、「特にない」が32.6%で最も高く、次いで「防災用品の準備」が35.4%、「災害に関する知識を身につける」が31.6%となっています。

国籍別にみるとブラジル・中国・韓国・その他は「特にない」が最も高く、韓国は「防災用品の準備」も高くなっています。フィリピンは「防災用品の準備」、ベトナムは「災害に関する知識を身につける」が最も高くなっています。

年代別にみると、20歳代では「災害に関する知識を身につける」が最も高く、30～40歳代は「防災用品の準備」、50～60歳代は「特にない」が最も高くなっています。



単位：%		災害に関する知識を身につける	防災用品の準備	避難所の場所や避難経路の把握	母国語で情報提供しているメディアの把握	日頃からの近所の人との交流	防災訓練への参加	日本語の学習	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		31.6	35.4	28.4	16.8	7.7	8.4	8.4	0.7	32.6	1.4
国籍別	ブラジル (n=64)	26.6	23.4	18.8	14.1	10.9	12.5	6.3	0.0	50.0	0.0
	フィリピン (n=44)	31.8	59.1	52.3	25.0	9.1	13.6	6.8	0.0	9.1	0.0
	中国 (n=47)	21.3	31.9	19.1	10.6	6.4	4.3	6.4	4.3	42.6	2.1
	ベトナム (n=57)	54.4	40.4	28.1	24.6	3.5	10.5	17.5	0.0	19.3	3.5
	韓国 (n=11)	18.2	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0
	ペルー (n=8)	50.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	21.3	31.9	36.2	12.8	10.6	2.1	8.5	0.0	40.4	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=73)	42.5	35.6	32.9	20.5	5.5	8.2	13.7	0.0	24.7	1.4
	30歳代 (n=88)	31.8	35.2	25.0	22.7	10.2	9.1	12.5	1.1	34.1	2.3
	40歳代 (n=57)	35.1	43.9	31.6	15.8	10.5	8.8	3.5	1.8	24.6	0.0
	50歳代 (n=36)	19.4	30.6	30.6	8.3	2.8	11.1	2.8	0.0	44.4	2.8
	60歳代 (n=17)	17.6	17.6	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	58.8	0.0
	70歳代 (n=9)	11.1	55.6	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

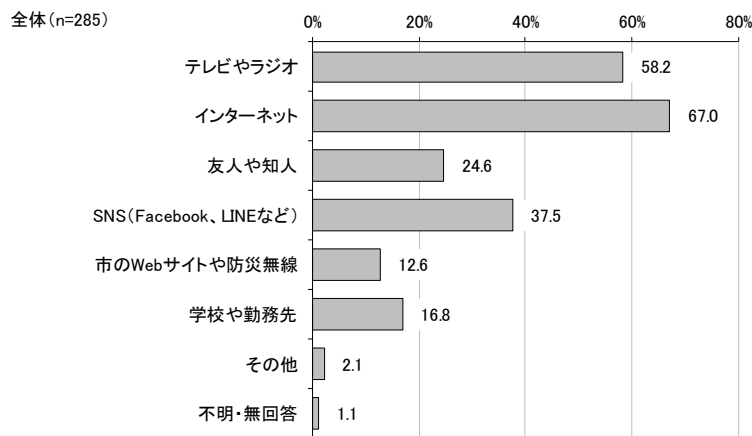
(24) 地震や台風等の情報の入手先（複数回答）

問 24 地震や台風等についての情報をどこから得ていますか。（○はいくつでも）

地震や台風等の情報の入手方法についてみると、「インターネット」が67.0%で最も高く、次いで「テレビやラジオ」が58.2%、「SNS（Facebook、LINEなど）」が37.5%となっています。

国籍別にみるとブラジル・中国・その他は「インターネット」が最も高くなっています。フィリピン・韓国は「テレビやラジオ」、ベトナムは「SNS（Facebook、LINEなど）」が最も高くなっています。一方、ベトナムは「テレビやラジオ」が3割台と他の国籍と比べて低くなっています。

年代別では、20～30歳代は「インターネット」が最も高く、40～60歳代は「テレビやラジオ」が最も高くなっており、年代における情報ツールの違いが伺えます。



単位：%		テレビやラジオ	インターネット	友人や知人	SNS (Facebook、LINEなど)	市のWebサイトや防災無線	学校や勤務先	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		58.2	67.0	24.6	37.5	12.6	16.8	2.1	1.1
国籍別	ブラジル (n=64)	67.2	81.3	37.5	28.1	12.5	15.6	0.0	1.6
	フィリピン (n=44)	61.4	59.1	27.3	47.7	15.9	25.0	0.0	0.0
	中国 (n=47)	66.0	68.1	10.6	17.0	10.6	8.5	6.4	0.0
	ベトナム (n=57)	38.6	70.2	33.3	71.9	14.0	17.5	0.0	0.0
	韓国 (n=11)	90.9	36.4	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
	ペルー (n=8)	50.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	55.3	57.4	14.9	38.3	14.9	27.7	6.4	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	46.6	71.2	34.2	56.2	13.7	21.9	1.4	0.0
	30歳代 (n=88)	42.0	81.8	23.9	48.9	9.1	19.3	2.3	2.3
	40歳代 (n=57)	77.2	63.2	15.8	21.1	21.1	10.5	0.0	0.0
	50歳代 (n=36)	66.7	58.3	33.3	25.0	11.1	19.4	5.6	0.0
	60歳代 (n=17)	88.2	35.3	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	5.9
	70歳代 (n=9)	100.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

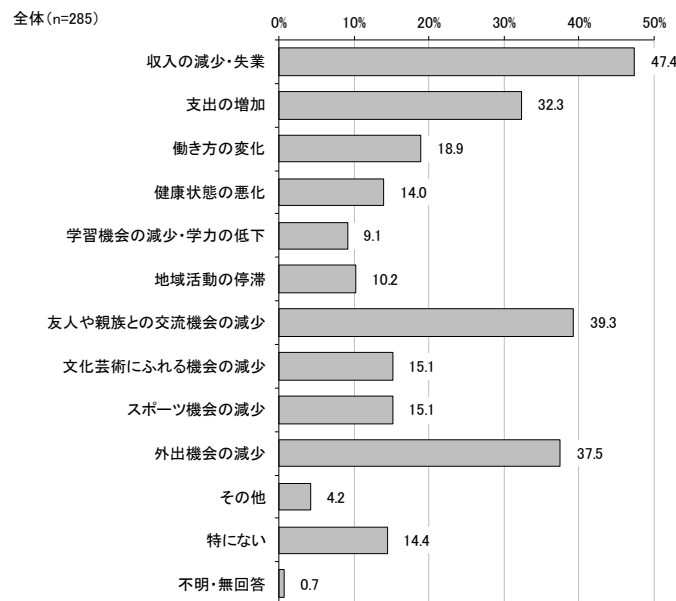
(25) 新型コロナウイルス感染症の影響による困り事・心配事（複数回答）

問 25 新型コロナウイルス感染症の影響で、困っていることや心配なことはありますか。（〇はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症の影響による困り事・心配事についてみると、「収入の減少・失業」が47.4%で最も高く、次いで「友人や親族との交流機会の減少」が39.3%、「外出機会の減少」が37.5%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・ベトナムは「収入の減少・失業」が最も高く、フィリピンは75.0%、ベトナムは61.4%と、他の国籍と比べてスコアが高くなっています。中国は「外出機会の減少」、韓国は「特にない」が最も高く、その他は「友人や親族との交流機会の減少」が最も高くなっています。

年代別では、20～50歳代は「収入の減少・失業」が最も高く、60歳代は「特にない」が最も高くなっています。



単位: %	収入の減少・失業	支出の増加	働き方の変化	健康状態の悪化	学習機会の減少・学力の低下	地域活動の停滞	友人や親族との交流機会の減少	文化芸術にふれる機会の減少	スポーツ機会の減少	外出機会の減少	その他	特にない	不明・無回答	
	全体 (n=285)	47.4	32.3	18.9	14.0	9.1	10.2	39.3	15.1	15.1	37.5	4.2	14.4	0.7
国籍別	ブラジル (n=64)	48.4	46.9	18.8	12.5	9.4	10.9	43.8	18.8	20.3	39.1	1.6	10.9	0.0
	フィリピン (n=44)	75.0	25.0	34.1	18.2	13.6	15.9	54.5	20.5	25.0	54.5	0.0	0.0	2.3
	中国 (n=47)	38.3	27.7	14.9	12.8	2.1	6.4	27.7	12.8	14.9	44.7	8.5	14.9	0.0
	ベトナム (n=57)	61.4	40.4	8.8	15.8	14.0	1.8	33.3	8.8	7.0	24.6	1.8	10.5	0.0
	韓国 (n=11)	9.1	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	18.2	0.0	54.5	0.0
	ペルー (n=8)	50.0	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	21.3	19.1	25.5	17.0	10.6	23.4	48.9	23.4	17.0	40.4	12.8	25.5	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代 (n=73)	56.2	37.0	11.0	12.3	11.0	6.8	34.2	12.3	11.0	31.5	2.7	11.0	0.0
	30歳代 (n=88)	50.0	31.8	17.0	14.8	8.0	15.9	48.9	22.7	27.3	47.7	4.5	9.1	0.0
	40歳代 (n=57)	42.1	26.3	31.6	12.3	12.3	8.8	42.1	10.5	7.0	35.1	8.8	12.3	0.0
	50歳代 (n=36)	52.8	44.4	30.6	8.3	11.1	13.9	41.7	16.7	8.3	36.1	2.8	16.7	2.8
	60歳代 (n=17)	17.6	23.5	5.9	29.4	0.0	0.0	17.6	5.9	11.8	17.6	0.0	47.1	5.9
	70歳代 (n=9)	22.2	22.2	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0	33.3	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

新型コロナウイルス感染症の影響による困り事・心配事について、在留資格別にみると、おおむねどの在留資格においても「収入の減少・失業」が高くなっています。また、『永住者』と『日本人の配偶者等』は「友人や親族との交流機会の減少」「外出機会の減少」も高くなっています。『特別永住者』は「特になし」が最も高く、『その他』では「友人や親族との交流機会の減少」が7割台と他の層に比べて高くなっています。

単位：%		収入の減少・失業	支出の増加	働き方の変化	健康状態の悪化	学習機会の減少・学力の低下	地域活動の停滞	少 友人や親族との交流機会の減少	文化芸術にふれる機会の減少	スポーツ機会の減少	外出機会の減少	その他	特になし	不明・無回答
全体 (n=285)		47.4	32.3	18.9	14.0	9.1	10.2	39.3	15.1	15.1	37.5	4.2	14.4	0.7
在留資格	技術・人文知識・国際業務 (n=27)	59.3	37.0	14.8	18.5	18.5	7.4	51.9	22.2	29.6	37.0	0.0	11.1	0.0
	技能実習 (n=41)	61.0	36.6	7.3	9.8	9.8	4.9	24.4	14.6	7.3	24.4	0.0	12.2	0.0
	特定技能 (n=8)	75.0	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	留学 (n=6)	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0
	家族滞在 (n=5)	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	永住者 (n=118)	39.0	28.0	28.0	14.4	8.5	11.0	39.0	14.4	13.6	39.0	5.1	16.1	1.7
	定住者 (n=24)	87.5	50.0	25.0	8.3	12.5	16.7	45.8	20.8	20.8	33.3	4.2	4.2	0.0
	特別永住者 (n=16)	12.5	37.5	6.3	25.0	6.3	6.3	25.0	12.5	12.5	31.3	0.0	50.0	0.0
	日本人の配偶者等 (n=27)	22.2	14.8	11.1	11.1	7.4	14.8	51.9	18.5	11.1	51.9	11.1	11.1	0.0
	その他 (n=10)	60.0	50.0	30.0	10.0	10.0	30.0	70.0	20.0	30.0	50.0	0.0	10.0	0.0

5. 仕事について

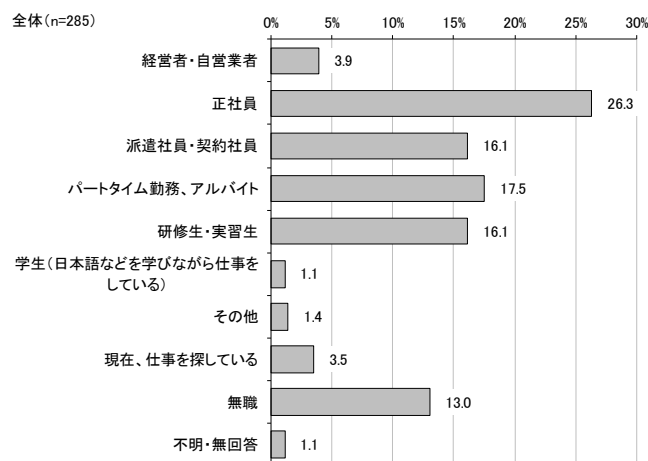
(26) 仕事の形態（単数回答）

問 26 どのような形態で仕事をしていますか。(1つに○)

仕事の形態についてみると、「正社員」が26.3%で最も高く、次いで「パートタイム勤務、アルバイト」が17.5%、「派遣社員・契約社員」「研修生・実習生」がともに16.1%となっています。一方、「無職」も13.0%と1割を超えるスコアとなっています。

国籍別にみるとブラジルは「派遣社員・契約社員」が最も高く、フィリピン・韓国は「パートタイム勤務、アルバイト」、中国・その他は「正社員」、ベトナムは「研修生・実習生」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「研修生・実習生」が最も高くなっています。30歳代・50歳代は「正社員」、40歳代・60歳代は「パートタイム勤務、アルバイト」が最も高く、60歳代は「無職」も高くなっています。



単位: %	経営者・自営業者	正社員	派遣社員・契約社員	パートタイム勤務、アルバイト	研修生・実習生	学生(日本語などを学びながら仕事をしている)	その他	現在、仕事を探している	無職	不明・無回答
全体 (n=285)	3.9	26.3	16.1	17.5	16.1	1.1	1.4	3.5	13.0	1.1
国籍別										
ブラジル (n=64)	3.1	26.6	37.5	9.4	1.6	0.0	4.7	3.1	12.5	1.6
フィリピン (n=44)	2.3	22.7	6.8	40.9	6.8	0.0	0.0	2.3	13.6	4.5
中国 (n=47)	0.0	29.8	8.5	21.3	14.9	4.3	0.0	6.4	14.9	0.0
ベトナム (n=57)	0.0	24.6	10.5	5.3	54.4	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
韓国 (n=11)	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	0.0
ペルー (n=8)	0.0	12.5	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
インドネシア (n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 (n=47)	14.9	34.0	6.4	19.1	4.3	0.0	0.0	2.1	19.1	0.0
年代別										
10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=73)	4.1	27.4	12.3	2.7	39.7	2.7	0.0	2.7	8.2	0.0
30歳代 (n=88)	2.3	29.5	14.8	15.9	18.2	1.1	2.3	2.3	13.6	0.0
40歳代 (n=57)	3.5	28.3	17.5	33.3	0.0	0.0	1.8	8.8	7.0	1.8
50歳代 (n=36)	2.8	33.3	30.6	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	13.9	5.6
60歳代 (n=17)	5.9	11.8	11.8	29.4	0.0	0.0	5.9	5.9	29.4	0.0
70歳代 (n=9)	11.1	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	0.0
80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

仕事の形態について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる層』では「正社員」が最も高くなっています。『全て／ある程度できる層・あまりできない層』では「派遣社員・契約社員」が高く、『全て／まったくできない層』では「無職」や「研修生・実習生」が高くなる傾向がみられます。

単位：%		経営者・自営業者	正社員	派遣社員・契約社員	パートタイム勤務、アルバイト	研修生・実習生	学生（日本語などを学びながら仕事をしている）	その他	現在、仕事を探している	無職	不明・無回答
全体(n=285)		3.9	26.3	16.1	17.5	16.1	1.1	1.4	3.5	13.0	1.1
を日本語で会話	問題なくできる(n=112)	3.6	37.5	8.9	23.2	3.6	0.9	1.8	2.7	17.0	0.9
	ある程度できる(n=113)	5.3	22.1	23.0	15.9	22.1	1.8	0.0	3.5	6.2	0.0
	あまりできない(n=41)	2.4	17.1	17.1	7.3	22.0	0.0	2.4	7.3	22.0	2.4
	まったくできない(n=12)	0.0	8.3	25.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
漢字を読む	問題なくできる(n=66)	3.0	36.4	9.1	19.7	3.0	1.5	3.0	3.0	21.2	0.0
	ある程度できる(n=81)	3.7	34.6	9.9	19.8	18.5	2.5	0.0	2.5	7.4	1.2
	あまりできない(n=70)	8.6	18.6	25.7	17.1	21.4	0.0	0.0	2.9	5.7	0.0
	まったくできない(n=52)	0.0	15.4	21.2	9.6	19.2	0.0	1.9	7.7	23.1	1.9
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる(n=158)	4.4	34.2	10.1	17.1	17.1	0.6	1.3	3.2	11.4	0.6
	ある程度できる(n=68)	4.4	17.6	26.5	23.5	11.8	2.9	0.0	1.5	11.8	0.0
	あまりできない(n=25)	4.0	16.0	28.0	8.0	16.0	0.0	8.0	0.0	20.0	0.0
	まったくできない(n=22)	0.0	9.1	13.6	13.6	22.7	0.0	0.0	18.2	22.7	0.0
日本語を書く	問題なくできる(n=74)	4.1	32.4	10.8	18.9	10.8	0.0	2.7	4.1	16.2	0.0
	ある程度できる(n=90)	2.2	28.9	17.8	15.6	17.8	3.3	0.0	2.2	12.2	0.0
	あまりできない(n=67)	6.0	25.4	20.9	16.4	19.4	0.0	0.0	1.5	9.0	1.5
	まったくできない(n=37)	5.4	16.2	13.5	18.9	10.8	0.0	2.7	10.8	18.9	2.7

【問26で現在仕事をしている(「1」～「7」)と回答された人のみ】

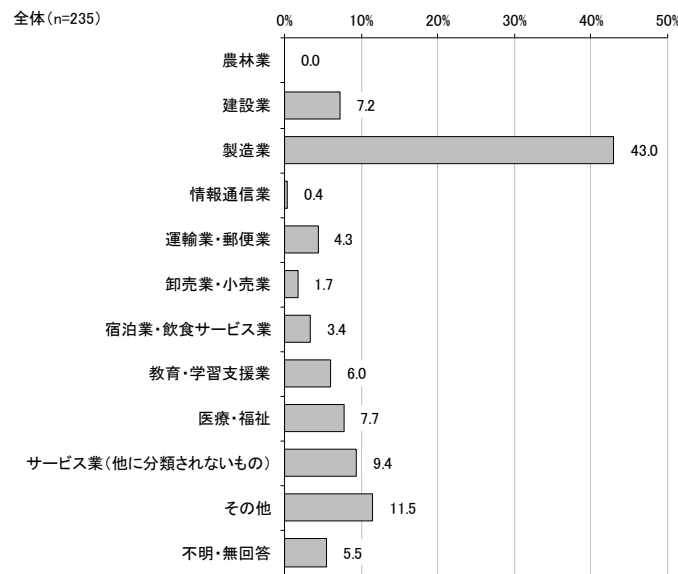
(27) 職業 (単数回答)

問 27 どのような仕事(業種)に就いていますか。(1つに○)

職業についてみると、「製造業」が43.0%で最も高く、次いで「その他」が11.5%、「サービス業(他に分類されないもの)」が9.4%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・ベトナムは「製造業」が最も高く、その他は「教育・学習支援業」が最も高くなっています。

年代別では、20～60歳代は「製造業」が最も高くなっています。また、20歳代では「建設業」が1割台半ばと30～60歳代と比べて高くなっています。



単位: %		農林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	宿泊業・飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業(他に分類されないもの)	その他	不明・無回答
全体 (n=235)		0.0	7.2	43.0	0.4	4.3	1.7	3.4	6.0	7.7	9.4	11.5	5.5
国籍別	ブラジル (n=53)	0.0	1.9	43.4	0.0	9.4	1.9	0.0	3.8	7.5	13.2	13.2	5.7
	フィリピン (n=35)	0.0	8.6	57.1	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0	2.9	5.7	14.3	5.7
	中国 (n=37)	0.0	5.4	51.4	0.0	0.0	0.0	13.5	0.0	8.1	16.2	5.4	0.0
	ベトナム (n=54)	0.0	14.8	46.3	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.4	7.4	9.3	13.0
	韓国 (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	ペルー (n=8)	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	その他 (n=37)	0.0	8.1	10.8	2.7	8.1	5.4	2.7	29.7	13.5	5.4	10.8	2.7
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=65)	0.0	15.4	40.0	0.0	1.5	1.5	3.1	1.5	13.8	4.6	12.3	6.2
	30歳代 (n=74)	0.0	6.8	45.9	1.4	2.7	0.0	5.4	9.5	4.1	9.5	8.1	6.8
	40歳代 (n=47)	0.0	2.1	42.6	0.0	6.4	4.3	4.3	4.3	2.1	10.6	17.0	6.4
	50歳代 (n=29)	0.0	0.0	48.3	0.0	6.9	0.0	0.0	10.3	10.3	13.8	6.9	3.4
	60歳代 (n=11)	0.0	0.0	45.5	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0
	70歳代 (n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問26で現在仕事をしている(「1」~「7」)と回答された人のみ】

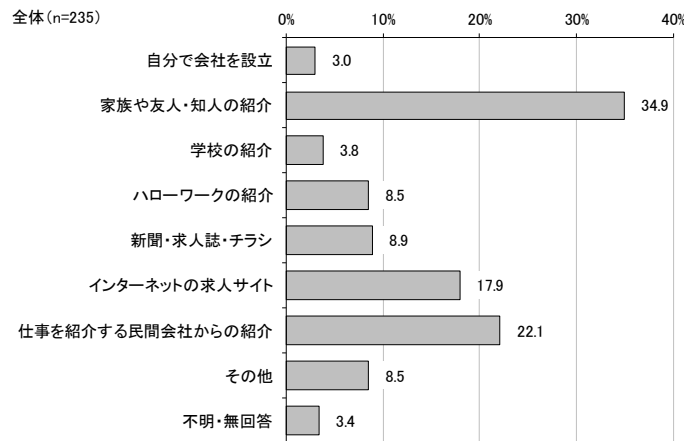
(28) 今の仕事を見つけた手段 (複数回答)

問 28 今の仕事をどのようにして見つけましたか。(〇はいくつでも)

今の仕事を見つけた手段についてみると、「家族や友人・知人の紹介」が34.9%で最も高く、次いで「仕事を紹介する民間会社からの紹介」が22.1%、「インターネットの求人サイト」が17.9%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・その他は「家族や友人・知人の紹介」が最も高く、ブラジルは「仕事を紹介する民間会社からの紹介」、その他は「インターネットの求人サイト」も高くなっています。ベトナムは「仕事を紹介する民間会社からの紹介」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「仕事を紹介する民間会社からの紹介」が最も高くなっています。30~60歳代は「家族や友人・知人の紹介」が最も高く、30歳代までは「仕事を紹介する民間会社からの紹介」も高くなっています。



単位: %		自分で会社を設立	家族や友人・知人の紹介	学校の紹介	ハローワークの紹介	新聞・求人誌・チラシ	インターネットの求人サイト	仕事を紹介する民間会社からの紹介	その他	不明・無回答
		全体 (n=235)	3.0	34.9	3.8	8.5	8.9	17.9	22.1	8.5
国籍別	ブラジル (n=53)	3.8	37.7	0.0	7.5	5.7	18.9	34.0	11.3	0.0
	フィリピン (n=35)	0.0	51.4	2.9	11.4	17.1	14.3	11.4	5.7	0.0
	中国 (n=37)	0.0	32.4	5.4	16.2	10.8	18.9	8.1	18.9	0.0
	ベトナム (n=54)	0.0	24.1	3.7	3.7	1.9	13.0	42.6	5.6	14.8
	韓国 (n=5)	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	ペルー (n=8)	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=37)	10.8	29.7	10.8	8.1	8.1	29.7	2.7	5.4	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=65)	1.5	29.2	10.8	6.2	9.2	16.9	30.8	4.6	4.6
	30歳代 (n=74)	1.4	25.7	1.4	9.5	4.1	23.0	25.7	12.2	6.8
	40歳代 (n=47)	4.3	48.9	0.0	14.9	6.4	21.3	8.5	8.5	0.0
	50歳代 (n=29)	3.4	48.3	0.0	0.0	17.2	10.3	20.7	6.9	0.0
	60歳代 (n=11)	9.1	45.5	9.1	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0
	70歳代 (n=5)	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【問26で現在仕事をしている(「1」～「7」)と回答された人のみ】

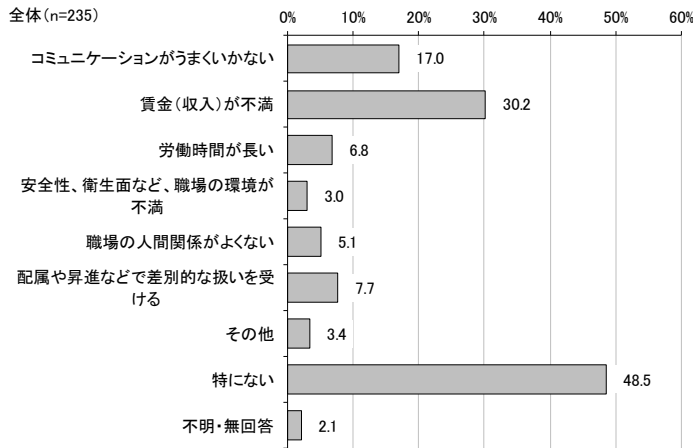
(29) 現在の仕事での困り事・不安な点 (複数回答)

問 29 現在の仕事で、困ったり不満を感じたりしていますか。(〇はいくつでも)

現在の仕事での困り事・不安な点についてみると、「特にない」が48.5%で最も高く、次いで「賃金(収入)が不満」が30.2%、「コミュニケーションがうまくいかない」が17.0%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・その他は「特にない」が最も高くなっています。中国は「賃金(収入)が不満」も高く、ブラジル・フィリピンにおいても、そのスコアは3割台と高くなっています。ベトナムは「コミュニケーションがうまくいかない」が最も高くなっています。

年代別では、20～60歳代は「特にない」が最も高くなっています。また、30歳代・50歳代では「賃金(収入)が不満」が3割台と高くなっています。



単位: %		コミュニケーションがうまくいかない	賃金(収入)が不満	労働時間が長い	安全性、衛生面など、職場の環境が不満	職場の人間関係が良くない	配属や昇進などで差別的な扱いを受ける	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=235)		17.0	30.2	6.8	3.0	5.1	7.7	3.4	48.5	2.1
国籍別	ブラジル (n=53)	7.5	35.8	11.3	1.9	9.4	9.4	3.8	49.1	0.0
	フィリピン (n=35)	8.6	37.1	11.4	5.7	8.6	14.3	0.0	45.7	2.9
	中国 (n=37)	10.8	43.2	13.5	2.7	5.4	10.8	5.4	43.2	0.0
	ベトナム (n=54)	42.6	18.5	1.9	3.7	0.0	3.7	3.7	40.7	3.7
	韓国 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	ペルー (n=8)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	その他 (n=37)	13.5	21.6	0.0	0.0	5.4	2.7	5.4	64.9	2.7
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=65)	27.7	27.7	10.8	4.6	4.6	7.7	4.6	38.5	3.1
	30歳代 (n=74)	18.9	39.2	6.8	4.1	6.8	10.8	2.7	43.2	0.0
	40歳代 (n=47)	8.5	23.4	0.0	2.1	4.3	4.3	2.1	63.8	0.0
	50歳代 (n=29)	13.8	34.5	6.9	0.0	6.9	6.9	6.9	44.8	3.4
	60歳代 (n=11)	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	72.7	9.1
	70歳代 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

6. 医療等について

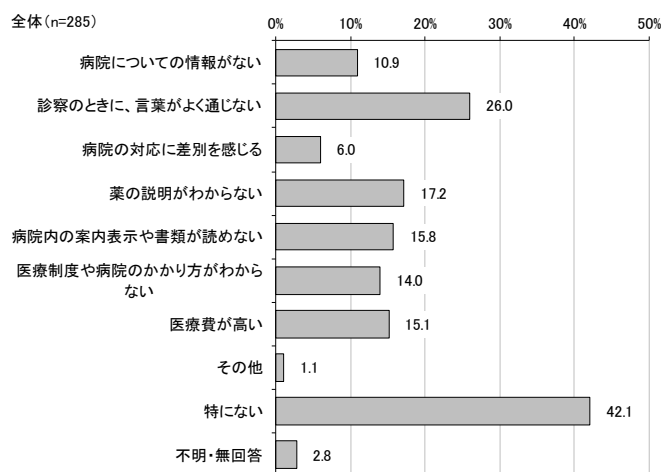
(30) 病気やけがで病院に行くときの困り事（複数回答）

問 30 あなたや家族が病気やけがで病院に行くとき、困ることは何ですか。（○はいくつでも）

病気やけがで病院に行くときの困り事についてみると、「特にない」が42.1%で最も高く、次いで「診察のときに、言葉がよく通じない」が26.0%、「薬の説明がわからない」が17.2%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピン・中国・韓国・その他は「特にない」が最も高く、ベトナムは「診察のときに、言葉がよく通じない」が最も高くなっています。また、ブラジルでは「診察のときに、言葉がよく通じない」、フィリピンでは「薬の説明がわからない」も約3割と高くなっています

年代別では、20～60歳代は「特にない」が最も高くなっています。また、30歳代では「診察のときに、言葉がよく通じない」も3割台と高くなっています。



単位: %	病院についての情報がない	診察のときに、言葉がよく通じない	病院の対応に差別を感じる	薬の説明がわからない	病院内の案内表示や書類が読めない	医療制度や病院のかかり方がわからない	医療費が高い	その他	特にない	不明・無回答	
全体 (n=285)	10.9	26.0	6.0	17.2	15.8	14.0	15.1	1.1	42.1	2.8	
国籍別	ブラジル (n=64)	9.4	29.7	10.9	15.6	18.8	9.4	26.6	1.6	37.5	0.0
	フィリピン (n=44)	6.8	20.5	2.3	29.5	27.3	6.8	18.2	0.0	34.1	6.8
	中国 (n=47)	17.0	21.3	0.0	8.5	2.1	8.5	10.6	4.3	51.1	2.1
	ベトナム (n=57)	14.0	40.4	5.3	17.5	21.1	28.1	14.0	0.0	19.3	5.3
	韓国 (n=11)	9.1	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	72.7	0.0
	ペルー (n=8)	12.5	37.5	25.0	25.0	12.5	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	その他 (n=47)	6.4	19.1	4.3	19.1	14.9	17.0	8.5	0.0	63.8	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	16.4	27.4	9.6	15.1	12.3	13.7	13.7	0.0	37.0	2.7
	30歳代 (n=88)	14.8	30.7	2.3	20.5	18.2	22.7	10.2	0.0	42.0	2.3
	40歳代 (n=57)	5.3	24.6	8.8	19.3	15.8	10.5	24.6	3.5	40.4	1.8
	50歳代 (n=36)	8.3	27.8	5.6	13.9	25.0	8.3	19.4	0.0	36.1	5.6
	60歳代 (n=17)	0.0	11.8	5.9	17.6	11.8	5.9	5.9	5.9	58.8	5.9
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	77.8	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

病気やけがで病院に行くときの困り事について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる層・ある程度できる層』では「特にない」が高く、『全て／あまりできない層・まったくできない層』では「診察のときに、言葉がよく通じない」が高くなっています。

また、『日本語で会話をする／まったくできていない層』では「病院についての情報がない」「薬の説明がわからない」「病院内の案内表示や書類が読めない」「医療制度や病院のかかり方がわからない」も4割台と他の層に比べて高くなっています。

単位：%		病院についての情報がない	診察のときに、言葉がよく通じない	病院の対応に差別を感じる	薬の説明がわからない	病院内の案内表示や書類が読めない	医療制度や病院のかかり方がわからない	医療費が高い	その他	特にない	不明・無回答
全体(n=285)		10.9	26.0	6.0	17.2	15.8	14.0	15.1	1.1	42.1	2.8
を日本語で会話	問題なくできる(n=112)	5.4	4.5	5.4	5.4	6.3	5.4	12.5	1.8	65.2	1.8
	ある程度できる(n=113)	15.0	31.9	6.2	21.2	21.2	17.7	17.7	0.0	32.7	3.5
	あまりできない(n=41)	7.3	61.0	4.9	29.3	17.1	19.5	19.5	0.0	17.1	0.0
	まったくできない(n=12)	41.7	50.0	16.7	41.7	41.7	41.7	8.3	8.3	0.0	0.0
漢字を読む	問題なくできる(n=66)	4.5	4.5	4.5	0.0	0.0	4.5	10.6	3.0	74.2	0.0
	ある程度できる(n=81)	9.9	22.2	4.9	14.8	11.1	12.3	16.0	0.0	42.0	3.7
	あまりできない(n=70)	12.9	30.0	4.3	25.7	25.7	18.6	21.4	0.0	34.3	1.4
	まったくできない(n=52)	17.3	53.8	13.5	32.7	26.9	25.0	13.5	1.9	11.5	1.9
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる(n=158)	7.6	13.9	5.1	6.3	10.1	9.5	15.8	1.3	55.7	1.3
	ある程度できる(n=68)	13.2	36.8	4.4	33.8	25.0	19.1	10.3	0.0	32.4	1.5
	あまりできない(n=25)	20.0	56.0	12.0	24.0	16.0	20.0	28.0	0.0	16.0	4.0
	まったくできない(n=22)	18.2	50.0	13.6	36.4	31.8	31.8	13.6	4.5	9.1	0.0
日本語を書く	問題なくできる(n=74)	6.8	9.5	5.4	1.4	5.4	8.1	12.2	2.7	63.5	0.0
	ある程度できる(n=90)	8.9	25.6	5.6	16.7	12.2	14.4	14.4	0.0	44.4	2.2
	あまりできない(n=67)	17.9	35.8	4.5	34.3	23.9	19.4	19.4	0.0	29.9	3.0
	まったくできない(n=37)	10.8	45.9	13.5	18.9	27.0	18.9	18.9	2.7	10.8	2.7

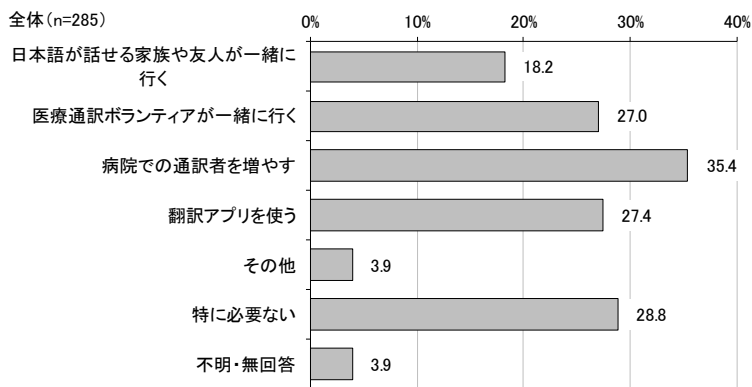
(31) 病院において、希望する言葉の支援（複数回答）

問 31 病院において、あなたはどのように言葉の支援をしてほしいですか。（○はいくつでも）

病院において、希望する言葉の支援についてみると、「病院での通訳者を増やす」が35.4%で最も高く、次いで「特に必要ない」が28.8%、「翻訳アプリを使う」が27.4%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピンは「病院での通訳者を増やす」が最も高く、中国・韓国・その他は「特に必要ない」、ベトナムは「翻訳アプリを使う」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代・40～60歳代は「病院での通訳者を増やす」が最も高く、30歳代は「医療通訳ボランティアと一緒にいく」が最も高くなっています。また、20歳代では「翻訳アプリを使う」も3割台半ばと高くなっています。



単位: %		一 日 本 語 が 話 せ る 家 族 や 友 人 が 一 緒 に 行 く	に 医 療 通 訳 ボ ラ ン テ ィ ア が 一 緒 に 行 く	病 院 で の 通 訳 者 を 増 や す	翻 訳 ア プ リ を 使 う	そ の 他	特 に 必 要 な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=285)		18.2	27.0	35.4	27.4	3.9	28.8	3.9
国籍別	ブラジル (n=64)	9.4	34.4	50.0	34.4	1.6	21.9	1.6
	フィリピン (n=44)	18.2	34.1	50.0	38.6	6.8	11.4	4.5
	中国 (n=47)	27.7	10.6	25.5	19.1	4.3	44.7	2.1
	ベトナム (n=57)	29.8	31.6	28.1	35.1	1.8	14.0	7.0
	韓国 (n=11)	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	72.7	18.2
	ペルー (n=8)	0.0	62.5	62.5	12.5	0.0	25.0	0.0
	インドネシア (n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0
	その他 (n=47)	14.9	23.4	27.7	19.1	6.4	44.7	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	27.4	23.3	35.6	34.2	2.7	26.0	4.1
	30歳代 (n=88)	18.2	34.1	30.7	29.5	1.1	29.5	2.3
	40歳代 (n=57)	19.3	24.6	35.1	26.3	14.0	26.3	1.8
	50歳代 (n=36)	11.1	30.6	55.6	13.9	0.0	25.0	5.6
	60歳代 (n=17)	5.9	23.5	35.3	23.5	0.0	29.4	11.8
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	77.8	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

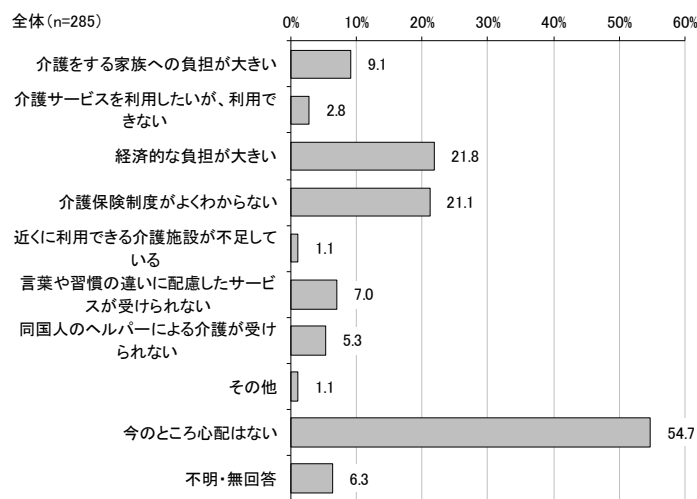
(32) 介護サービスを受ける際の困り事・心配事（複数回答）

問 32 ご自身または家族が日本で介護サービスを受ける（現在、受けている）ときに、困ることや心配なことはありますか。（〇はいくつでも）

介護サービスを受ける際の困り事・心配事についてみると、「今のところ心配はない」が54.7%で最も高く、次いで「経済的な負担が大きい」が21.8%、「介護保険制度がよくわからない」が21.1%となっています。

国籍別にみると、どの国籍においても「今のところ心配はない」が最も高くなっています。また、ブラジルでは「介護保険制度がよくわからない」、ベトナムでは「経済的な負担が大きい」がともに3割台半ばと高くなっています。

年代別にみると、どの年代においても「今のところ心配はない」が最も高くなっています。また、50～60歳代では「介護保険制度がよくわからない」がともに2割台後半と高くなっています。



単位: %	介護をする家族への負担が大きい	介護サービスを利用したいが、利用できない	経済的な負担が大きい	介護保険制度がよくわからない	近くに利用できる介護施設が不足している	言葉や習慣の違いに配慮したサービスが受けられない	同国人のヘルパーによる介護が受けられない	その他	今のところ心配はない	不明・無回答	
	全体 (n=285)	9.1	2.8	21.8	21.1	1.1	7.0	5.3	1.1	54.7	6.3
国籍別	ブラジル (n=64)	6.3	4.7	18.8	37.5	0.0	9.4	4.7	0.0	51.6	1.6
	フィリピン (n=44)	13.6	4.5	11.4	13.6	0.0	6.8	11.4	2.3	61.4	6.8
	中国 (n=47)	6.4	2.1	23.4	19.1	2.1	4.3	4.3	2.1	48.9	10.6
	ベトナム (n=57)	14.0	1.8	36.8	21.1	1.8	7.0	1.8	0.0	45.6	8.8
	韓国 (n=11)	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	18.2
	ペルー (n=8)	12.5	0.0	37.5	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	37.5	12.5
	インドネシア (n=5)	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	その他 (n=47)	4.3	0.0	14.9	8.5	2.1	4.3	6.4	0.0	78.8	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代 (n=73)	5.5	0.0	24.7	12.3	1.4	5.5	4.1	2.7	56.2	8.2
	30歳代 (n=88)	9.1	2.3	19.3	25.0	1.1	4.5	4.5	0.0	58.0	5.7
	40歳代 (n=57)	17.5	5.3	24.6	21.1	1.8	15.8	8.8	0.0	49.1	3.5
	50歳代 (n=36)	8.3	2.8	22.2	27.8	0.0	5.6	2.8	2.8	50.0	2.8
	60歳代 (n=17)	0.0	11.8	11.8	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0	52.9	17.6
	70歳代 (n=9)	11.1	0.0	33.3	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	44.4	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

7. 子育て・教育について

【お子さんがいる人のみ】

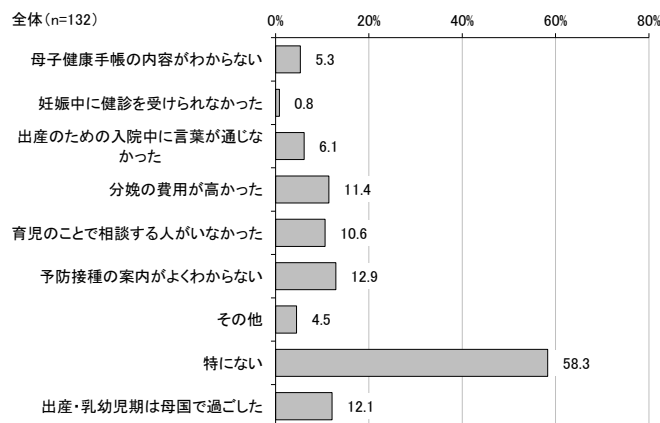
(33) 出産・育児での困り事（複数回答）

問 33 出産・育児で、次のようなことで困ったことがありますか。（○はいくつでも）

出産・育児での困り事についてみると、「特にない」が58.3%で最も高く、次いで「予防接種の案内がよくわからない」が12.9%、「出産・乳幼児期は母国で過ごした」が12.1%となっています。

国籍別にみると、多くの国籍において「特にない」が最も高くなっており、中国・ベトナムでは「育児のことで相談する人がいなかった」も2割台後半から3割台と他の国籍と比べて高くなっています。

年代別にみると、どの年代においても「特にない」が最も高く、また、20歳代では「育児のことで相談する人がいなかった」も約2割と高くなっています。



単位: %	困り事	困り事								
		母子健康手帳の内容がわからない	妊娠中に健診を受けられなかった	通じたための入院中に言葉が通じなかった	分娩の費用が高かった	育児のことで相談する人がいなかった	予防接種の案内がよくわからない	その他	特にない	出産・乳幼児期は母国で過ごした
全体 (n=132)		5.3	0.8	6.1	11.4	10.6	12.9	4.5	58.3	12.1
国籍別	ブラジル (n=36)	2.8	0.0	5.6	13.9	2.8	13.9	2.8	63.9	11.1
	フィリピン (n=22)	4.5	0.0	9.1	13.6	4.5	18.2	0.0	54.5	4.5
	中国 (n=19)	0.0	0.0	5.3	15.8	26.3	5.3	10.5	57.9	5.3
	ベトナム (n=19)	15.8	5.3	10.5	15.8	31.6	15.8	0.0	47.4	26.3
	韓国 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	ペルー (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3
	インドネシア (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	その他 (n=26)	7.7	0.0	3.8	3.8	3.8	11.5	3.8	65.4	11.5
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代 (n=21)	4.8	0.0	9.5	9.5	19.0	14.3	4.8	71.4	4.8
	30歳代 (n=48)	6.3	2.1	8.3	18.8	14.6	14.6	6.3	39.6	18.8
	40歳代 (n=37)	5.4	0.0	2.7	5.4	2.7	16.2	0.0	73.0	5.4
	50歳代 (n=12)	0.0	0.0	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	66.7	8.3
	60歳代 (n=6)	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	33.3
	70歳代 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

【お子さんがいる人のみ】

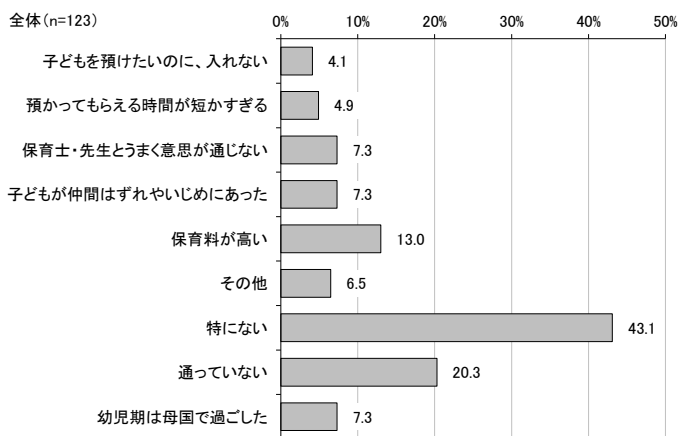
(34) 保育所・幼稚園での困り事（複数回答）

問 34 保育所・幼稚園で、次のようなことで困ったことがありますか。（〇はいくつでも）

保育所・幼稚園での困り事についてみると、「特にない」が43.1%で最も高く、次いで「通っていない」が20.3%、「保育料が高い」が13.0%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・中国・ベトナム・その他は「特にない」が最も高くなっています。一方、フィリピンは「通っていない」が最も高く、4割を超えています。

年代別では、20歳代・40～60歳代は「特にない」が最も高く、30歳代では「通っていない」が最も高くなっています。



単位: %	子どもを預けたいのに、入れない	預かってもらえる時間が短かすぎる	保育士・先生とうまく意思が通じない	子どもが仲間はずれやいじめにあった	保育料が高い	その他	特にない	通っていない	幼児期は母国で過ごした	
	全体 (n=123)	4.1	4.9	7.3	7.3	13.0	6.5	43.1	20.3	7.3
国籍別	ブラジル (n=37)	5.4	2.7	10.8	13.5	16.2	8.1	40.5	10.8	10.8
	フィリピン (n=22)	0.0	4.5	0.0	4.5	18.2	0.0	36.4	40.9	0.0
	中国 (n=15)	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	13.3	40.0	26.7	6.7
	ベトナム (n=14)	7.1	14.3	7.1	0.0	21.4	7.1	42.9	14.3	14.3
	韓国 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	ペルー (n=3)	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	インドネシア (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0
	その他 (n=25)	0.0	4.0	12.0	8.0	8.0	0.0	52.0	20.0	4.0
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	20歳代 (n=17)	5.9	5.9	5.9	11.8	11.8	5.9	41.2	29.4	0.0
	30歳代 (n=43)	7.0	4.7	14.0	7.0	14.0	9.3	23.3	27.9	11.6
	40歳代 (n=36)	0.0	8.3	2.8	2.8	16.7	5.6	63.9	8.3	2.8
	50歳代 (n=12)	8.3	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	41.7	16.7	8.3
	60歳代 (n=7)	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6
	70歳代 (n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

保育所・幼稚園での困り事について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、『全て／問題なくできる・ある程度できる・あまりできない層』ではおおむね「特にない」が高く、『全て／まったくできていない層』では「通っていない」が高くなる傾向が見られます。

また、『日本語で会話をする／まったくできていない層』は「保育士・先生とうまく意思が通じない」が6割台半ばと他の層と比べて高くなっています。

単位：%		子どもを預けたのに、入れ	預かってもらえる時間が短か	通じない 保育士・先生とうまく意思が	子どもが仲間はずれやいじめ	保育料が高い	その他	特にない	通っていない	幼児期は母国で過ごした
全体 (n=123)		4.1	4.9	7.3	7.3	13.0	6.5	49.1	20.3	7.3
日本語で会話	問題なくできる (n=56)	5.4	5.4	1.8	1.8	14.3	3.6	57.1	19.6	1.8
	ある程度できる (n=48)	2.1	0.0	10.4	14.6	14.6	8.3	35.4	18.8	10.4
	あまりできない (n=11)	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	27.3	18.2	18.2
	まったくできない (n=3)	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3
漢字を読む	問題なくできる (n=30)	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	66.7	20.0	3.3
	ある程度できる (n=32)	6.3	6.3	6.3	6.3	28.1	6.3	40.6	18.8	3.1
	あまりできない (n=35)	0.0	2.9	5.7	17.1	8.6	5.7	40.0	14.3	11.4
	まったくできない (n=15)	13.3	6.7	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	46.7	20.0
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=76)	3.9	5.3	2.6	2.6	11.8	5.3	53.9	18.4	5.3
	ある程度できる (n=27)	0.0	0.0	11.1	18.5	14.8	7.4	33.3	18.5	7.4
	あまりできない (n=9)	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	22.2	0.0	33.3	11.1
	まったくできない (n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0
日本語を書く	問題なくできる (n=30)	6.7	6.7	3.3	0.0	6.7	6.7	66.7	13.3	3.3
	ある程度できる (n=45)	2.2	4.4	4.4	11.1	17.8	8.9	35.6	15.6	11.1
	あまりできない (n=22)	4.5	4.5	13.6	9.1	4.5	4.5	50.0	27.3	0.0
	まったくできない (n=13)	7.7	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	15.4	38.5	23.1

【お子さんがいる人のみ】

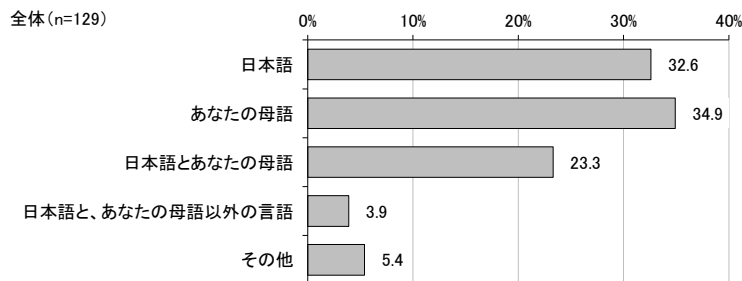
(35) お子さんと家庭で話す主な言語（単数回答）

問 35 お子さんと家庭で主にどの言語で話をしますか。（1つに○）

お子さんと家庭で話す主な言語についてみると、「あなたの母語」が34.9%で最も高く、次いで「日本語」が32.6%、「日本語とあなたの母語」が23.3%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・ベトナムは「あなたの母語」が最も高く、フィリピン・中国・その他は「日本語」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代は「日本語とあなたの母語」が最も高く、30歳代・50歳代は「あなたの母語」、40歳代は「日本語」が最も高くなっています。



単位: %		日本語	あなたの母語	日本語とあなたの母語	日本語と、あなたの母語以外の言語	その他
全体 (n=129)		32.6	34.9	23.3	3.9	5.4
国籍別	ブラジル (n=37)	16.2	48.6	29.7	2.7	2.7
	フィリピン (n=25)	48.0	4.0	20.0	12.0	16.0
	中国 (n=20)	40.0	25.0	30.0	0.0	5.0
	ベトナム (n=15)	0.0	73.3	26.7	0.0	0.0
	韓国 (n=2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ペルー (n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
	その他 (n=25)	52.0	28.0	16.0	4.0	0.0
年代別	10歳代 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=15)	13.3	26.7	33.3	6.7	20.0
	30歳代 (n=49)	22.4	46.9	20.4	6.1	4.1
	40歳代 (n=39)	51.3	15.4	28.2	2.6	2.6
	50歳代 (n=14)	21.4	50.0	21.4	0.0	7.1
	60歳代 (n=7)	28.6	57.1	14.3	0.0	0.0
	70歳代 (n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【お子さんがいる人で、お子さんが小・中学校に通っている人のみ】

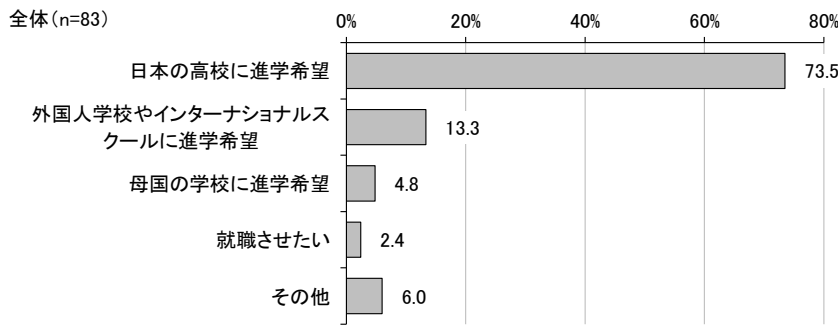
(36) お子さんの中学校卒業後の進路希望（単数回答）

問 36 お子さんの中学校卒業後の進路希望はどのようなものですか。（1つに○）

お子さんの中学校卒業後の進路希望についてみると、「日本の高校に進学希望」が73.5%で最も高く、次いで「外国人学校やインターナショナルスクールに進学希望」が13.3%、「その他」が6.0%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・中国・その他は「日本の高校に進学希望」が最も高くなっています。また、中国は「外国人学校やインターナショナルスクールに進学希望」も2割台後半と高くなっています。

年代別では、おおむねどの年代においても「日本の高校に進学希望」が最も高く、30～40歳代では、「外国人学校やインターナショナルスクールに進学希望」も1割台と高くなっています。



単位: %		日本 の 高 校 に 進 学 希 望	外 国 人 学 校 や イ ン タ ー ナ シ ョ ナ ル ス ク ー ル に 進 学 希 望	母 国 の 学 校 に 進 学 希 望	就 職 さ せ た い	そ の 他
全体 (n=83)		73.5	13.3	4.8	2.4	6.0
国籍別	ブラジル (n=23)	78.3	8.7	0.0	4.3	8.7
	フィリピン (n=20)	80.0	10.0	0.0	5.0	5.0
	中国 (n=14)	64.3	28.6	7.1	0.0	0.0
	ベトナム (n=9)	44.4	22.2	33.3	0.0	0.0
	韓国 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ペルー (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
	その他 (n=12)	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0
	年代別	10歳代 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 (n=9)		55.6	22.2	11.1	0.0	11.1
30歳代 (n=30)		66.7	16.7	10.0	6.7	0.0
40歳代 (n=31)		80.6	12.9	0.0	0.0	6.5
50歳代 (n=11)		90.9	0.0	0.0	0.0	9.1
60歳代 (n=0)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70歳代 (n=0)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80歳以上 (n=1)		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

お子さんの中学校卒業後の進路希望について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、どの能力別においても「日本の高校に進学希望」が高くなっています。

また、『日本語で会話をする／まったくできていない層』では「外国人学校やインターナショナルスクールに進学希望」「その他」、『ひらがな・カタカナを読む／まったくできていない層』では「その他」も高くなっています。

単位：%		日本の高校に進学希望	外国人学校やインターナショナルスクールに進学希望	母国の学校に進学希望	就職させたい	その他
全体 (n=83)		73.5	13.3	4.8	2.4	6.0
日本語で会話	問題なくできる (n=38)	84.2	7.9	0.0	2.6	5.3
	ある程度できる (n=29)	75.9	10.3	6.9	3.4	3.4
	あまりできない (n=9)	44.4	33.3	11.1	0.0	11.1
	まったくできない (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
漢字を読む	問題なくできる (n=19)	78.9	10.5	5.3	0.0	5.3
	ある程度できる (n=22)	81.8	13.6	4.5	0.0	0.0
	あまりできない (n=21)	71.4	9.5	0.0	9.5	9.5
	まったくできない (n=12)	50.0	25.0	16.7	0.0	8.3
タヒラナがな読む・カ	問題なくできる (n=49)	71.4	12.2	6.1	2.0	8.2
	ある程度できる (n=19)	84.2	10.5	0.0	5.3	0.0
	あまりできない (n=6)	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	まったくできない (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
日本語を書く	問題なくできる (n=17)	82.4	11.8	0.0	0.0	5.9
	ある程度できる (n=33)	75.8	9.1	6.1	3.0	6.1
	あまりできない (n=17)	58.8	29.4	5.9	5.9	0.0
	まったくできない (n=6)	83.3	0.0	0.0	0.0	16.7

【お子さんもしくは、あなたご自身が高校に通っている人】

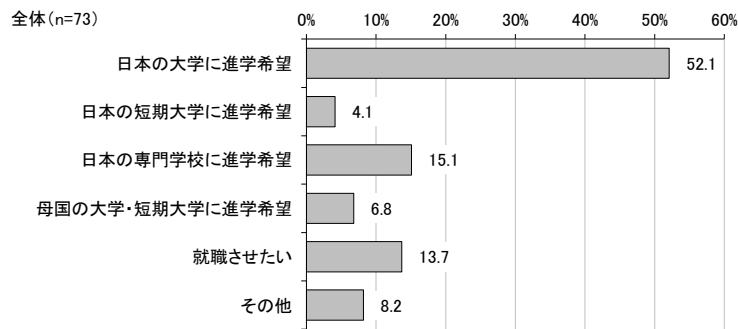
(37) お子さんもしくはあなたご自身の高校卒業後の進路希望（単数回答）

問 37 あなたのお子さん(あなた)の高校卒業後の進路希望はどのようなものですか。(1つに○)

お子さんもしくはあなたご自身の高校卒業後の進路希望についてみると、「日本の大学に進学希望」が52.1%で最も高く、次いで「日本の専門学校に進学希望」が15.1%、「就職させたい」が13.7%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・中国・その他は「日本の大学に進学希望」が最も高くなっています。また、ブラジルは「就職させたい」が2割台後半、中国は「日本の専門学校に進学希望」が3割と高くなっています。

年代別では、おおむねどの年代においても「日本の大学に進学希望」が最も高く、40歳代では、「日本の専門学校に進学希望」も2割台半ばと高くなっています。



単位: %		日本の大学に進学希望	日本の短期大学に進学希望	日本の専門学校に進学希望	母国の大学・短期大学に進学希望	就職させたい	その他
全体 (n=73)		52.1	4.1	15.1	6.8	13.7	8.2
国籍別	ブラジル (n=19)	47.4	0.0	15.8	0.0	26.3	10.5
	フィリピン (n=21)	57.1	9.5	14.3	0.0	14.3	4.8
	中国 (n=10)	40.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0
	ベトナム (n=8)	50.0	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5
	韓国 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ペルー (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	その他 (n=11)	63.6	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0
年代別	10歳代 (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=9)	44.4	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2
	30歳代 (n=27)	55.6	3.7	14.8	11.1	11.1	3.7
	40歳代 (n=24)	58.3	4.2	25.0	0.0	12.5	0.0
	50歳代 (n=11)	36.4	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2
	60歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【お子さんもしくは、あなたご自身が小・中・高校に通っている人】

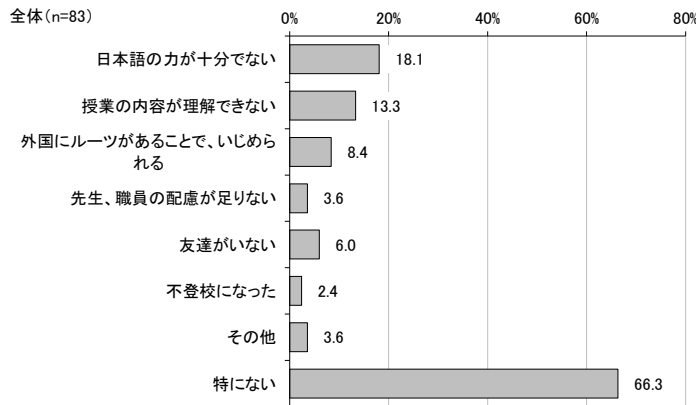
(38) お子さんまたはあなた自身の学校における困り事・悩み事（複数回答）

問 38 あなたのお子さん(あなた)は、学校で困ったり悩んだりしていますか。(〇はいくつでも)

お子さんまたはあなた自身の学校における困り事・悩み事についてみると、「特にない」が66.3%で最も高く、次いで「日本語の力が十分でない」が18.1%、「授業の内容が理解できない」が13.3%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・フィリピン・中国・その他は「特にない」が最も高くなっています。また、ブラジル・その他は「日本語の力が十分でない」がともに2割台、フィリピンは「授業の内容が理解できない」が2割後半と高くなっています。

年代別では、おおむねどの年代においても「特にない」が最も高く、20歳代では、「授業の内容が理解できない」、30歳では「日本語の力が十分でない」がともに2割台半ばと高くなっています。



単位: %		日本語の力が十分でない	授業の内容が理解できない	外国にルーツがあることで、いじめられる	先生、職員の配慮が足りない	友達がいない	不登校になった	その他	特にない
全体 (n=83)		18.1	13.3	8.4	3.6	6.0	2.4	3.6	66.3
国籍別	ブラジル (n=24)	20.8	4.2	8.3	4.2	8.3	8.3	4.2	62.5
	フィリピン (n=18)	16.7	27.8	16.7	11.1	5.6	0.0	0.0	66.7
	中国 (n=15)	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	80.0
	ベトナム (n=8)	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	韓国 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	ペルー (n=)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
	その他 (n=13)	23.1	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	69.2
年代別	10歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代 (n=16)	18.8	25.0	6.3	0.0	6.3	0.0	12.5	43.8
	30歳代 (n=25)	24.0	12.0	12.0	4.0	4.0	0.0	4.0	68.0
	40歳代 (n=25)	16.0	16.0	8.0	4.0	8.0	8.0	0.0	72.0
	50歳代 (n=13)	15.4	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0	76.9
	60歳代 (n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

【お子さんもしくは、あなたご自身が小・中・高校に通っている人】

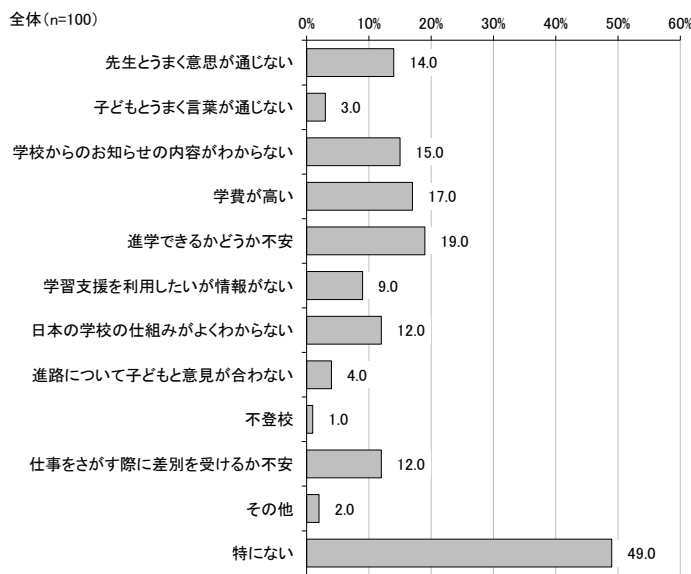
(39) お子さんまたはあなた自身の学校と進路における不安な点（複数回答）

問 39 あなたのお子さん(あなた)の学校と進路について、不安なことはありますか。(○はいくつでも)

お子さんまたはあなた自身の学校と進路における不安な点についてみると、「特にない」が49.0%で最も高く、次いで「進学できるかどうか不安」が19.0%、「学費が高い」が17.0%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・中国・その他は「特にない」が最も高く、フィリピンは「進学できるかどうか不安」が最も高くなっています。

年代別では、おおむねどの年代においても「特にない」が最も高く、50歳代では、「学習支援を利用したいが情報がない」が2割台と他の年代と比べて高くなっています。



単位: %	先生とうまく意思が通じない	子どもとうまく言葉が通じない	学校からのお知らせの内容がわからない	学費が高い	進学できるかどうか不安	学習支援を利用したいが情報がない	日本の学校の仕組みがよくわからない	進路について子どもと意見が合わない	不登校	仕事をさがす際に差別を受けるか不安	その他	特にない	
全体 (n=100)	14.0	3.0	15.0	17.0	19.0	9.0	12.0	4.0	1.0	12.0	2.0	49.0	
国籍別	ブラジル (n=25)	16.0	0.0	16.0	16.0	20.0	16.0	12.0	12.0	4.0	16.0	0.0	56.0
	フィリピン (n=25)	12.0	8.0	28.0	28.0	32.0	12.0	16.0	4.0	0.0	20.0	0.0	28.0
	中国 (n=19)	21.1	5.3	0.0	15.8	21.1	5.3	21.1	0.0	0.0	5.3	0.0	36.8
	ベトナム (n=6)	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3
	韓国 (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
	ペルー (n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7
	その他 (n=18)	11.1	0.0	16.7	11.1	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	66.7
年代別	10歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代 (n=11)	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	72.7
	30歳代 (n=35)	22.9	8.6	17.1	17.1	17.1	8.6	17.1	0.0	0.0	11.4	2.9	42.9
	40歳代 (n=34)	11.8	0.0	17.6	20.6	28.5	8.8	14.7	8.8	2.9	11.8	0.0	47.1
	50歳代 (n=14)	7.1	0.0	14.3	21.4	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0	21.4	0.0	42.9
	60歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	70歳代 (n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

お子さんまたはあなた自身の学校と進路における不安な点について、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「特にない」が高く、なかでも『全て／問題なくできる層』では、そのスコアは5割台から7割台と他の層と比べて高くなっています。

一方、『日本語で会話をする／あまりできない層』では「先生とうまく意思が通じない」「日本の学校の仕組みがよくわからない」が5割と高くなっています。

単位：%		先生とうまく意思が通じない	子どもとうまく言葉が通じない	学校からのお知らせの内容がわからない	学費が高い	進学できるかどうか不安	学習支援を利用したいが情報が	日本の学校の仕組みがよくわからない	進路について子どもと意見が合わない	不登校	仕事をさがす際に差別を受けるか不安	その他	特にない
全体 (n=100)		14.0	3.0	15.0	17.0	19.0	9.0	12.0	4.0	1.0	12.0	2.0	49.0
を日本語で会話	問題なくできる(n=52)	5.8	1.9	7.7	11.5	21.2	3.8	3.8	1.9	0.0	5.8	0.0	61.5
	ある程度できる(n=31)	16.1	3.2	19.4	22.6	16.1	12.9	12.9	3.2	3.2	19.4	3.2	38.7
	あまりできない(n=10)	50.0	10.0	30.0	10.0	10.0	20.0	50.0	10.0	0.0	20.0	10.0	30.0
	まったくできない(n=3)	0.0	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
漢字を読む	問題なくできる(n=27)	3.7	0.0	0.0	3.7	11.1	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	70.4
	ある程度できる(n=25)	8.0	0.0	12.0	32.0	24.0	8.0	20.0	0.0	4.0	8.0	0.0	44.0
	あまりできない(n=28)	21.4	7.1	17.9	17.9	17.9	14.3	10.7	3.6	0.0	25.0	7.1	39.3
	まったくできない(n=11)	18.2	9.1	36.4	9.1	18.2	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる(n=63)	11.1	1.6	7.9	14.3	19.0	6.3	7.9	3.2	0.0	9.5	1.6	55.6
	ある程度できる(n=21)	14.3	4.8	28.6	19.0	14.3	14.3	19.0	0.0	4.8	19.0	4.8	33.3
	あまりできない(n=7)	28.6	14.3	14.3	28.6	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	まったくできない(n=3)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
日本語を書く	問題なくできる(n=24)	4.2	0.0	0.0	0.0	20.8	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	66.7
	ある程度できる(n=40)	15.0	0.0	7.5	20.0	20.0	10.0	12.5	2.5	2.5	17.5	2.5	47.5
	あまりできない(n=17)	17.6	11.8	23.5	29.4	17.6	11.8	17.6	0.0	0.0	17.6	5.9	41.2
	まったくできない(n=8)	12.5	12.5	50.0	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5

8. 日本人との交流・活動について

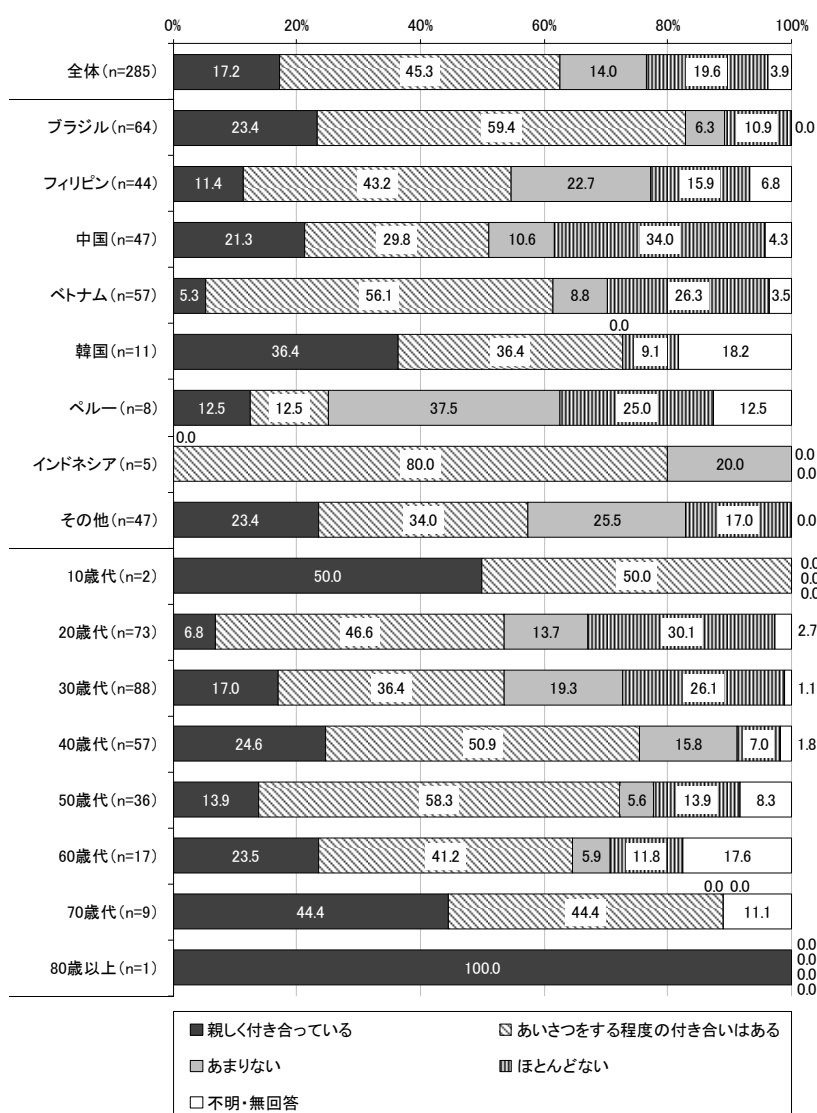
(40) 近隣の日本人住民との付き合いの有無（単数回答）

問 40 近隣の日本人住民との付き合いはありますか。（1つに○）

近隣の日本人住民との付き合いの有無についてみると、「あいさつをする程度の付き合いはある」が45.3%、「ほとんどない」が19.6%、「親しく付き合っている」が17.2%、「あまりない」が14.0%となっており、「親しく付き合っている」と「あいさつをする程度の付き合いはある」を合わせた【付き合いがある計】は62.5%、「あまりない」と「ほとんどない」合わせた【付き合いがない計】は33.6%となっています。

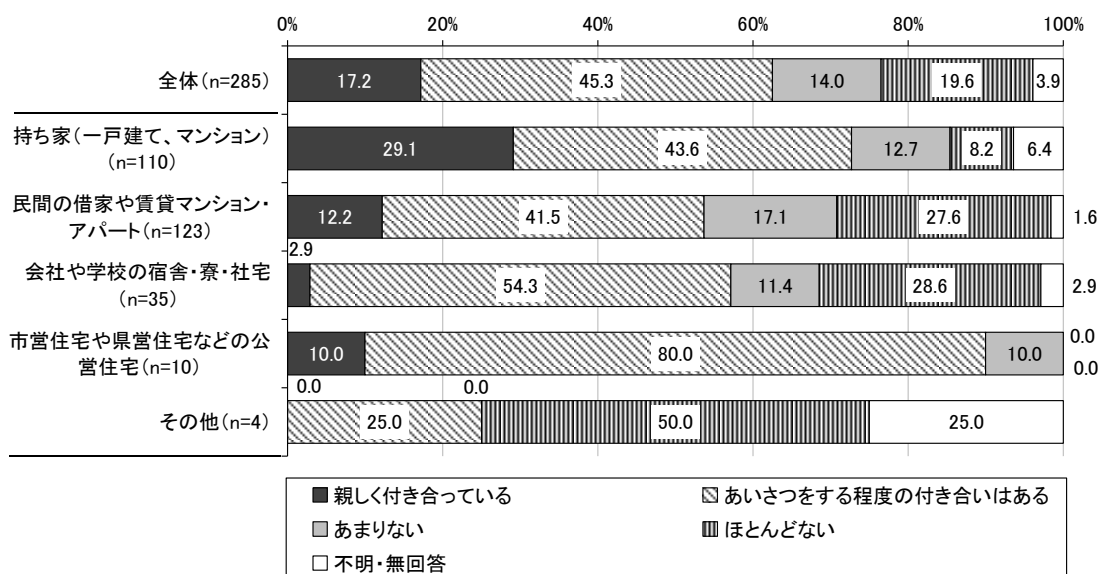
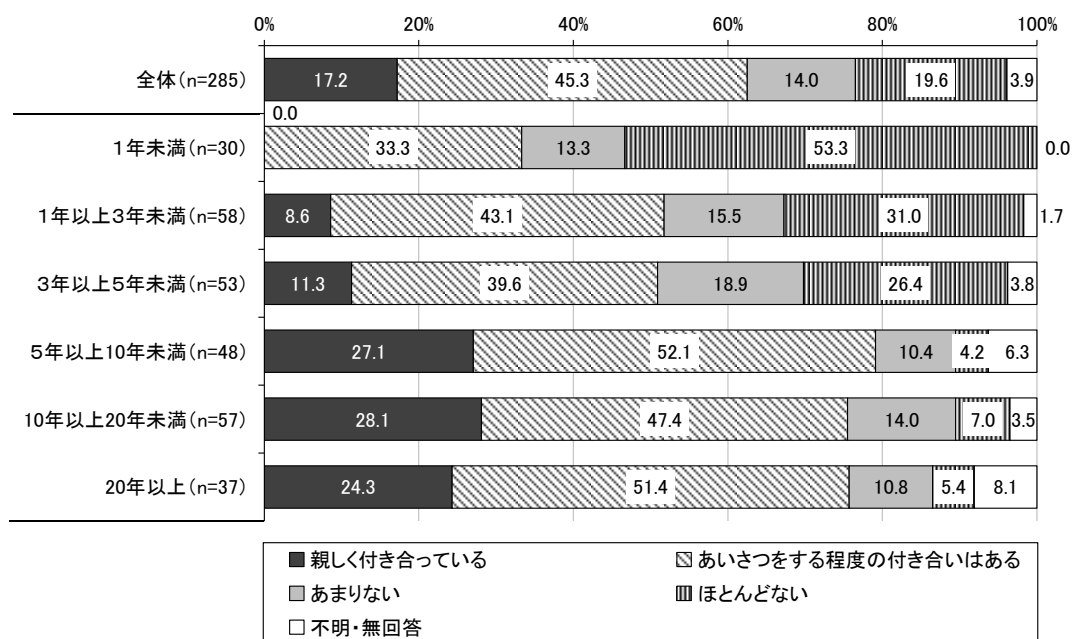
国籍別にみると【付き合いがある計】はブラジル（82.8%）が最も高く、次いで韓国（72.8%）、ベトナム（61.4%）となっています。一方、【付き合いがない計】は中国（44.6%）、その他（42.5%）、フィリピン（38.6%）となっています。

年代別で【付き合いがある計】をみると、40歳代（75.5%）が最も高く、次いで50歳代（72.2%）、60歳代（64.7%）となっています。一方、【付き合いがない計】は30歳代が45.4%、20歳代が43.8%で、ともに4割台半ばと他の年代に比べて高くなっています。



近隣の日本人住民との付き合いの有無について、市内滞在年数別にみると【付き合いがある計】は『5年以上10年未満の層』（79.2%）が最も高く、次いで『20年以上の層』（75.7%）、『10年以上20年未満の層』（75.5%）となっています。一方、【付き合いがない計】は『1年未満の層』（66.6%）、『1年以上3年未満の層』（46.5%）、『3年以上5年未満の層』（45.3%）となっており、居住年数が増えるにつれて、付き合いも深くなっています。

家の種類でみると、【付き合いがある計】は市営住宅や県営住宅などの公営住宅（90.0%）が最も高く、次いで持ち家（一戸建て、マンション）が72.7%となっています。【付き合いがない計】では、民間の借家、賃貸マンション・アパートが44.7%と最も高く、次いで会社や学校の宿舎・寮・社宅が40.0%となっています。



【問40で近隣の日本人住民との付き合いが、「3 あまりない」「4 ほとんどない」と回答された人】

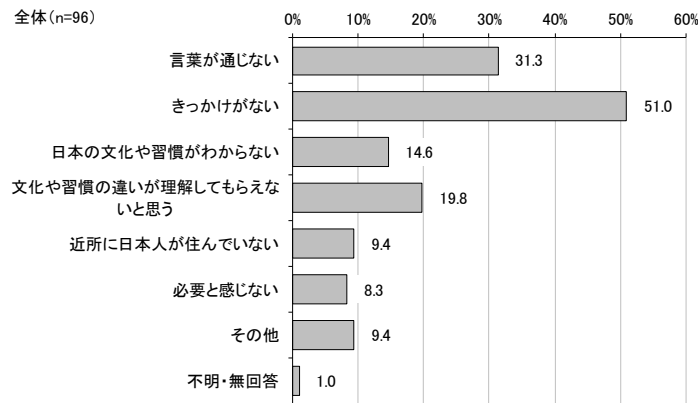
(41) 日本人住民との付き合いがない理由（複数回答）

問 41 日本人住民との付き合いがない理由は何ですか。（○はいくつでも）

日本人住民との付き合いがない理由についてみると、「きっかけがない」が51.0%で最も高く、次いで「言葉が通じない」が31.3%、「文化や習慣の違いが理解してもらえないと思う」が19.8%となっています。

国籍別にみるとブラジル・その他は「言葉が通じない」が最も高く、フィリピン・中国・ベトナムは「きっかけがない」が最も高くなっています。

年代別では、20～40歳代は「きっかけがない」が最も高くなっています。また、20歳代では「文化や習慣の違いが理解してもらえないと思う」が2割台後半、30～40歳代は「言葉が通じない」も3割台と高くなっています。



単位: %		言葉が通じない	きっかけがない	日本の文化や習慣がわからない	文化や習慣の違いが理解してもらえないと思う	近所に日本人が住んでいない	必要と感ぜない	その他	不明・無回答
全体 (n=96)		31.3	51.0	14.6	19.8	9.4	8.3	9.4	1.0
国籍別	ブラジル (n=11)	45.5	36.4	27.3	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0
	フィリピン (n=17)	35.3	58.8	0.0	11.8	0.0	5.9	0.0	5.9
	中国 (n=21)	23.8	61.9	9.5	28.6	14.3	14.3	9.5	0.0
	ベトナム (n=20)	25.0	60.0	25.0	15.0	15.0	5.0	10.0	0.0
	韓国 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	ペルー (n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=1)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=20)	45.0	40.0	15.0	25.0	10.0	0.0	20.0	0.0
年代別	10歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=32)	25.0	56.3	18.8	28.1	9.4	12.5	12.5	0.0
	30歳代 (n=40)	37.5	47.5	15.0	15.0	10.0	2.5	10.0	2.5
	40歳代 (n=13)	30.8	46.2	0.0	15.4	7.7	15.4	7.7	0.0
	50歳代 (n=7)	28.6	71.4	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	60歳代 (n=3)	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	70歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

日本人住民との付き合いがない理由について、市内滞在年数別にみると、どの市内滞在年数別においても「きっかけがない」が最も高く、『3年以上5年未満の層』では「言葉が通じない」も高くなっています。

単位:%		言葉が通じない	きっかけがない	日本の文化や習慣がわからない	文化や習慣の違いが理解してもらえないと思う	近所に日本人が住んでいない	必要と感ぜない	その他	不明・無回答
全体 (n=96)		31.3	51.0	14.6	19.8	9.4	8.3	9.4	1.0
市内滞在年数	1年未満 (n=20)	20.0	50.0	20.0	20.0	5.0	20.0	10.0	0.0
	1年以上3年未満 (n=27)	37.0	55.6	14.8	11.1	22.2	0.0	7.4	3.7
	3年以上5年未満 (n=24)	41.7	41.7	16.7	29.2	4.2	12.5	12.5	0.0
	5年以上10年未満 (n=7)	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0
	10年以上20年未満 (n=12)	16.7	66.7	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20年以上 (n=6)	33.3	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

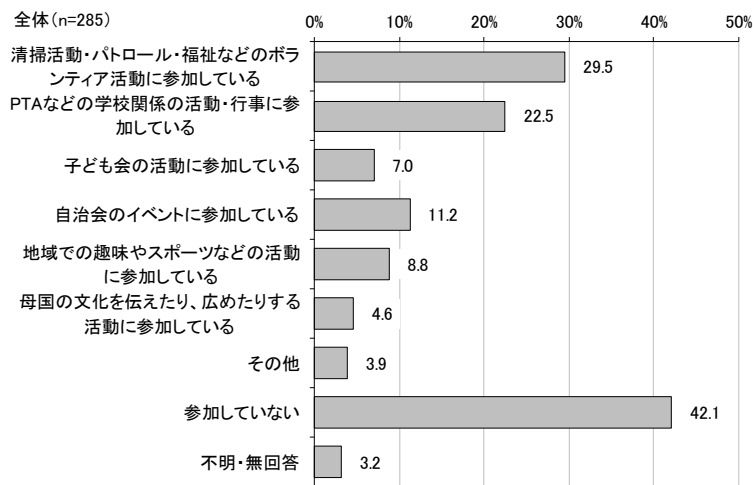
(42) 日本人と共に行う地域活動への参加の有無（複数回答）

問 42 日本人と一緒に地域の活動に参加していますか。（〇はいくつでも）

日本人と共に行う地域活動への参加の有無についてみると、「参加していない」が42.1%で最も高く、次いで「清掃活動・パトロール・福祉などのボランティア活動に参加している」が29.5%、「PTAなどの学校関係の活動・行事に参加している」が22.5%となっています。

国籍別にみるとブラジル・フィリピンは「清掃活動・パトロール・福祉などのボランティア活動に参加している」が最も高く、中国・ベトナム・韓国・その他は「参加していない」が最も高くなっています。

年代別では、20～30歳代は「参加していない」が最も高く、40～60歳代は「清掃活動・パトロール・福祉などのボランティア活動に参加している」が最も高くなっており、年代が上がるにつれ、地域活動に参加している傾向が伺えます。



単位: %		加 な の 活 動 に 参 加 し て い る	清 掃 活 動 ・ パ ト ロ ー ル 活 動 ・ 福 祉	P T A な ど の 学 校 関 係 の 活 動	子 ど も 会 の 活 動 に 参 加 し て い る	自 治 会 の イ ベ ン ト に 参 加 し て い る	地 域 で の 趣 味 や ス ポ ー ツ な ど の 活 動 に 参 加 し て い る	母 国 の 文 化 を 伝 え た り 、 広 め た り す る 活 動 に 参 加 し て い る	そ の 他	参 加 し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=285)		29.5	22.5	7.0	11.2	8.8	4.6	3.9	42.1	3.2	
国籍別	ブラジル (n=64)	40.6	29.7	6.3	12.5	4.7	6.3	0.0	37.5	0.0	
	フィリピン (n=44)	47.7	25.0	15.9	9.1	4.5	4.5	0.0	27.3	2.3	
	中国 (n=47)	25.5	19.1	10.6	17.0	8.5	2.1	6.4	38.2	6.4	
	ベトナム (n=57)	21.1	15.8	1.8	5.3	10.5	3.5	7.0	49.1	3.5	
	韓国 (n=11)	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	54.5	18.2	
	ペルー (n=8)	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	
	インドネシア (n=5)	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	
	その他 (n=47)	21.3	27.7	4.3	14.9	21.3	8.5	6.4	46.8	0.0	
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
	20歳代 (n=73)	24.7	12.3	0.0	1.4	6.8	5.5	6.8	47.9	2.7	
	30歳代 (n=88)	22.7	28.4	8.0	13.6	15.9	4.5	3.4	44.3	1.1	
	40歳代 (n=57)	35.1	31.6	15.8	19.3	8.8	7.0	1.8	33.3	0.0	
	50歳代 (n=36)	41.7	25.0	11.1	8.3	0.0	2.8	2.8	33.3	8.3	
	60歳代 (n=17)	47.1	11.8	0.0	23.5	5.9	0.0	5.9	35.3	11.8	
	70歳代 (n=9)	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	55.6	11.1	
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

日本人と共に行う地域活動への参加の有無について、市内滞在年数別にみると、『1年未満の層』～『5年以上10年未満の層』では、「参加していない」が最も高く、なかでも、『1年以上3年未満の層』では5割を超えています。一方、『10年以上20年未満の層』と『20年以上の層』では「清掃活動・パトロール・福祉などのボランティア活動に参加している」が最も高くなっています。

単位：%		加 し て い る	清 掃 活 動 ・ パ ト ロ ー ル ・ テ ィ ア 活 動 ・ 福 祉 に 参 社	動 ・ 行 事 に 参 加 し て い る	P T A な ど の 学 校 関 係 の 活 動	子 ど も 会 の 活 動 に 参 加 し て い る	自 治 会 の イ ベ ン ト に 参 加 し て い る	地 域 で の 趣 味 や ス ポ ー ツ な ど の 活 動 に 参 加 し て い る	母 国 の 文 化 を 伝 え た り 、 広 め る 活 動 に 参 加 し て い る	そ の 他	参 加 し て い な い	不 明 ・ 無 回 答
全体(n=285)		29.5	22.5	7.0	11.2	8.8	4.6	3.9	42.1	3.2		
市 内 滞 在 年 数	1年未満(n=30)	20.0	33.3	0.0	0.0	10.0	3.3	3.3	43.3	0.0		
	1年以上3年未満(n=58)	22.4	13.8	0.0	1.7	10.3	1.7	3.4	56.9	1.7		
	3年以上5年未満(n=53)	20.8	15.1	3.8	5.7	13.2	7.5	5.7	47.2	3.8		
	5年以上10年未満(n=48)	31.3	22.9	6.3	16.7	8.3	10.4	6.3	39.6	4.2		
	10年以上20年未満(n=57)	38.6	33.3	19.3	19.3	7.0	1.8	0.0	31.6	3.5		
	20年以上(n=37)	45.9	21.6	10.8	24.3	2.7	2.7	5.4	27.0	5.4		

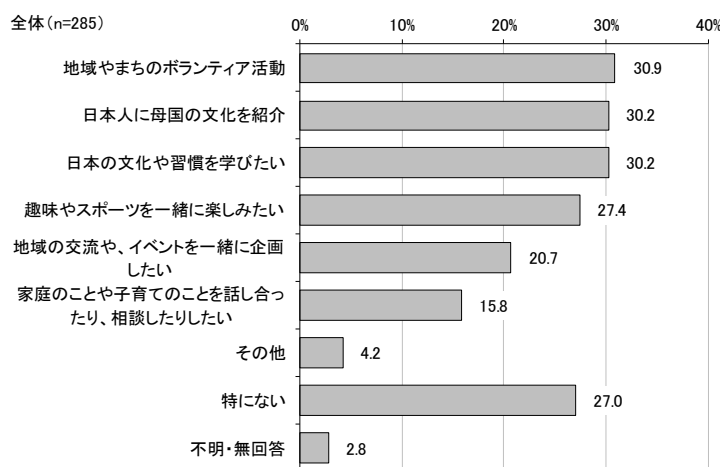
(43) 今後、希望する地域の日本人との交流（複数回答）

問 43 今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。（〇はいくつでも）

今後、希望する地域の日本人との交流についてみると、「地域やまちのボランティア活動」が30.9%で最も高く、次いで「日本人に母国の文化を紹介」「日本の文化や習慣を学びたい」がともに30.2%となっています。

国籍別にみるとブラジル・韓国は「特にない」が最も高く、フィリピンは「地域やまちのボランティア活動」、中国・その他は「趣味やスポーツを一緒に楽しみたい」、ベトナムは「日本人に母国の文化を紹介」が最も高くなっています。

年代別では、20歳代・40歳代は「日本の文化や習慣を学びたい」が最も高くなっています。30歳代は「趣味やスポーツを一緒に楽しみたい」、50～60歳代は「特にない」が最も高くなっています。



単位: %		地域やまちのボランティア活動	日本人に母国の文化を紹介	日本の文化や習慣を学びたい	趣味やスポーツを一緒に楽しみたい	地域の交流や、イベントを一緒に企画したい	話したり、相談したり、家庭のことや子育てのことを話したり、相談したりしたい	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		30.9	30.2	30.2	27.4	20.7	15.8	4.2	27.0	2.8
国籍別	ブラジル (n=64)	28.1	28.1	28.1	25.0	23.4	14.1	4.7	32.8	0.0
	フィリピン (n=44)	38.6	22.7	25.0	13.6	6.8	22.7	0.0	27.3	4.5
	中国 (n=47)	21.3	27.7	29.8	36.2	34.0	19.1	6.4	25.5	2.1
	ベトナム (n=57)	43.9	50.9	49.1	38.6	21.1	21.1	7.0	3.5	5.3
	韓国 (n=11)	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	63.6	9.1
	ペルー (n=8)	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
	インドネシア (n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	その他 (n=47)	29.8	27.7	27.7	36.2	25.5	10.6	4.3	34.0	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	42.5	43.8	46.6	24.7	24.7	16.4	4.1	16.4	2.7
	30歳代 (n=88)	31.8	36.4	23.9	42.0	25.0	19.3	5.7	21.6	1.1
	40歳代 (n=57)	22.8	26.3	29.8	26.3	15.8	19.3	7.0	24.6	1.8
	50歳代 (n=36)	30.6	11.1	22.2	16.7	19.4	13.9	0.0	44.4	5.6
	60歳代 (n=17)	5.9	5.9	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0	58.8	11.8
	70歳代 (n=9)	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	55.6	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

今後、希望する地域の日本人との交流について、市内滞在年数別にみると、『1年未満の層』と『1年以上3年未満の層』では、「日本人に母国の文化を紹介」が最も高く、『1年以上3年未満の層』では「日本の文化や習慣を学びたい」も高くなっています。

『3年以上5年未満の層』と『5年以上10年未満の層』では「地域やまちのボランティア活動」が最も高く、『3年以上5年未満の層』では「日本の文化や習慣を学びたい」も高くなっています。

『10年以上20年未満の層』と『20年以上の層』では「特にない」が最も高くなっています。

単位：%		動 地域 や まち の ボ ラ ン テ ィ ア 活	日 本 人 に 母 国 の 文 化 を 紹 介	日 本 の 文 化 や 習 慣 を 学 び た い	み 趣 味 や ス ポ ー ツ を 一 緒 に 楽 し ま い	地 域 の 交 流 や 、 イ ベ ン ト を 一 緒 に 企 画 し た い	話 し 合 っ た り 、 子 育 て の こ と を 相 談 し た り し た い	家 庭 の こ と や 子 育 て の こ と を 一 緒 に 行 っ た り し た い	そ の 他	特 に な い	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=285)		30.9	30.2	30.2	27.4	20.7	15.8	4.2	27.0	2.8	
市 内 滞 在 年 数	1年未満 (n=30)	33.3	46.7	23.3	43.3	23.3	26.7	3.3	30.0	0.0	
	1年以上3年未満 (n=58)	37.9	44.8	44.8	34.5	31.0	5.2	5.2	12.1	3.4	
	3年以上5年未満 (n=53)	35.8	32.1	35.8	28.3	18.9	20.8	7.5	18.9	1.9	
	5年以上10年未満 (n=48)	31.3	25.0	25.0	22.9	18.8	22.9	4.2	25.0	2.1	
	10年以上20年未満 (n=57)	22.8	21.1	26.3	29.8	19.3	14.0	3.5	35.1	5.3	
	20年以上 (n=37)	24.3	13.5	16.2	5.4	10.8	8.1	0.0	51.4	2.7	

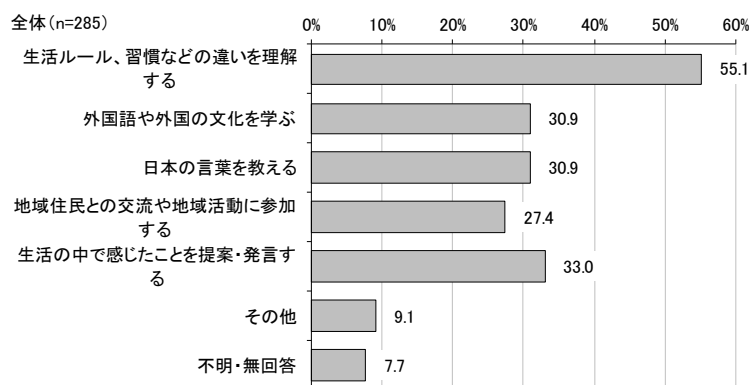
(44) 日本人市民と共に暮らすために、日本人市民に期待すること（複数回答）

問 44 日本人市民と共に暮らすために、日本人市民にどのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

日本人市民と共に暮らすために、日本人市民に期待することについてみると、「生活ルール、習慣などの違いを理解する」が55.1%で最も高く、次いで「生活の中で感じたことを提案・発言する」が33.0%、「外国語や外国の文化を学ぶ」「日本の言葉を教える」がともに30.9%となっています。

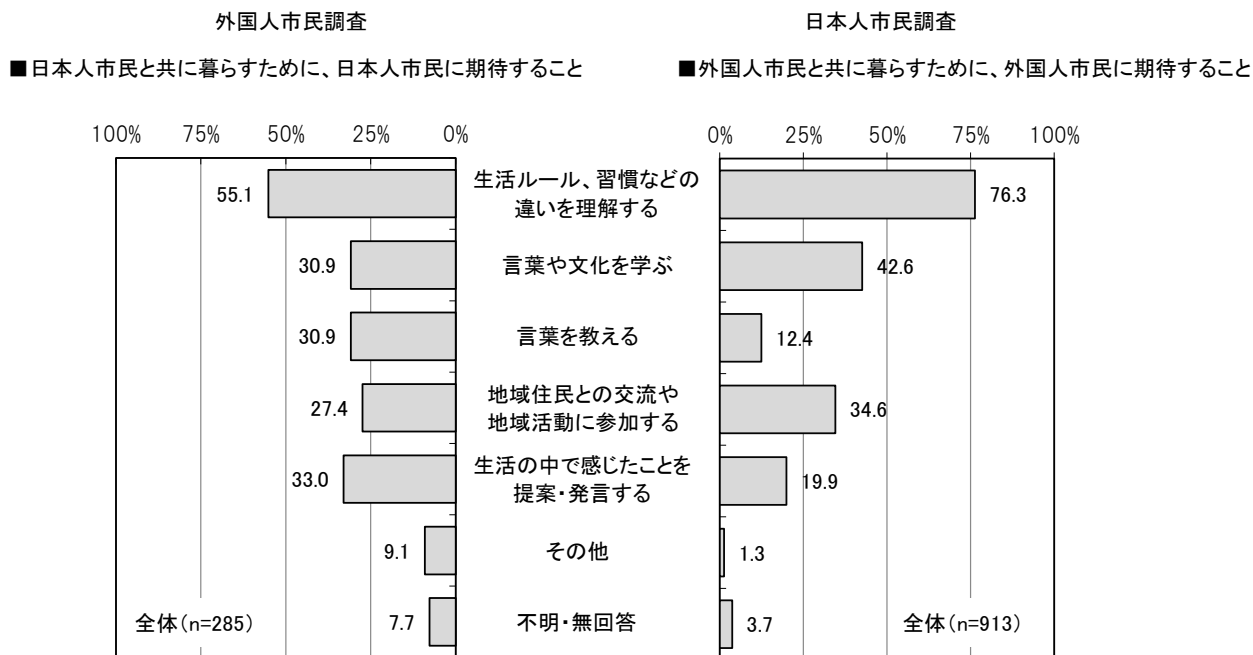
国籍別にみると、どの国籍においても「生活ルール、習慣などの違いを理解する」が最も高く、ベトナムでは「日本の言葉を教える」も5割台半ばと高くなっています。

年代別では、20～60歳代では「生活ルール、習慣などの違いを理解する」が最も高く、20歳代は「外国語や外国の文化を学ぶ」「日本の言葉を教える」もともに4割台と高くなっています。



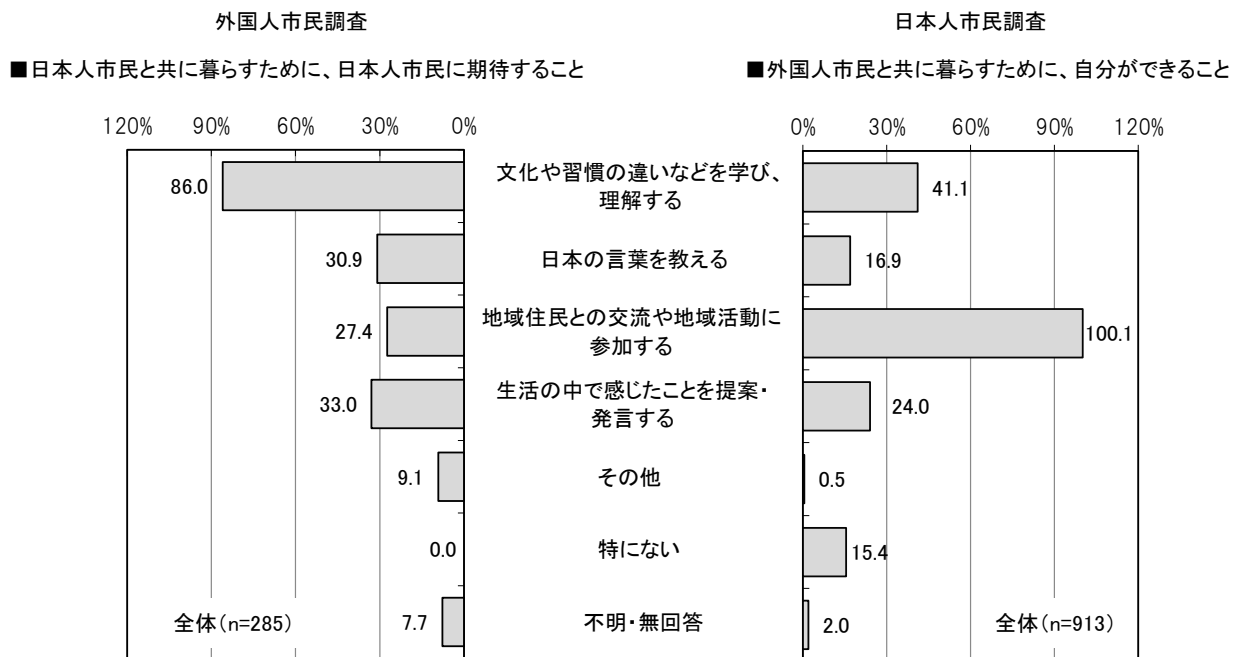
単位: %		を生活ルール、習慣などの違い	外国語や外国の文化を学ぶ	日本の言葉を教える	地域住民との交流や地域活動に参加する	生活の中で感じたことを提案・発言する	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		55.1	30.9	30.9	27.4	33.0	9.1	7.7
国籍別	ブラジル (n=64)	60.9	23.4	31.3	29.7	34.4	10.9	4.7
	フィリピン (n=44)	65.9	38.6	34.1	22.7	31.8	11.4	9.1
	中国 (n=47)	51.1	31.9	21.3	29.8	34.0	4.3	6.4
	ベトナム (n=57)	56.1	40.4	54.4	29.8	29.8	7.0	7.0
	韓国 (n=11)	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	18.2	27.3
	ペルー (n=8)	50.0	25.0	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5
	インドネシア (n=5)	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	48.9	25.5	21.3	34.0	42.6	10.6	6.4
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	52.1	42.5	41.1	20.5	32.9	12.3	6.8
	30歳代 (n=88)	55.7	38.6	34.1	33.0	37.5	4.5	2.3
	40歳代 (n=57)	61.4	22.8	28.1	38.6	28.1	8.8	5.3
	50歳代 (n=36)	61.1	16.7	19.4	27.8	38.9	11.1	13.9
	60歳代 (n=17)	47.1	11.8	17.6	0.0	23.5	11.8	23.5
	70歳代 (n=9)	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	22.2	33.3
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

外国人市民調査問44『日本人市民と共に暮らすために、日本人市民に期待すること（複数回答）』に対して、日本人市民調査問20『外国人市民と共に暮らすために、外国人市民に期待すること（複数回答）』におけるスコアの差をみると、「生活ルール、習慣などの違いを理解する」のギャップが21.2ポイントで日本人市民のスコアが高く、次いで「言葉を教える」のギャップが18.5ポイント、「生活の中で感じたことを提案・発言する」のギャップが13.1ポイントでともに外国人市民のスコアが高くなっています。



外国人市民調査問44『日本人市民と共に暮らすために、日本人市民に期待すること（複数回答）』に対して、日本人市民調査問21『外国人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）』におけるスコアの差をみると、「地域住民との交流や地域活動に参加する」のギャップが72.7ポイントで日本人市民のスコアが高くなっています。

また、「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」ではギャップが44.9ポイントで外国人市民のスコアが高く、「特にない」ではギャップが15.4ポイントで日本人市民のスコアが高くなっています。



※「文化や習慣の違いなどを学び理解する」における外国人市民調査のスコアは、外国人市民調査問44の「生活ルール、習慣などの違いを理解する(55.1%)」と「外国語や外国の文化を学ぶ(30.9%)」を合わせたスコアとなっています。

※「日本語の言葉を教える」における日本人市民調査のスコアは日本人市民調査問21の「日本の文化・言葉・料理を教える(11.3%)」と「日本語支援等のボランティアに参加する(5.6%)」を合わせたスコアとなっています。

※「地域住民との交流や地域活動に参加する」における日本人市民調査のスコアは日本人市民調査問21の「あいさつをするなど気軽に交流をする(68.1%)」と「外国人と交流できるイベントに参加する(13.4%)」と「外国人と一緒に地域の活動に参加する(18.6%)」を合わせたスコアとなっています。

※「生活の中で感じたことを提案・発言する」における日本人市民調査のスコアは日本人市民調査問21の「生活習慣やルールを話し合う(24.0%)」のスコアとなっています。

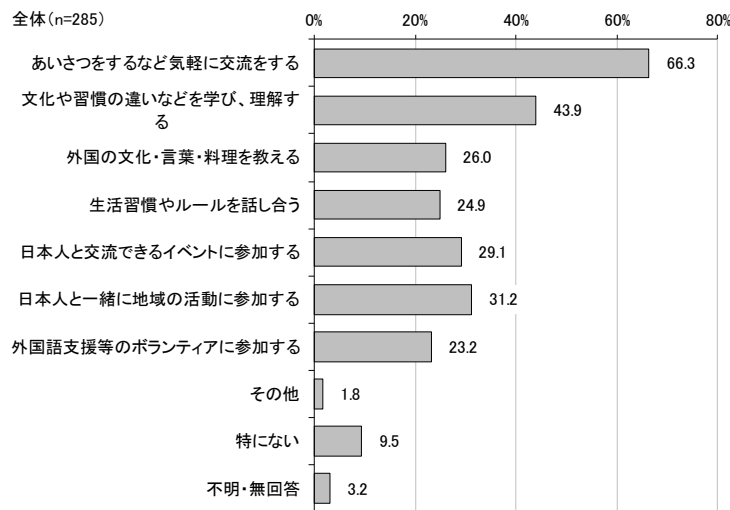
(45) 日本人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）

問 45 日本人市民と共に暮らすために、自分ができることは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

日本人市民と共に暮らすために、自分ができることについてみると、「あいさつをするなど気軽に交流をする」が66.3%で最も高く、次いで「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」が43.9%、「日本人と一緒に地域の活動に参加する」が31.2%となっています。

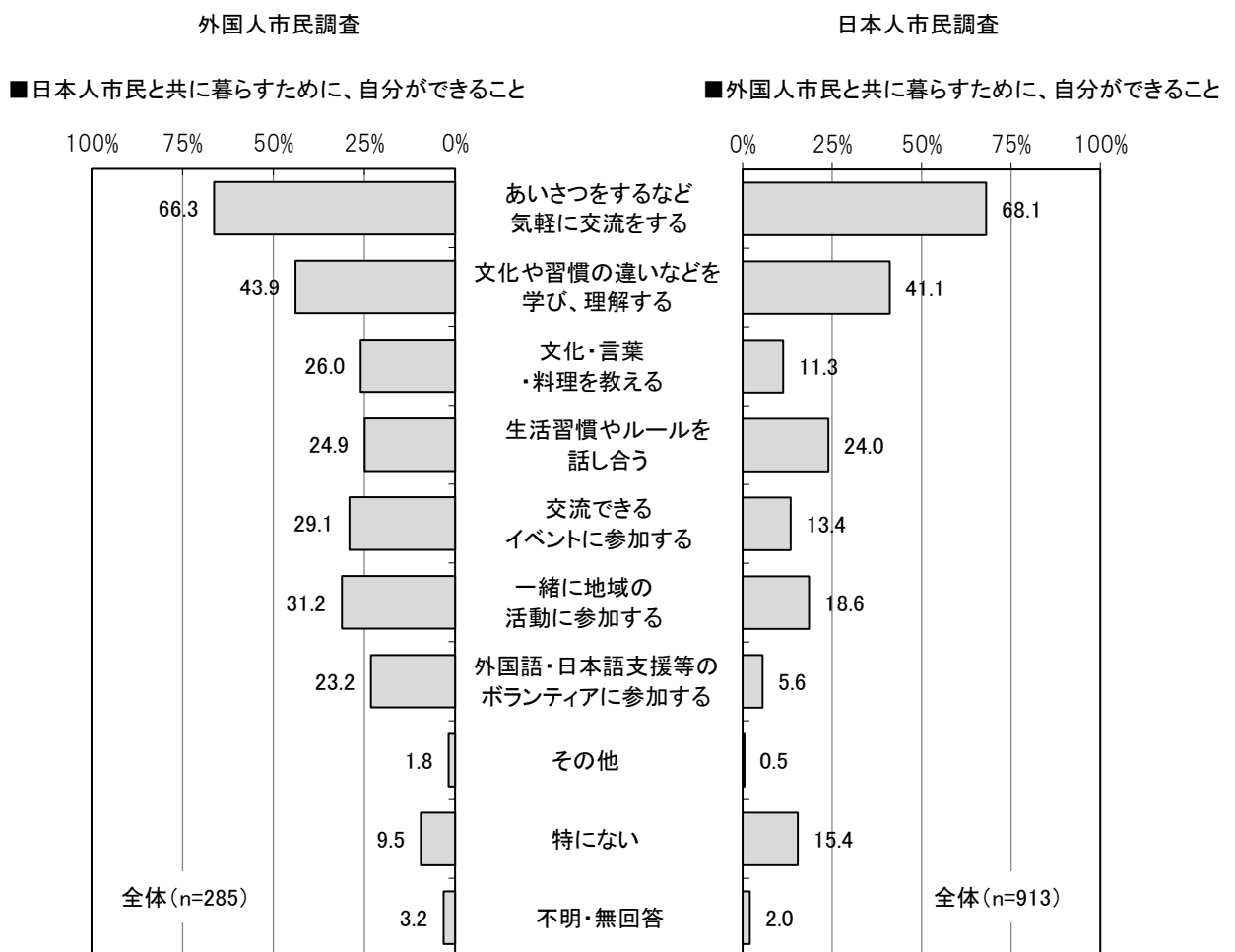
国籍別にみると、どの国籍においても「あいさつをするなど気軽に交流をする」が最も高く、ブラジルでは「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」も6割台と高くなっています。

年代別では、20～60歳代では「あいさつをするなど気軽に交流をする」が最も高く、40歳代は「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」も5割超と高くなっています。



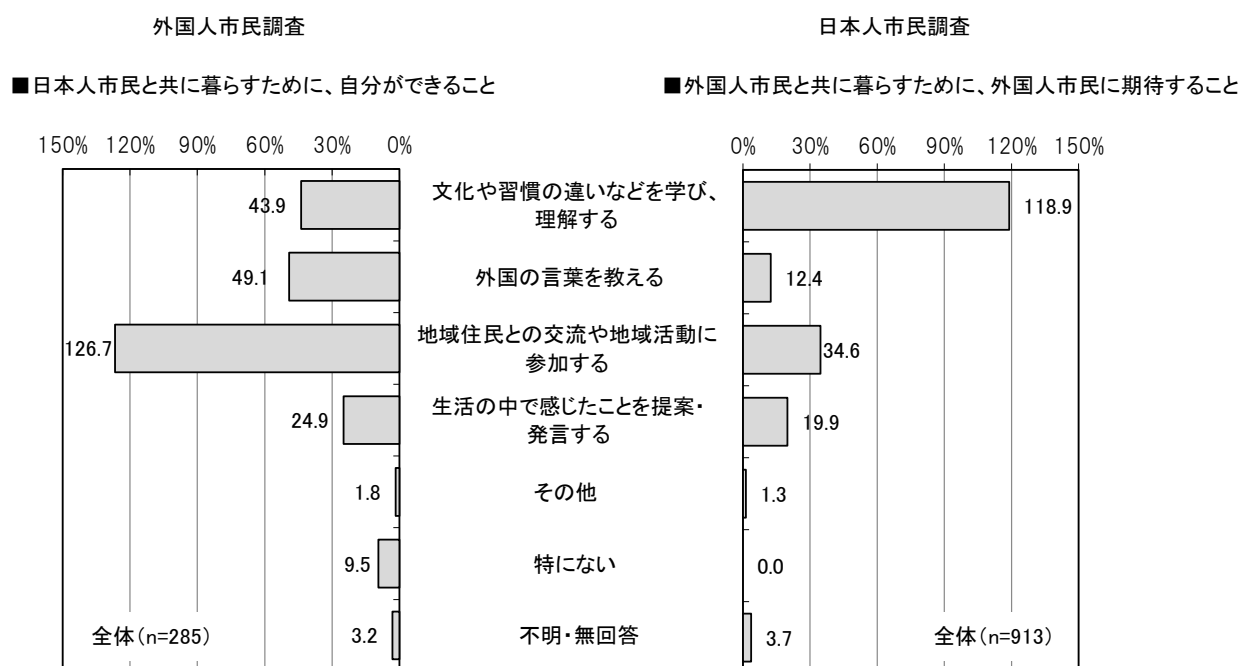
単位：%		あいさつをするなど気軽に交流をする	文化や習慣の違いなどを学び、理解する	外国の文化・言葉・料理を教える	生活習慣やルールを話し合う	日本人と交流できるイベントに参加する	日本人と一緒に地域の活動に参加する	外国語支援等のボランティアに参加する	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=285)		66.3	43.9	26.0	24.9	29.1	31.2	23.2	1.8	9.5	3.2
国籍別	ブラジル (n=64)	73.4	62.5	26.6	26.6	39.1	35.9	20.3	1.6	6.3	0.0
	フィリピン (n=44)	65.9	50.0	18.2	27.3	13.6	22.7	22.7	0.0	4.5	4.5
	中国 (n=47)	68.1	36.2	25.5	36.2	38.3	29.8	29.8	4.3	8.5	2.1
	ベトナム (n=57)	75.4	36.8	35.1	21.1	28.1	35.1	31.6	1.8	3.5	5.3
	韓国 (n=11)	36.4	18.2	9.1	9.1	18.2	27.3	0.0	0.0	36.4	18.2
	ペルー (n=8)	37.5	37.5	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
	インドネシア (n=5)	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	59.6	38.3	31.9	23.4	29.8	36.2	23.4	2.1	17.0	0.0
年代別	10歳代 (n=2)	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	71.2	41.1	31.5	20.5	23.3	30.1	34.2	1.4	6.8	2.7
	30歳代 (n=88)	68.2	47.7	34.1	29.5	38.6	31.8	19.3	1.1	5.7	2.3
	40歳代 (n=57)	71.9	50.9	22.8	33.3	24.6	38.6	26.3	5.3	5.3	0.0
	50歳代 (n=36)	61.1	33.3	13.9	19.4	33.3	30.6	19.4	0.0	16.7	5.6
	60歳代 (n=17)	52.9	35.3	5.9	5.9	11.8	11.8	5.9	0.0	23.5	11.8
	70歳代 (n=9)	44.4	22.2	11.1	22.2	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	11.1
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

外国人市民調査問45『日本人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）』に対して、日本人市民調査問21『外国人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）』におけるスコアの差をみると、「外国語・日本語支援等のボランティアに参加する」のギャップが17.6ポイントで最も高く、次いで「交流できるイベントに参加する」のギャップが15.7ポイント、「文化・言葉・料理を教える」のギャップが14.7ポイントでそれぞれ外国人市民のスコアが高くなっています。



外国人市民調査問45『日本人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）』に対して、日本人市民調査問20『外国人市民と共に暮らすために、外国人市民に期待すること（複数回答）』におけるスコアの差をみると、「地域住民との交流や地域活動に参加する」のギャップが92.1ポイントで外国人市民のスコアが高くなっています。

また、「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」ではギャップが75.1ポイントで日本人市民のスコアが高く、「外国の言葉を教える」ではギャップが36.7ポイントで外国人市民のスコアが高くなっています。



※「文化や習慣の違いなどを学び理解する」における日本人市民調査のスコアは、日本人市民調査問20の「日本の法律、生活ルール、習慣を守る(76.3%)」と「日本語や日本の文化を学ぶ(42.6%)」を合わせたスコアとなっています。

※「外国の言葉を教える」における外国人市民調査のスコアは外国人市民調査問45の「外国の文化・言葉・料理を教える(26.0%)」と「外国語支援等のボランティアに参加する(23.2%)」を合わせたスコアとなっています。

※「地域住民との交流や地域活動に参加する」における外国人市民調査のスコアは外国人市民調査問45の「あいさつをするなど気軽に交流をする(66.3%)」と「日本人と交流できるイベントに参加する(29.1%)」と「日本人と一緒に地域の活動に参加する(31.2%)」を合わせたスコアとなっています。

※「生活の中で感じたことを提案・発言する」における外国人市民調査のスコアは外国人市民調査問45の「生活習慣やルールを話し合う(24.9%)」のスコアとなっています。

9. 今後の定住意向について

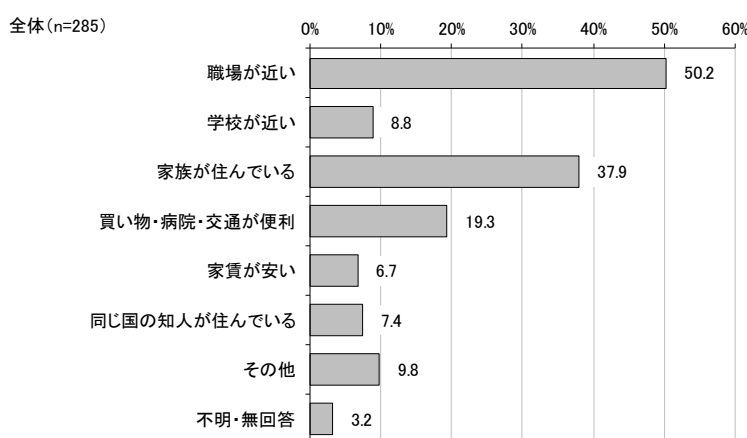
(46) 各務原市に住む理由（複数回答）

問 46 各務原市に住む理由は何ですか。（○はいくつでも）

各務原市に住む理由についてみると、「職場が近い」が50.2%で最も高く、次いで「家族が住んでいる」が37.9%、「買い物・病院・交通が便利」が19.3%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・ベトナムは「職場が近い」が最も高く、フィリピン・中国・その他は「家族が住んでいる」、韓国は「その他」が最も高くなっています。

年代別では、20～30歳代・50～60歳代では「職場が近い」が最も高く、50～60歳代は「家族が住んでいる」も高くなっています。40歳代は「家族が住んでいる」が最も高くなっています。



単位：%		職場が近い	学校が近い	家族が住んでいる	買い物・病院・交通が便利	家賃が安い	同じ国の知人が住んでいる	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		50.2	8.8	37.9	19.3	6.7	7.4	9.8	3.2
国籍別	ブラジル (n=64)	46.9	18.8	32.8	25.0	6.3	17.2	9.4	1.6
	フィリピン (n=44)	43.2	13.6	65.9	20.5	9.1	15.9	9.1	0.0
	中国 (n=47)	36.2	2.1	51.1	21.3	4.3	2.1	8.5	2.1
	ベトナム (n=57)	89.5	5.3	10.5	19.3	1.8	1.8	0.0	5.3
	韓国 (n=11)	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	36.4	27.3
	ペルー (n=8)	62.5	12.5	37.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0
	インドネシア (n=5)	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	34.0	4.3	44.7	10.6	10.6	2.1	19.1	2.1
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	69.9	5.5	16.4	16.4	4.1	4.1	6.8	5.5
	30歳代 (n=88)	59.1	8.0	39.8	19.3	9.1	3.4	5.7	1.1
	40歳代 (n=57)	28.1	12.3	61.4	19.3	7.0	12.3	5.3	1.8
	50歳代 (n=36)	44.4	16.7	44.4	25.0	8.3	11.1	16.7	0.0
	60歳代 (n=17)	35.3	0.0	35.3	17.6	0.0	11.8	29.4	5.9
	70歳代 (n=9)	11.1	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	22.2	22.2
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

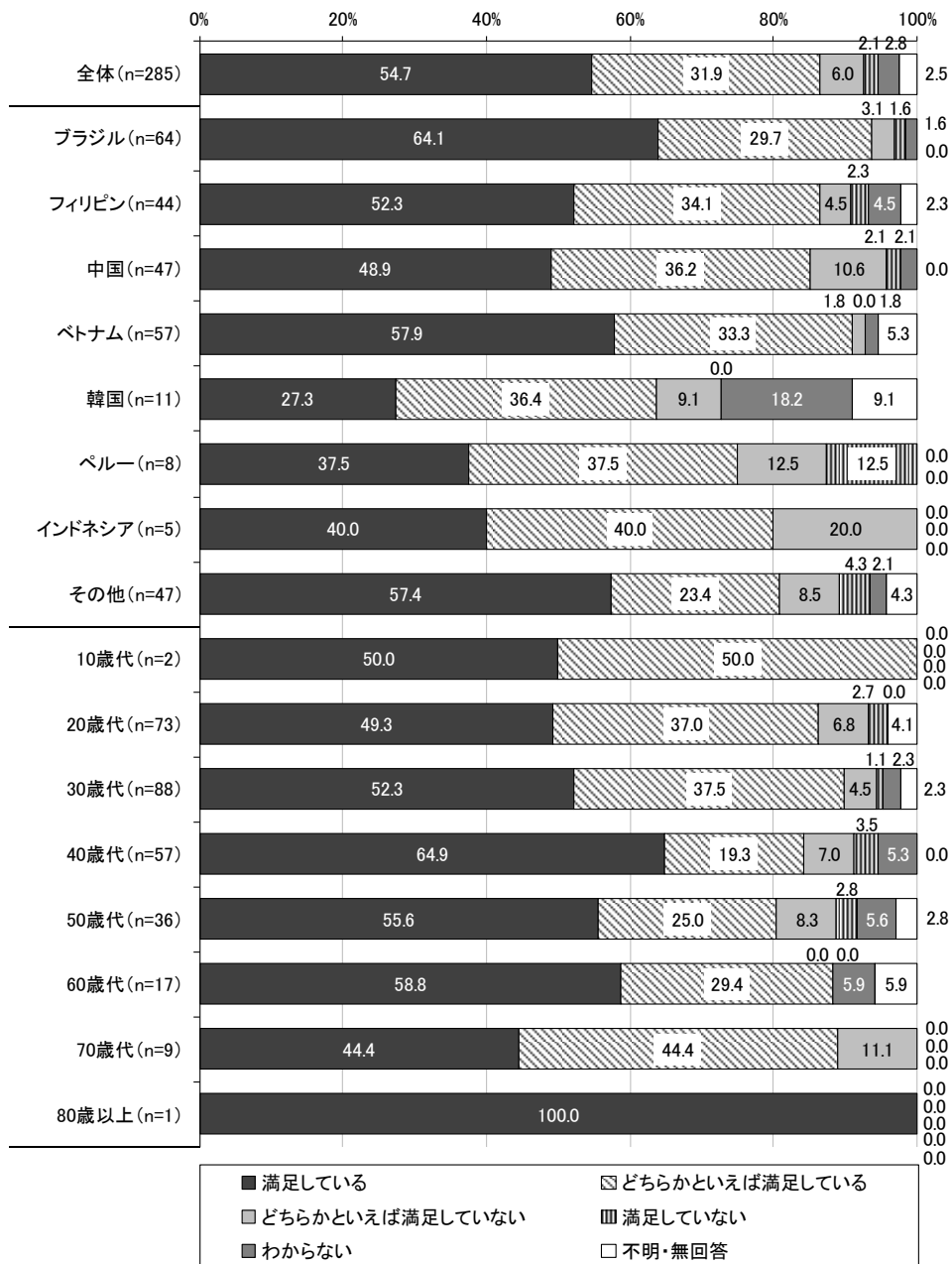
(47) 各務原市での生活における満足度（単数回答）

問 47 各務原市での生活に満足していますか。（1つに○）

各務原市での生活における満足度についてみると、「満足している」が54.7%、「どちらかといえば満足している」が31.9%、「どちらかといえば満足していない」が6.0%、「わからない」が2.8%、「満足していない」が2.1%となっています。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた【満足計】は86.6%と8割を超えています。

国籍別にみると【満足計】はブラジル（93.8%）が最も高く、次いでベトナム（91.2%）、フィリピン（86.4%）となっています。

年代別で【満足計】をみると、30歳代（89.8%）が最も高く、次いで60歳代（88.2%）、20歳代（86.3%）となっています。



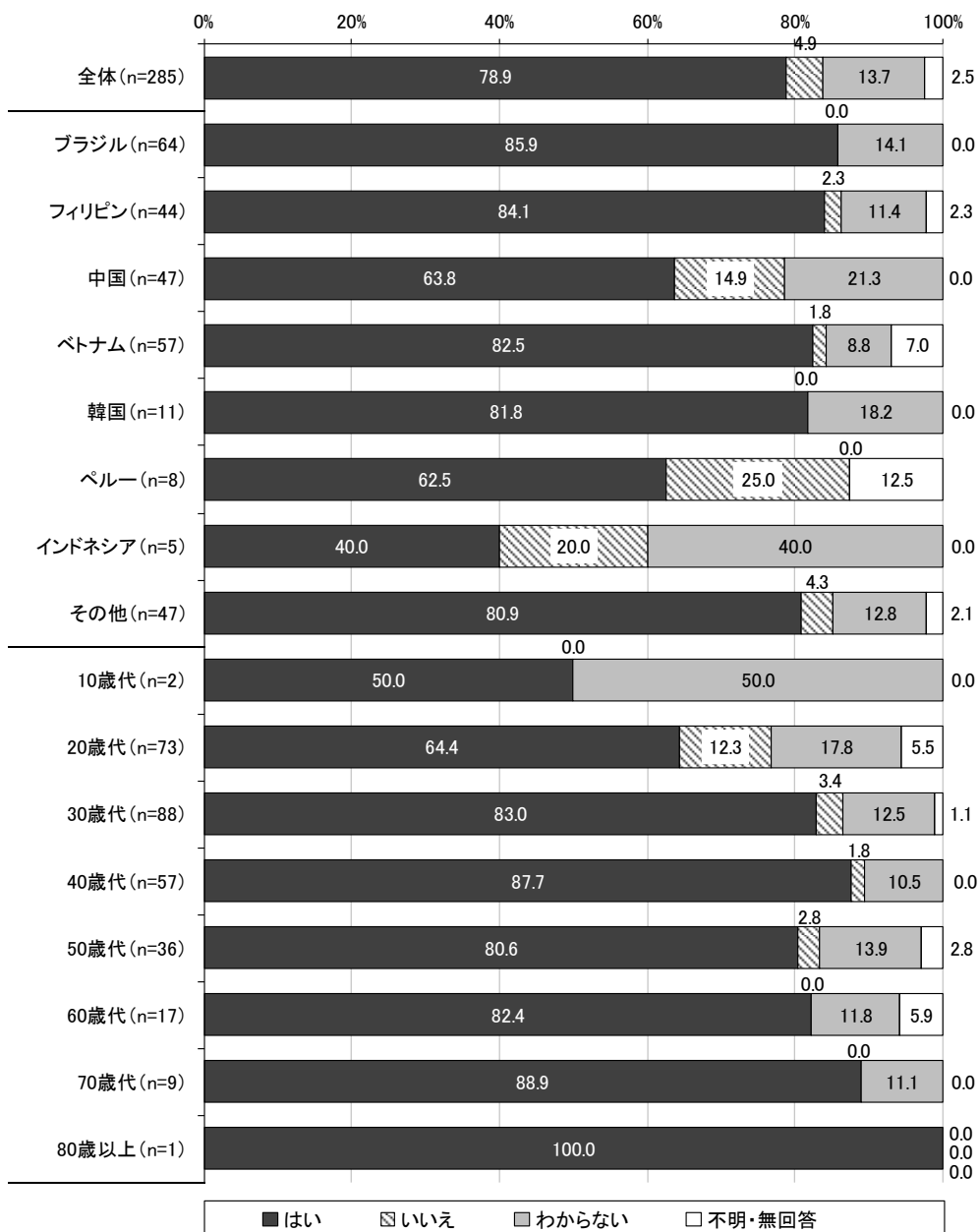
(48) 各務原市における定住意向（単数回答）

問 48 これからも各務原市に住み続けたいですか。（1つに○）

各務原市における定住意向についてみると、「はい」が78.9%、「いいえ」が4.9%、わからない」が13.7%となっています。

国籍別にみると「はい」はブラジル（85.9%）が最も高く、次いでフィリピン（84.1%）、ベトナム（82.5%）となっています。最も低い国籍は中国で63.8%となっています。

年代別にみると、40歳代（87.7%）が最も高く、次いで30歳代（83.0%）、60歳代（82.4%）となっています。最も低い年代は20歳代で64.4%となっています。



【問48で各務原市に住み続けたいかについて、「1 はい」と回答された人】

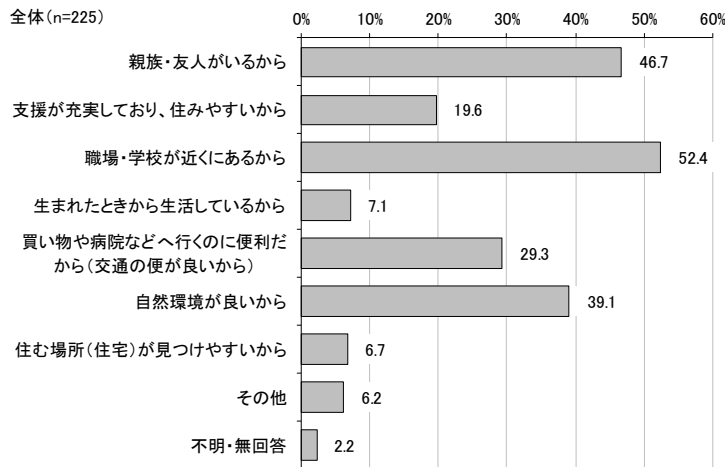
(49) 各務原市に住み続けたい理由（複数回答）

問 49 各務原市に住み続けたい主な理由は何ですか。（○はいくつでも）

各務原市に住み続けたい理由についてみると、「職場・学校が近くにあるから」が52.4%で最も高く、次いで「親族・友人がいるから」が46.7%、「自然環境が良いから」が39.1%となっています。

国籍別にみると、ブラジル・中国・ベトナムは「職場・学校が近くにあるから」が最も高く、フィリピン・その他は「親族・友人がいるから」が最も高くなっています。

年代別にみると、20～30歳代・50歳代では「職場・学校が近くにあるから」が最も高く、40歳代・60歳代は「親族・友人がいるから」が最も高くなっています。



単位：%		親族・友人がいるから	支援が充実しており、住みやすいから	職場・学校が近くにあるから	生まれたときから生活しているから	買い物や病院などへ行くのに便利だから（交通の便が良いから）	自然環境が良いから	住む場所（住宅）が見つつけやすいから	その他	不明・無回答
全体 (n=225)		46.7	19.6	52.4	7.1	29.3	39.1	6.7	6.2	2.2
国籍別	ブラジル (n=55)	41.8	18.2	49.1	5.5	25.5	36.4	5.5	12.7	1.8
	フィリピン (n=37)	67.6	37.8	54.1	2.7	32.4	32.4	5.4	0.0	2.7
	中国 (n=30)	53.3	16.7	60.0	0.0	26.7	26.7	6.7	13.3	10.0
	ベトナム (n=47)	10.6	10.6	76.6	2.1	34.0	53.2	6.4	0.0	0.0
	韓国 (n=9)	44.4	22.2	11.1	33.3	44.4	44.4	11.1	0.0	0.0
	ペルー (n=5)	60.0	20.0	40.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	インドネシア (n=2)	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他 (n=38)	68.4	15.8	34.2	15.8	26.3	39.5	7.9	7.9	0.0
年代別	10歳代 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=47)	27.7	12.8	78.7	0.0	31.9	36.2	6.4	0.0	0.0
	30歳代 (n=73)	50.7	15.1	56.2	5.5	26.0	47.9	8.2	4.1	2.7
	40歳代 (n=50)	60.0	30.0	36.0	8.0	28.0	36.0	8.0	8.0	4.0
	50歳代 (n=29)	44.8	31.0	58.6	6.9	34.5	34.5	3.4	13.8	3.4
	60歳代 (n=14)	42.9	14.3	28.6	14.3	14.3	21.4	0.0	21.4	0.0
	70歳代 (n=8)	62.5	0.0	0.0	50.0	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

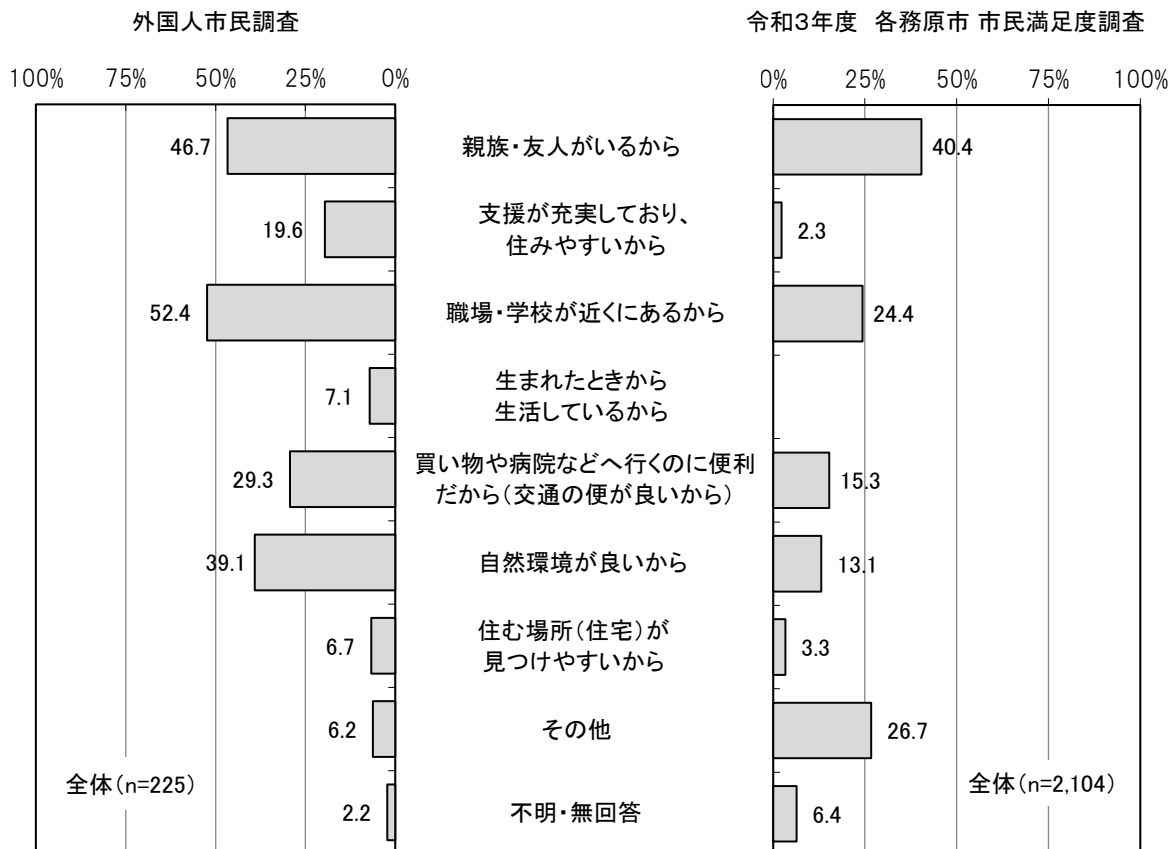
各務原市に住み続けたい理由について、市内滞在年数別にみると、『1年未満の層』、『1年以上3年未満の層』、『3年以上5年未満の層』、『5年以上10年未満の層』では、「職場・学校が近くにあるから」が最も高く、『5年以上10年未満の層』では「親族・友人がいるから」も高くなっています。

また、『1年未満の層』、『1年以上3年未満の層』、『3年以上5年未満の層』では、「自然環境が良いから」が4割台～5割台半ばと他の層と比べて高くなっています。

『10年以上20年未満の層』と『20年以上の層』では「親族・友人がいるから」が最も高くなっています。

単位：%		親族・友人がいるから	支援が充実しており、住みやすいから	職場・学校が近くにあるから	生まれたときから生活しているから	便利だから（病院などへ行くの便が良いから）	買い物や病院などへ行くの便が良いから	自然環境が良いから	住む場所（住宅）が見つけやすいから	その他	不明・無回答
全体 (n=225)		46.7	19.6	52.4	7.1	29.3	39.1	6.7	6.2	2.2	
市内滞在年数	1年未満 (n=20)	40.0	25.0	65.0	0.0	30.0	40.0	15.0	0.0	0.0	
	1年以上3年未満 (n=39)	20.5	7.7	61.5	0.0	17.9	41.0	5.1	5.1	2.6	
	3年以上5年未満 (n=45)	44.4	20.0	62.2	0.0	42.2	55.6	13.3	0.0	0.0	
	5年以上10年未満 (n=40)	55.0	20.0	55.0	2.5	20.0	32.5	2.5	10.0	0.0	
	10年以上20年未満 (n=48)	54.2	29.2	50.0	14.6	29.2	37.5	6.3	10.4	8.3	
	20年以上 (n=32)	65.6	15.6	18.8	25.0	37.5	25.0	0.0	9.4	0.0	

外国人市民調査問45『あなたが各務原市に住み続けたい主な理由（複数回答）』に対して、令和3年度各務原市市民満足度調査問6『各務原市に住んでいる理由（複数回答）』におけるスコアの差をみると、「職場・学校が近くにあるから」のギャップが28.0ポイントで最も高く、次いで「自然環境が良いから」のギャップが26.0ポイントと、ともに外国人市民のスコアが高くなっています。また、「その他」ではギャップが20.5ポイントで日本人市民のスコアが高くなっています。



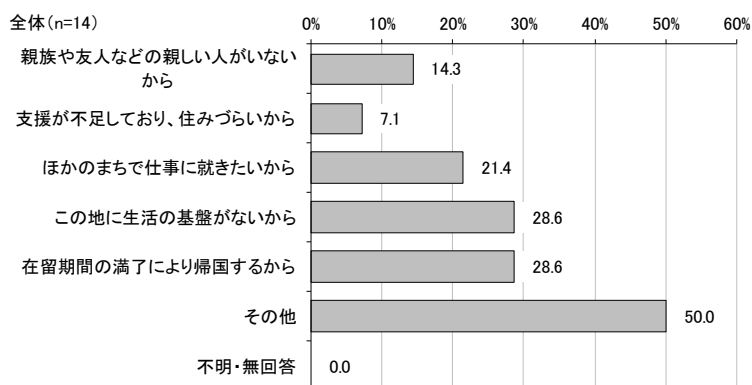
※「生まれたときから生活しているから」の項目につきましては、令和3年度 各務原市 市民満足度調査では該当項目がないため、スコアは割愛しています。

【問48で各務原市に住み続けたいかについて、「2 いいえ」と回答された人】

(50) 各務原市に住み続けたくない理由（複数回答）

問 50 各務原市に住み続けたくない主な理由は何ですか。（〇はいくつでも）

各務原市に住み続けたい理由についてみると、「その他」が50.0%で最も高く、次いで「この地に生活の基盤がないから」「在留期間の満了により帰国するから」がともに28.6%、「ほかのまちで仕事に就きたいから」が21.4%となっています。



10. 各務原市のサービスについて

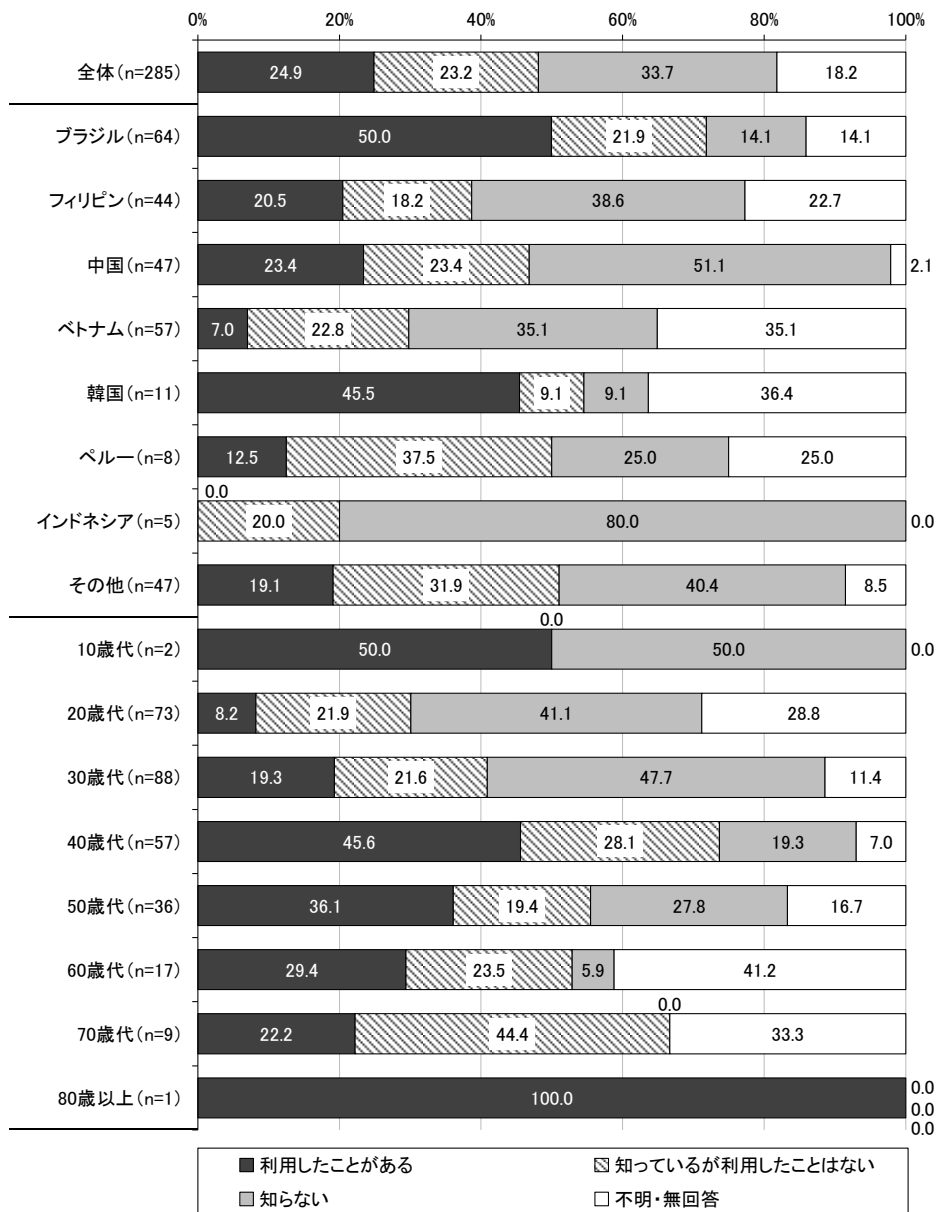
(51-A) 広報「かかみがはら」の利用経験（単数回答）

問 51-A 広報「かかみがはら」を利用したことがありますか。（1つに○）

広報「かかみがはら」の利用経験についてみると、「知らない」が33.7%、「利用したことがある」が24.9%、「知っているが利用したことはない」が23.2%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は48.1%と5割を下回っています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル(71.9%)が最も高く、次いで韓国(54.6%)、その他(51.0%)となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代(73.7%)が最も高く、次いで50歳代(55.5%)、60歳代(52.9%)となっています。一方、20～30歳代の【認知計】はともに5割以下となっています。



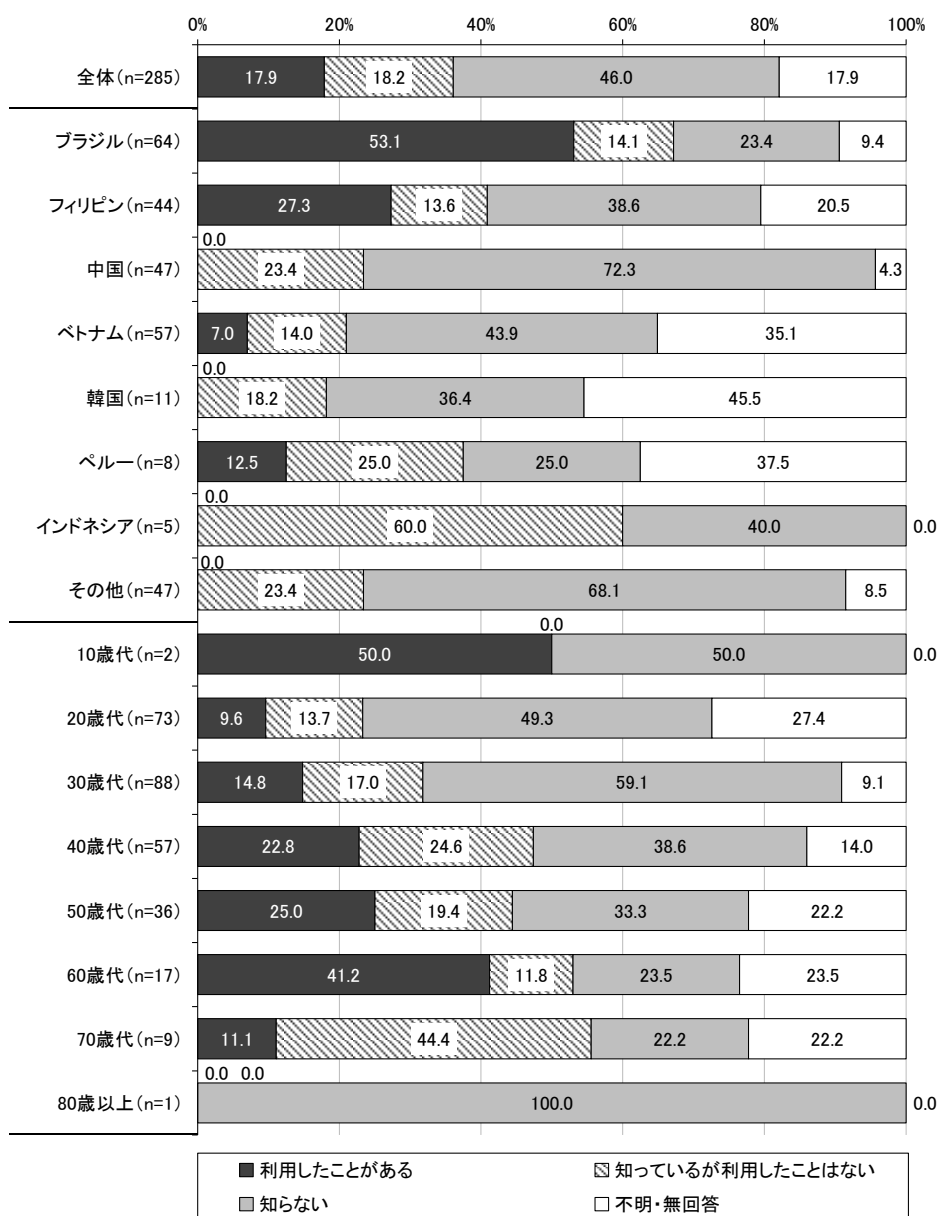
(51-B) 広報「かかみがはら」外国語版の利用経験（単数回答）

問 51-B 広報「かかみがはら」外国語版を利用したことがありますか。（1つに○）

広報「かかみがはら」外国語版の利用経験についてみると、「知らない」が46.0%、「知っているが利用したことはない」が18.2%、「利用したことがある」が17.9%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は36.1%と広報「かかみがはら」日本語版（48.1%）を下回っています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（67.2%）が最も高く、次いでフィリピン（40.9%）、中国・その他（各23.4%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、60歳代（53.0%）が最も高く、次いで40歳代（47.4%）、50歳代（44.4%）となっています。一方、20～30歳代の【認知計】は2～3割台と低くなっています。



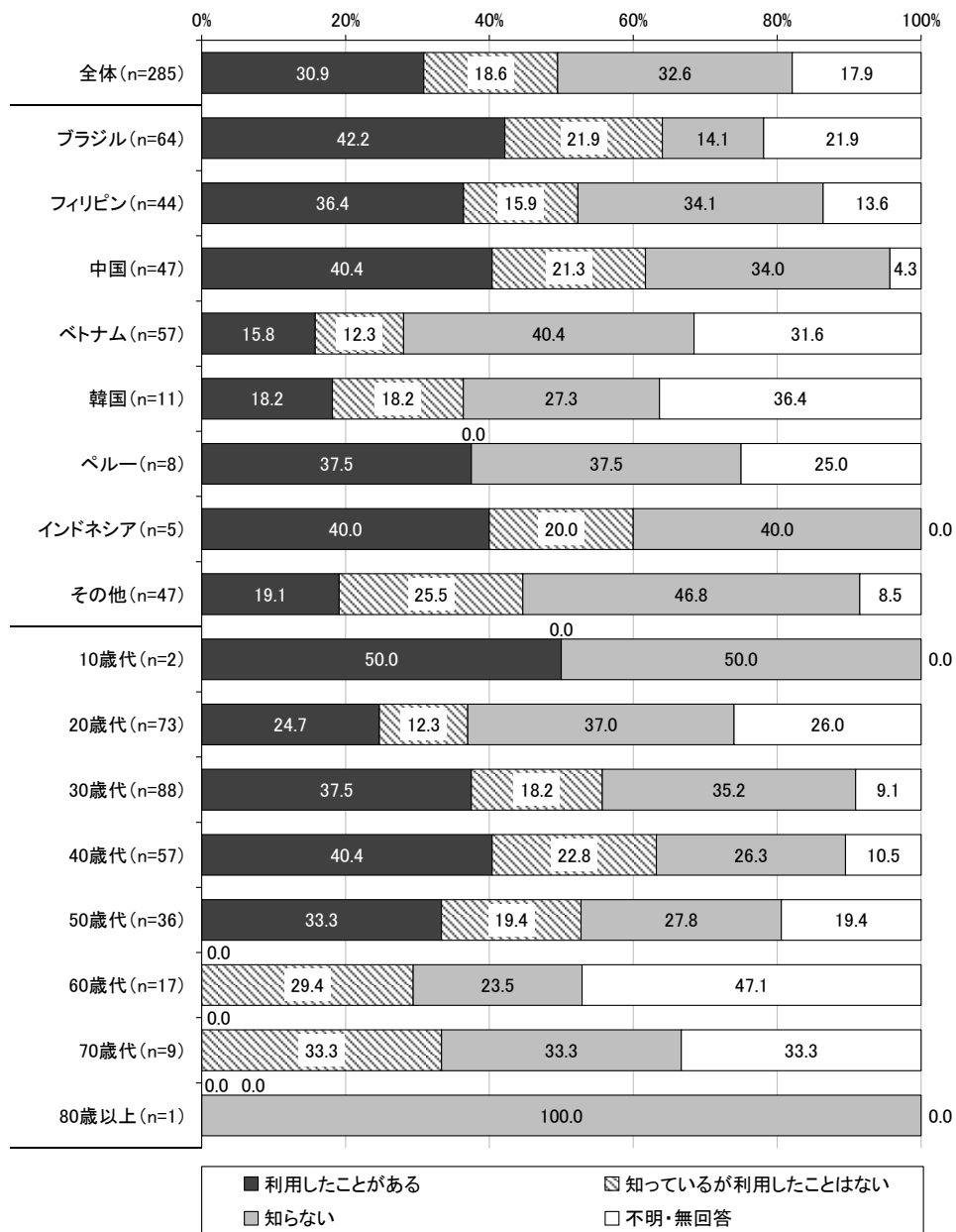
(51-C) 各務原市のWebサイトの利用経験（単数回答）

問 51-C 各務原市の Web サイトを利用したことがありますか。(1つに○)

各務原市のWebサイトの利用経験についてみると、「知らない」が32.6%、「利用したことがある」が30.9%、「知っているが利用したことはない」が18.6%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は49.5%と5割を下回っています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（64.1%）が最も高く、次いで中国（61.7%）、フィリピン（52.3%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（63.2%）が最も高く、次いで30歳代（55.7%）、50歳代（52.7%）となっています。



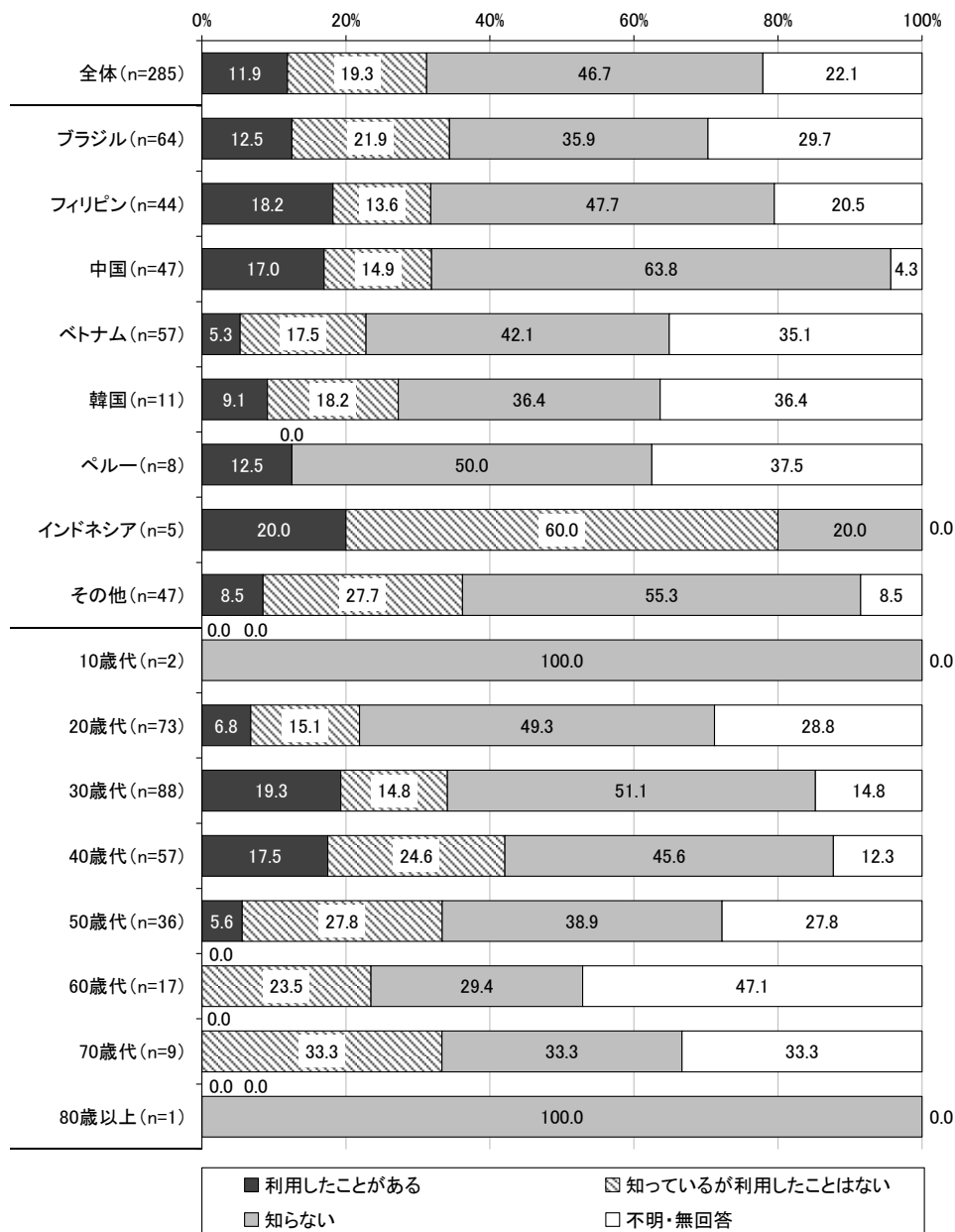
(51-D) 各務原市のSNS（市公式LINE・Twitter）の利用経験（単数回答）

問 51-D 各務原市のSNS(市公式LINE・Twitter)を利用したことがありますか。(1つに○)

各務原市のSNS（市公式LINE・Twitter）の利用経験についてみると、「知らない」が46.7%、「知っているが利用したことはない」が19.3%、「利用したことがある」が11.9%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は31.2%となっています。

国籍別にみると【認知計】はその他（36.2%）が最も高く、次いでブラジル（34.4%）、次いで中国（31.9%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（42.1%）が最も高く、次いで30歳代（34.1%）、50歳代（33.4%）となっており、30～40歳代は「利用したことがある」がともに1割台後半と他の年代に比べて高くなっています。



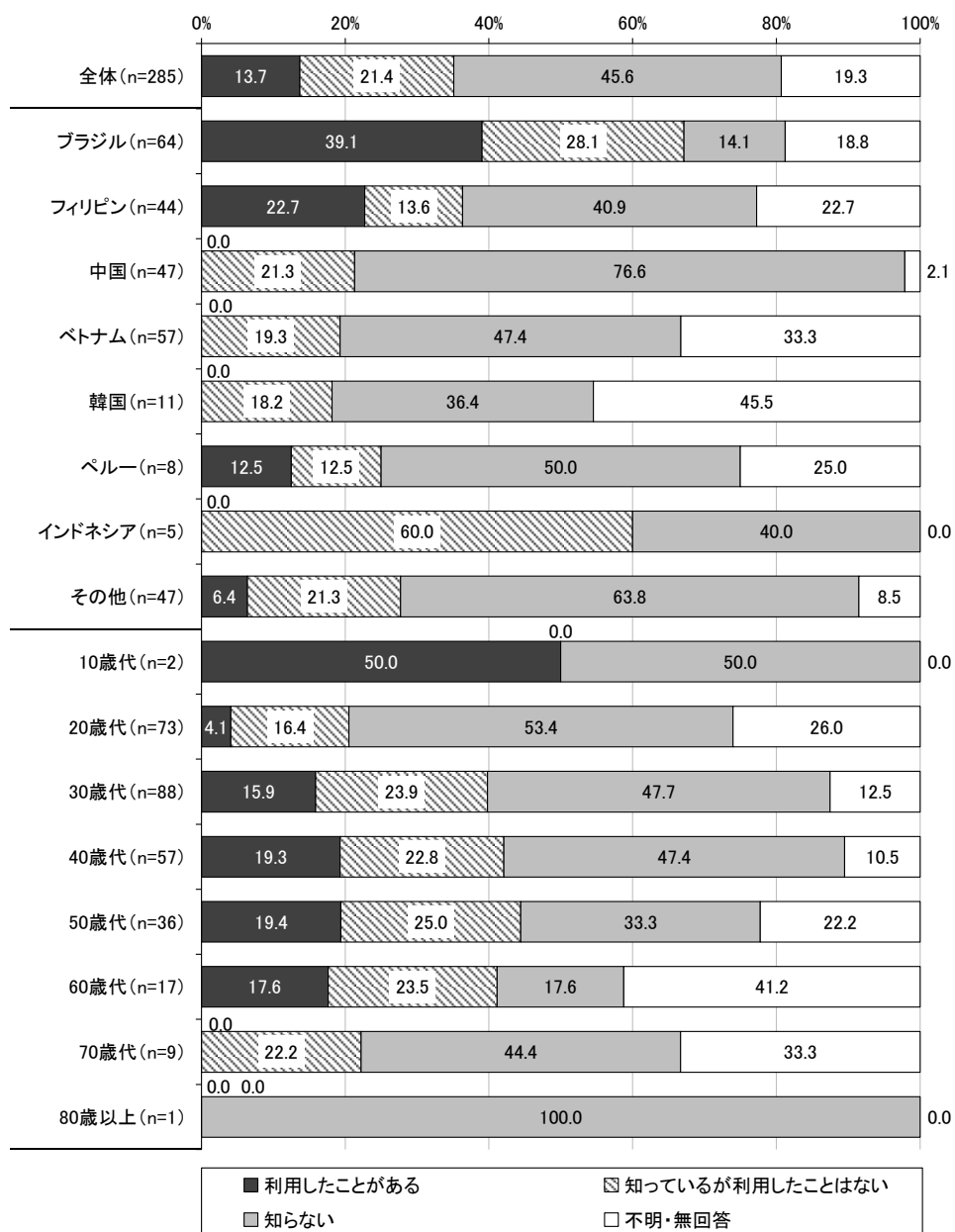
(51-E) 外国人のための窓口通訳事業の利用経験（単数回答）

問 51-E 外国人のための窓口通訳事業を利用したことがありますか。（1つに○）

外国人のための窓口通訳事業の利用経験についてみると、「知らない」が45.6%、「知っているが利用したことはない」が21.4%、「利用したことがある」が13.7%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は35.1%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（67.2%）が最も高く、次いでフィリピン（36.3%）、その他（27.7%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、50歳代（44.4%）が最も高く、次いで40歳代（42.1%）、60歳代（41.1%）となっています。一方、20歳代は20.5%と低くなっています。



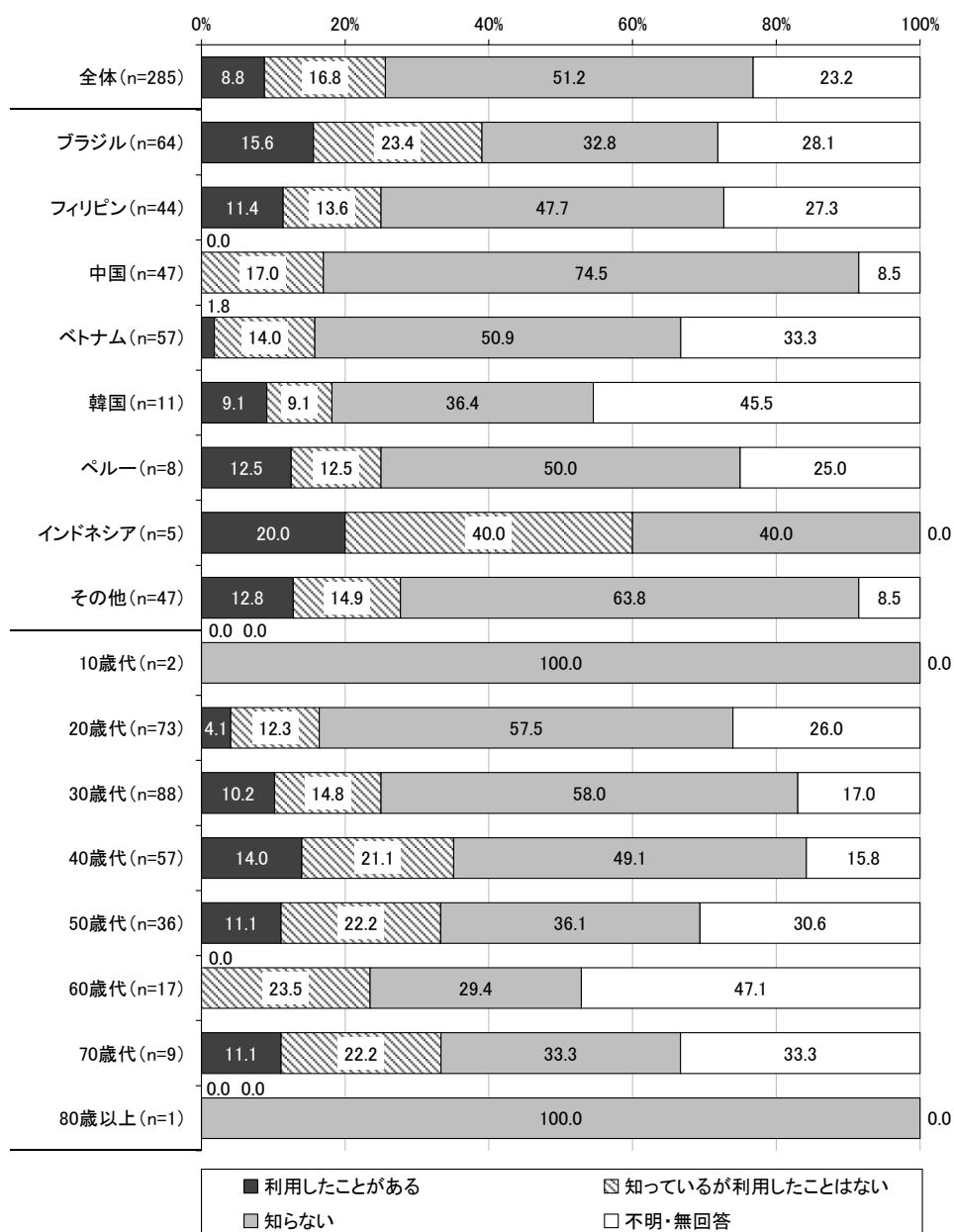
(51-F) 国際協会のWebサイトの利用経験（単数回答）

問 51-F 国際協会の Web サイトを利用したことがありますか。(1つに○)

国際協会のWebサイトの利用経験についてみると、「知らない」が51.2%、「知っているが利用したことはない」が16.8%、「利用したことがある」が8.8%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は25.6%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（39.0%）が最も高く、次いでその他（27.7%）、フィリピン（25.0%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（35.1%）が最も高く、次いで50歳代（33.3%）、30歳代（25.0%）となっています。一方、20歳代は16.4%と2割を下回っています。



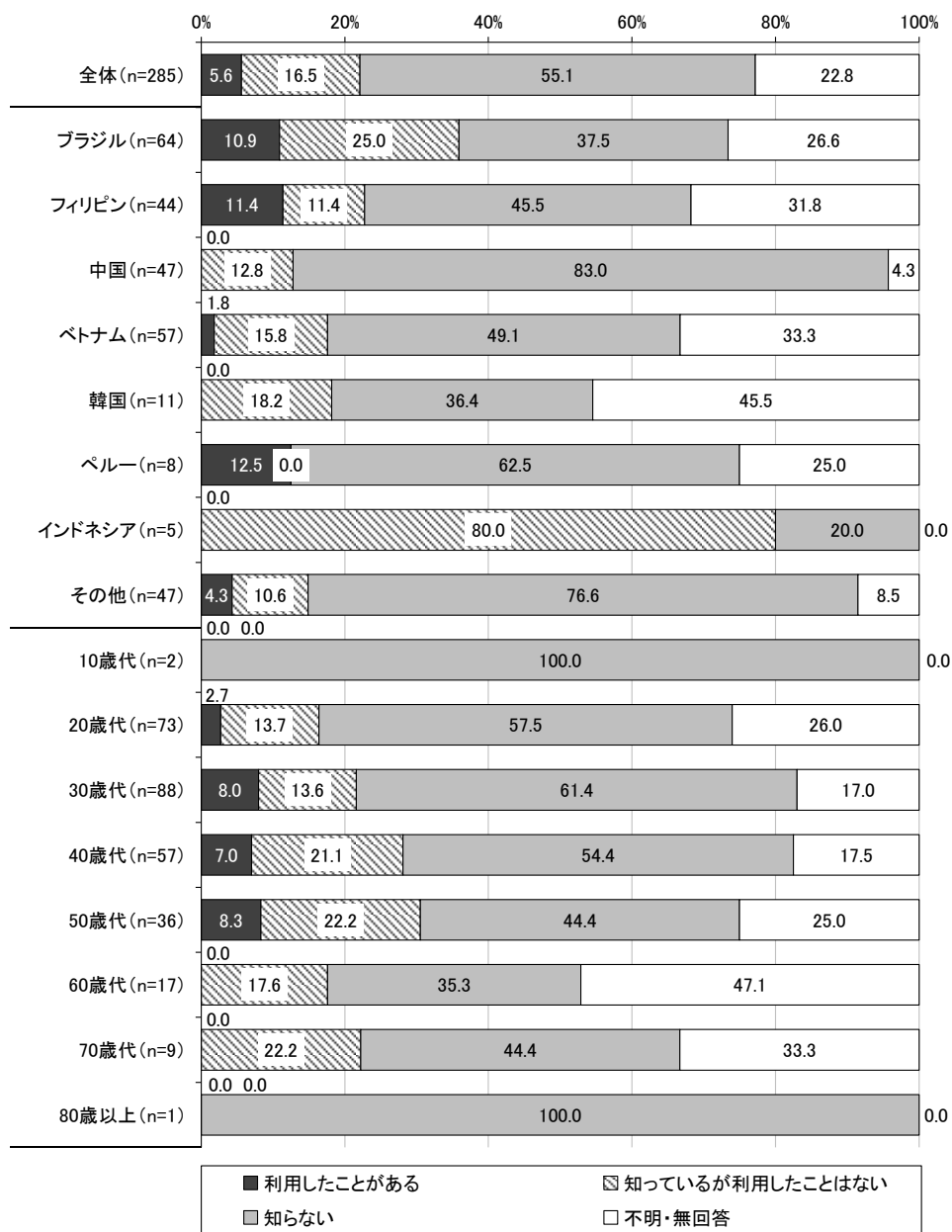
(51-G) 国際協会のSNSの利用経験（単数回答）

問 51-G 国際協会の SNS を利用したことがありますか。（1つに○）

国際協会のSNSの利用経験についてみると、「知らない」が55.1%、「知っているが利用したことはない」が16.5%、「利用したことがある」が5.6%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は22.1%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（35.9%）が最も高く、次いでフィリピン（22.8%）、韓国（18.2%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、50歳代（30.5%）が最も高く、次いで40歳代（28.1%）、30歳代（21.6%）となっています。



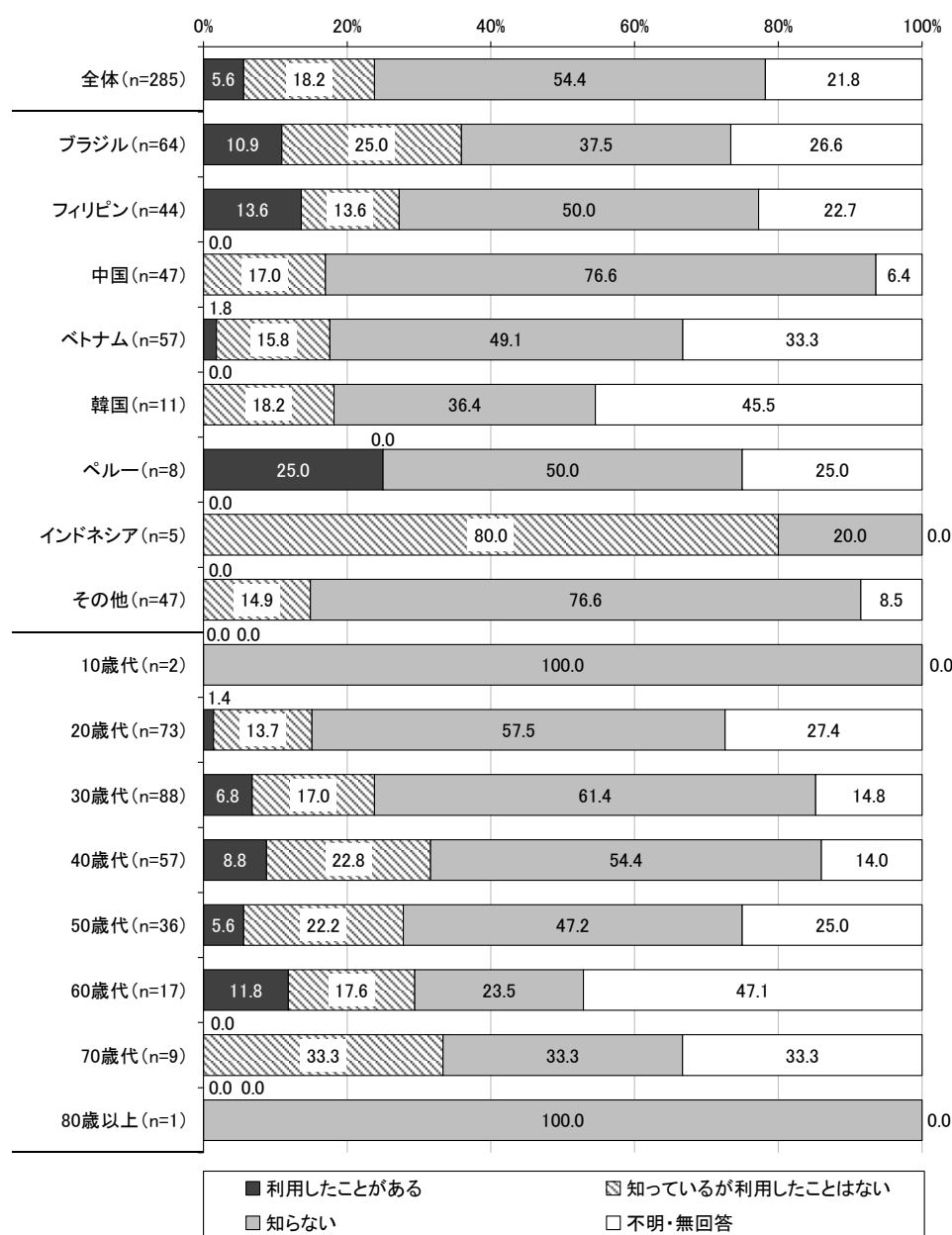
(51-H) 外国人市民相談（国際交流サロン）の利用経験（単数回答）

問 51-H 外国人市民相談(国際交流サロン)を利用したことがありますか。(1つに○)

外国人市民相談（国際交流サロン）の利用経験についてみると、「知らない」が54.4%、「知っているが利用したことはない」が18.2%、「利用したことがある」が5.6%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は23.8%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（35.9%）が最も高く、次いでフィリピン（27.2%）、韓国（18.2%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（31.6%）が最も高く、次いで60歳代（29.4%）、50歳代（27.8%）となっています。



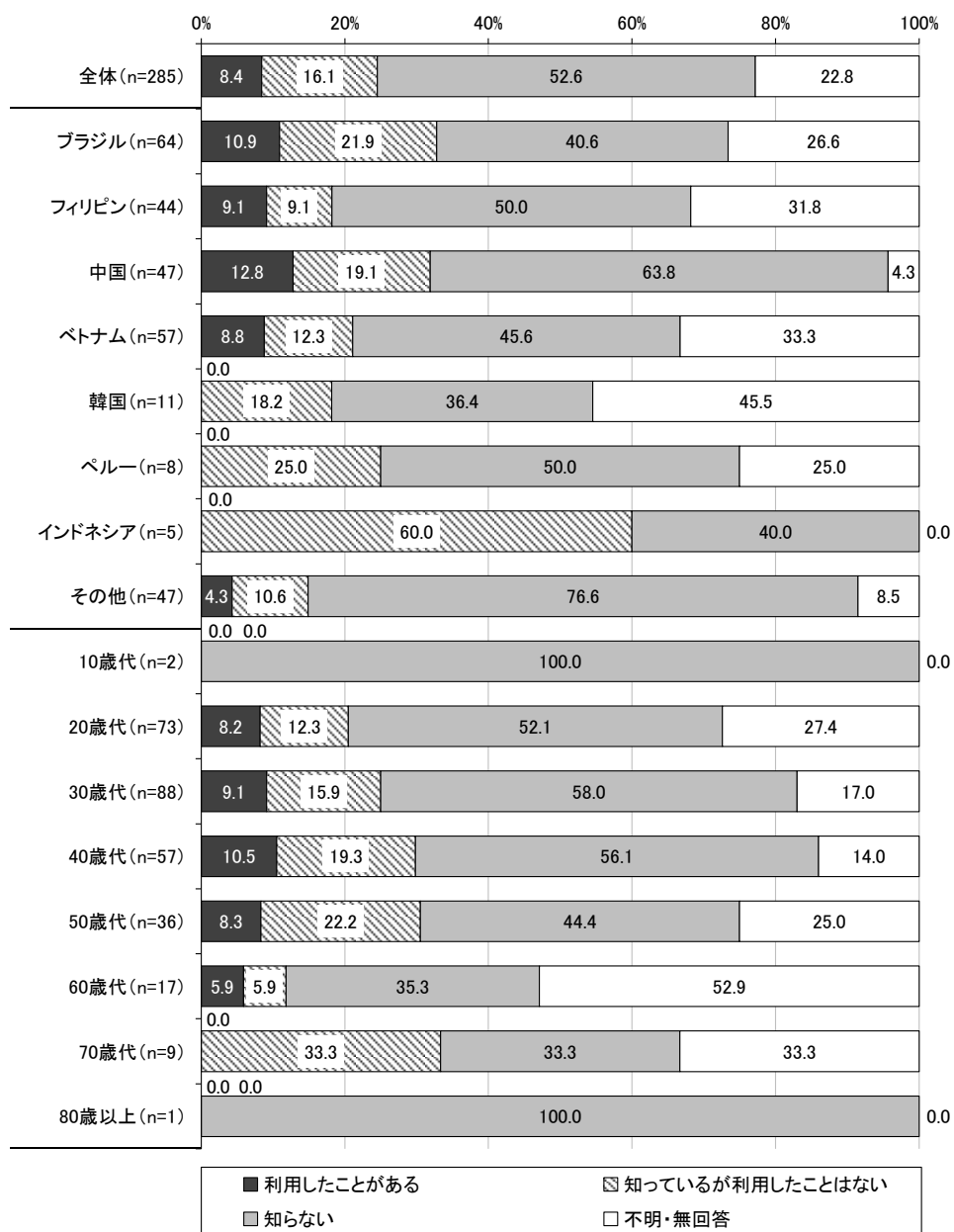
(51- I) 外国人市民向け生活ハンドブックの利用経験（単数回答）

問 51-I 外国人市民向け生活ハンドブックを利用したことがありますか。（1つに○）

外国人市民向け生活ハンドブックの利用経験についてみると、「知らない」が52.6%、「知っているが利用したことはない」が16.1%、「利用したことがある」が8.4%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は24.5%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（32.8%）が最も高く、次いで中国（31.9%）、ベトナム（21.1%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、50歳代（30.5%）が最も高く、次いで40歳代（29.8%）、30歳代（25.0%）となっています。



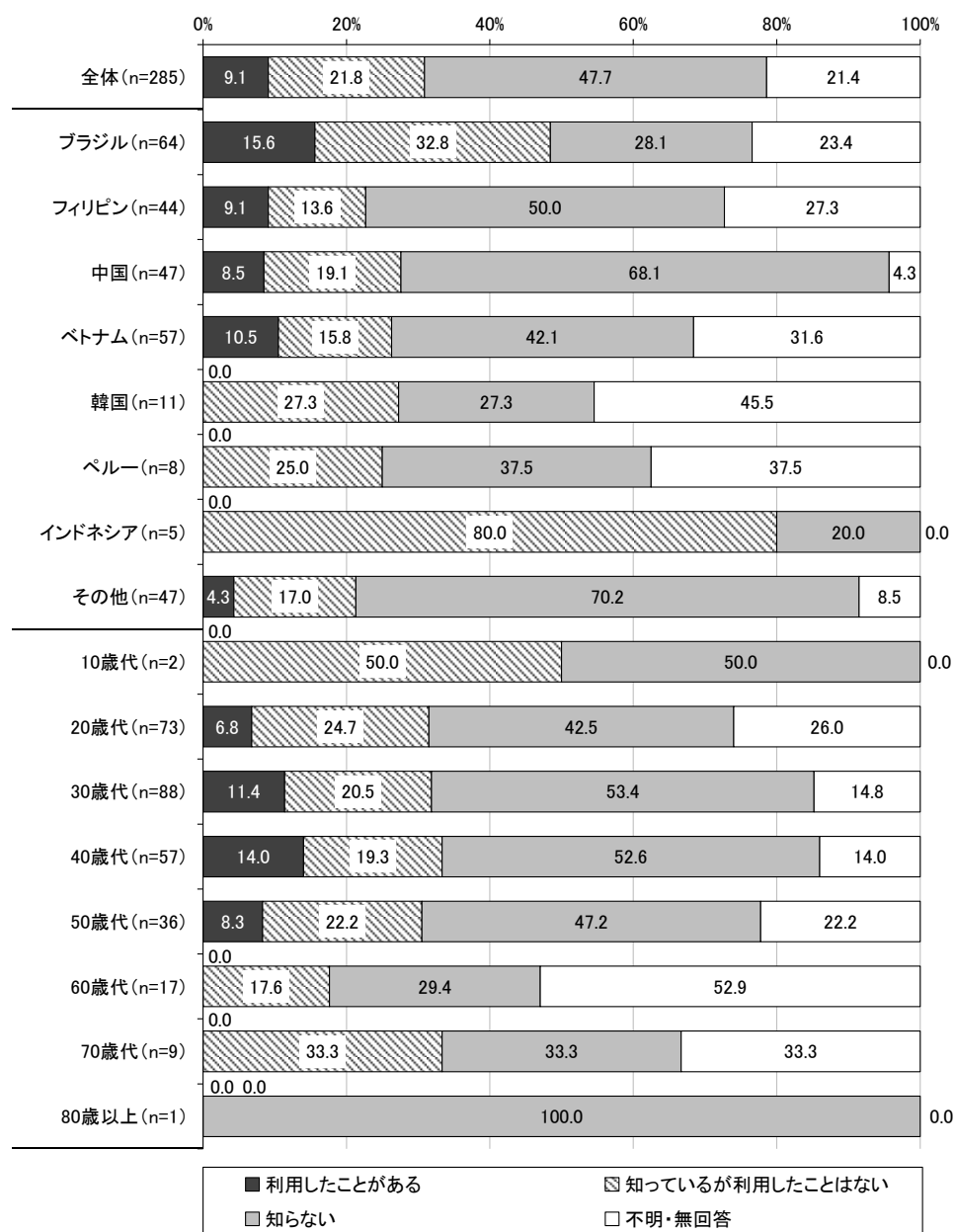
(51-J) 外国人市民向け防災ハンドブックの利用経験（単数回答）

問 51-J 外国人市民向け防災ハンドブックを利用したことがありますか。（1つに○）

外国人市民向け防災ハンドブックの利用経験についてみると、「知らない」が47.7%、「知っているが利用したことはない」が21.8%、「利用したことがある」が9.1%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は30.9%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル(48.4%)が最も高く、次いで中国(27.6%)、韓国(27.3%)となっています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（33.3%）が最も高く、次いで30歳代（31.9%）、20歳代（31.5%）となっています。



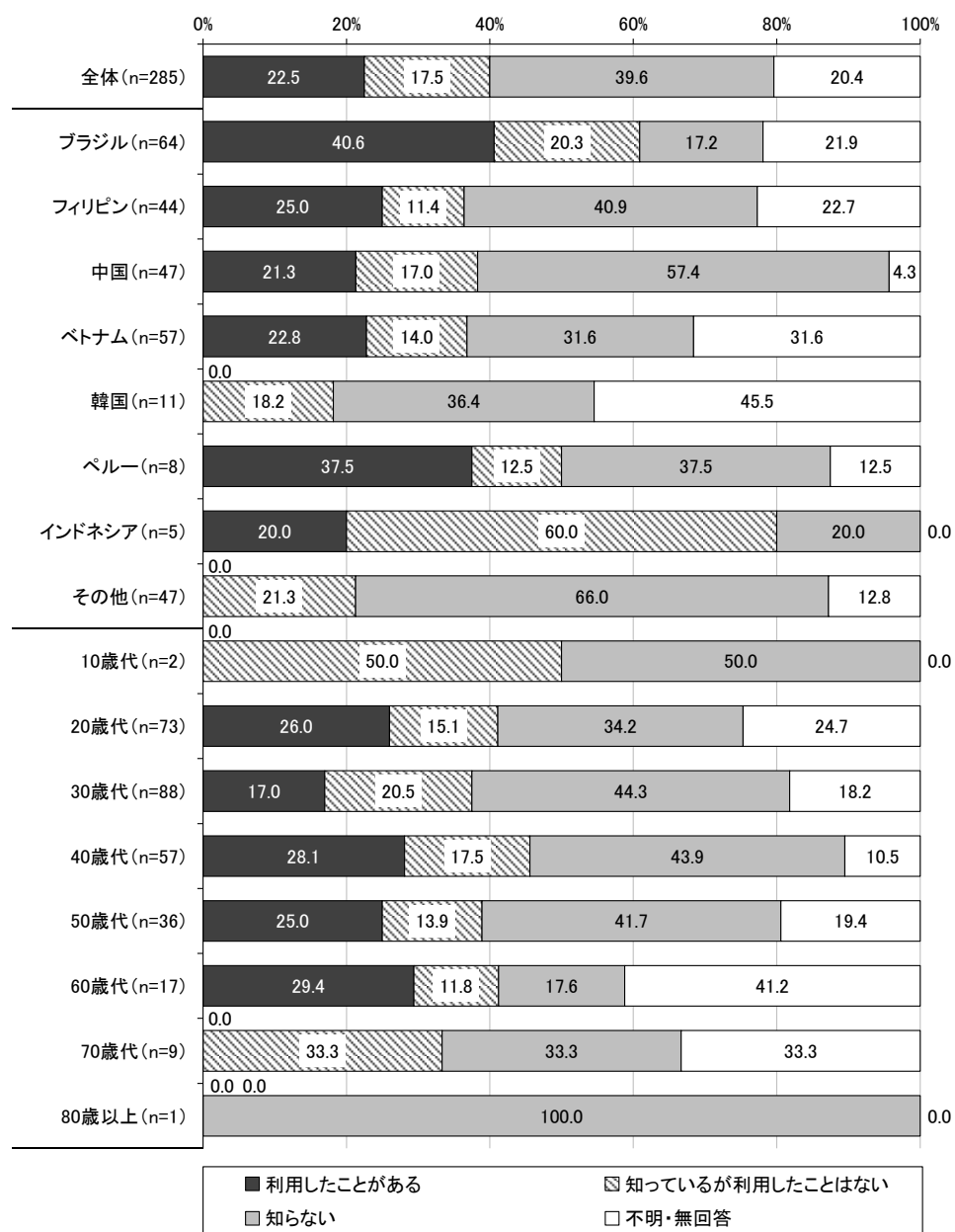
(51-K) 外国人市民向けごみ出しハンドブックの利用経験（単数回答）

問 51-K 外国人市民向けごみ出しハンドブックを利用したことがありますか。（1つに○）

外国人市民向けごみ出しハンドブックの利用経験についてみると、「知らない」が39.6%、「利用したことがある」が22.5%、「知っているが利用したことはない」が17.5%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は40.0%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（60.9%）が最も高く、次いで中国（38.3%）、ベトナム（36.8%）となっており、ブラジルでは「利用したことがある」が4割を超えています。

年代別で【認知計】をみると、40歳代（45.6%）が最も高く、次いで60歳代（41.2%）、20歳代（41.1%）となっています。



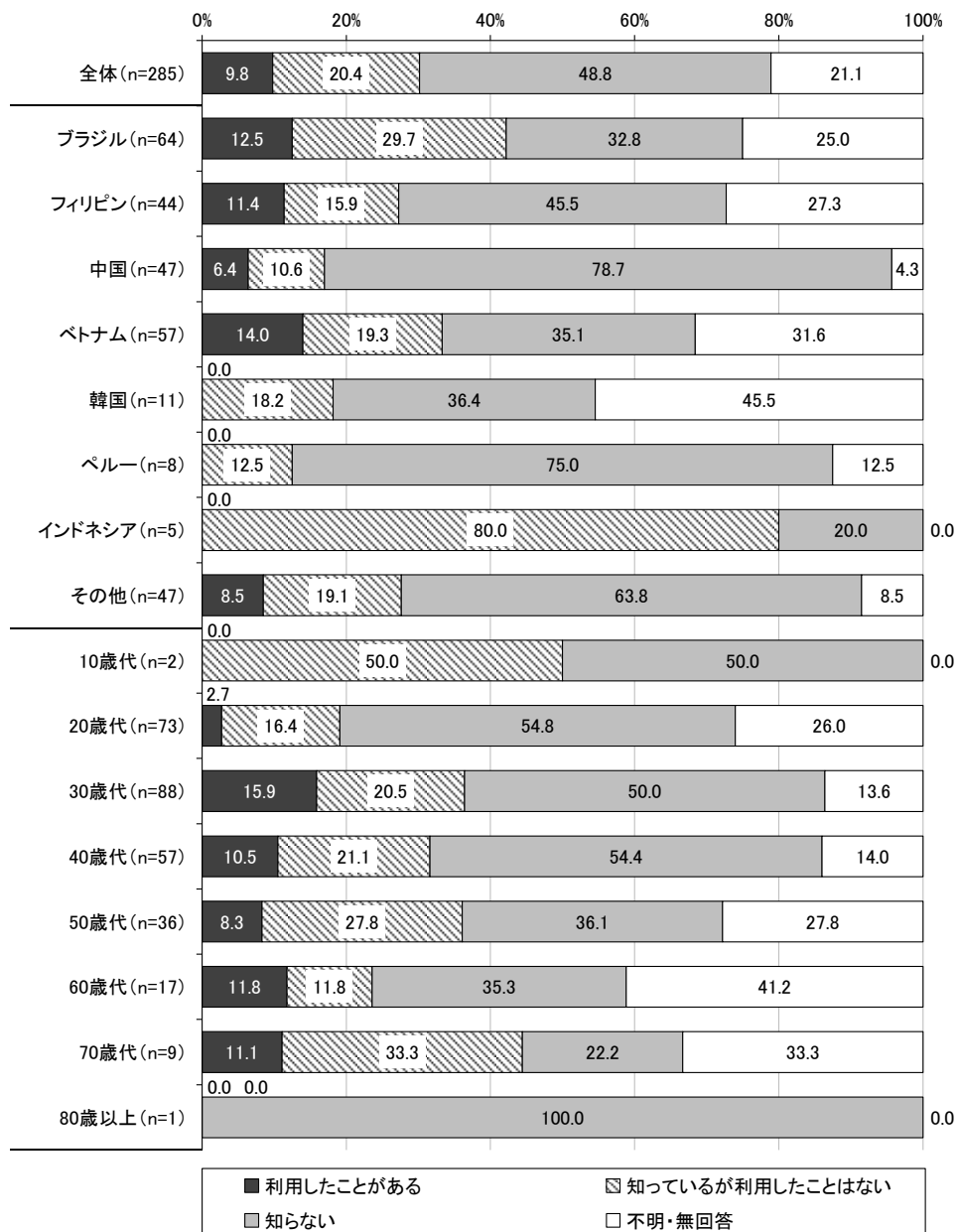
(51-L) 日本語教室（国際交流サロン）の利用経験（単数回答）

問 51-L 日本語教室(国際交流サロン)を利用したことがありますか。(1つに○)

日本語教室（国際交流サロン）の利用経験についてみると、「知らない」が48.8%、「知っているが利用したことはない」が20.4%、「利用したことがある」が9.8%となっており、「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」を合わせた【認知計】は30.2%となっています。

国籍別にみると【認知計】はブラジル（42.2%）が最も高く、次いでベトナム（33.3%）、その他（27.6%）となっています。

年代別で【認知計】をみると、30歳代（36.4%）が最も高く、次いで50歳代（36.1%）、40歳代（31.6%）となっています。



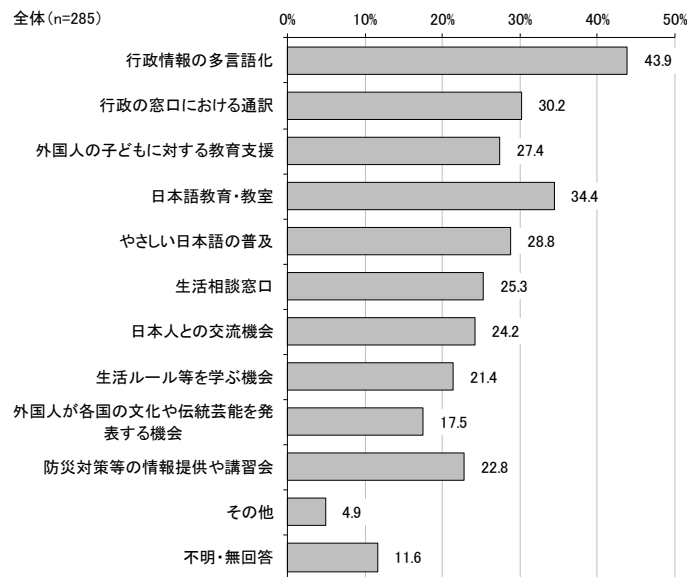
(52) 各務原市に対して充実してほしいサービス（複数回答）

問 52 各務原市に対して充実してほしいと思うサービスは何ですか。（○はいくつでも）

各務原市に対して充実してほしいサービスついてみると、「行政情報の多言語化」が43.9%で最も高く、次いで「日本語教育・教室」が34.4%、「行政の窓口における通訳」が30.2%となっています。

国籍別にみるとブラジルは「日本語教育・教室」が最も高く、フィリピン・中国は「行政の窓口における通訳」、ベトナム・その他は「行政情報の多言語化」、韓国は「やさしい日本語の普及」「生活相談窓口」「その他」が最も高くなっています。

年代別では、20～30歳代・50～60歳代は「行政情報の多言語化」が最も高く、40歳代は「日本語教育・教室」が最も高くなっています。



単位: %		行政情報の多言語化	行政の窓口における通訳	外国人の子どもに対する教育支援	日本語教育・教室	やさしい日本語の普及	生活相談窓口	日本人との交流機会	生活ルール等を学ぶ機会	外国人が各国の文化や伝統芸能を発表する機会	防災対策等の情報提供や講習会	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		43.9	30.2	27.4	34.4	28.8	25.3	24.2	21.4	17.5	22.8	4.9	11.6
国籍別	ブラジル (n=64)	48.4	32.8	40.6	54.7	35.9	42.2	29.7	31.3	12.5	32.8	0.0	10.9
	フィリピン (n=44)	43.2	47.7	45.5	25.0	36.4	20.5	13.6	27.3	29.5	22.7	2.3	4.5
	中国 (n=47)	31.9	34.0	19.1	27.7	19.1	14.9	23.4	14.9	8.5	21.3	6.4	10.6
	ベトナム (n=57)	61.4	28.1	22.8	31.6	33.3	21.1	31.6	21.1	22.8	26.3	3.5	12.3
	韓国 (n=11)	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	0.0	9.1	18.2	45.5
	ペルー (n=8)	50.0	25.0	12.5	37.5	12.5	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
	インドネシア (n=5)	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	その他 (n=47)	36.2	19.1	19.1	34.0	25.5	25.5	23.4	19.1	23.4	12.8	10.6	10.6
年代別	10歳代 (n=2)	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=73)	45.2	28.8	23.3	34.2	35.6	24.7	26.0	20.5	17.8	27.4	6.8	12.3
	30歳代 (n=88)	50.0	27.3	34.1	37.5	29.5	25.0	28.4	23.9	20.5	19.3	3.4	5.7
	40歳代 (n=57)	38.6	36.8	31.6	40.4	24.6	21.1	15.8	24.6	19.3	29.8	7.0	7.0
	50歳代 (n=36)	50.0	38.9	27.8	33.3	30.6	36.1	25.0	22.2	13.9	19.4	2.8	5.6
	60歳代 (n=17)	35.3	29.4	11.8	23.5	17.6	23.5	29.4	11.8	11.8	17.6	0.0	47.1
	70歳代 (n=9)	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	44.4
	80歳以上 (n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

各務原市に対して充実してほしいサービスについて、各日本語能力別（『日本語で会話をする』、『漢字を読む』、『ひらがな・カタカナを読む』、『日本語を書く』）にみると、おおむねどの能力別においても「行政情報の多言語化」が高くなっています。『全て／あまりできない層・まったくできていない層』では「行政の窓口における通訳」が高くなっています。

市内滞在年数別にみると、おおむねどの滞在年数においても「行政情報の多言語化」が高く、『10年以上20年未満の層』では「日本語教育・教室」、『20年以上の層』では「生活相談窓口」も高くなっています。

一方、『5年以上10年未満の層』では「外国人の子どもに対する教育支援」「日本語教育・教室」が同スコアで最も高くなっています。

単位：%		行政情報の多言語化	行政の窓口における通訳	外国人の子どもに対する教育支援	日本語教育・教室	やさしい日本語の普及	生活相談窓口	日本人との交流機会	生活ルール等を学ぶ機会	外国人が各国の文化や伝統芸能を発表する機会	防災対策等の情報提供や講習会	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		43.9	30.2	27.4	34.4	28.8	25.3	24.2	21.4	17.5	22.8	4.9	11.6
日本語で会話をする	問題なくできる (n=112)	30.4	14.3	25.0	25.9	22.3	24.1	20.5	18.8	20.5	19.6	8.9	14.3
	ある程度できる (n=113)	52.2	35.4	29.2	39.8	32.7	25.7	28.3	24.8	15.0	27.4	1.8	9.7
	あまりできない (n=41)	51.2	51.2	31.7	36.6	39.0	26.8	17.1	22.0	12.2	19.5	4.9	7.3
	まったくできない (n=12)	66.7	50.0	25.0	66.7	25.0	33.3	50.0	25.0	41.7	33.3	0.0	8.3
漢字を読む	問題なくできる (n=66)	24.2	13.6	24.2	21.2	16.7	22.7	25.8	13.6	16.7	19.7	12.1	18.2
	ある程度できる (n=81)	42.0	24.7	18.5	34.6	27.2	25.9	25.9	19.8	17.3	24.7	2.5	11.1
	あまりできない (n=70)	60.0	32.9	37.1	50.0	44.3	28.6	25.7	32.9	21.4	27.1	2.9	7.1
	まったくできない (n=52)	51.9	55.8	32.7	34.6	25.0	25.0	23.1	17.3	17.3	21.2	3.8	5.8
ひらがな・カタカナを読む	問題なくできる (n=158)	40.5	18.4	25.3	31.6	29.1	22.2	24.1	19.0	19.6	22.2	7.0	10.1
	ある程度できる (n=68)	48.5	38.2	36.8	42.6	29.4	29.4	25.0	29.4	14.7	30.9	1.5	11.8
	あまりできない (n=25)	48.0	52.0	28.0	36.0	40.0	44.0	24.0	24.0	8.0	16.0	8.0	8.0
	まったくできない (n=22)	59.1	68.2	13.6	36.4	18.2	13.6	27.3	13.6	27.3	13.6	0.0	9.1
日本語を書く	問題なくできる (n=74)	28.4	14.9	27.0	21.6	20.3	25.7	20.3	17.6	21.6	20.3	12.2	16.2
	ある程度できる (n=90)	48.9	26.7	28.9	40.0	27.8	25.6	25.6	23.3	14.4	30.0	0.0	7.8
	あまりできない (n=67)	52.2	35.8	29.9	41.8	47.8	29.9	29.9	28.4	19.4	25.4	4.5	6.0
	まったくできない (n=37)	51.4	56.8	24.3	40.5	16.2	21.6	24.3	13.5	18.9	10.8	5.4	10.8

単位：%		行政情報の多言語化	行政の窓口における通訳	外国人の子どもに対する教育支援	日本語教育・教室	やさしい日本語の普及	生活相談窓口	日本人との交流機会	生活ルール等を学ぶ機会	外国人が各国の文化や伝統芸能を発表する機会	防災対策等の情報提供や講習会	その他	不明・無回答
全体 (n=285)		43.9	30.2	27.4	34.4	28.8	25.3	24.2	21.4	17.5	22.8	4.9	11.6
市内滞在年数	1年未満 (n=30)	50.0	33.3	20.0	36.7	33.3	16.7	30.0	30.0	20.0	16.7	6.7	10.0
	1年以上3年未満 (n=58)	55.2	29.3	20.7	27.6	32.8	24.1	22.4	19.0	13.8	29.3	5.2	10.3
	3年以上5年未満 (n=53)	45.3	34.0	30.2	35.8	28.3	28.3	30.2	17.0	28.3	18.9	5.7	7.5
	5年以上10年未満 (n=48)	37.5	29.2	39.6	39.6	27.1	20.8	18.8	27.1	18.8	25.0	4.2	12.5
	10年以上20年未満 (n=57)	42.1	31.6	35.1	42.1	28.1	29.8	21.1	24.6	14.0	24.6	3.5	10.5
	20年以上 (n=37)	29.7	21.6	13.5	24.3	21.6	29.7	27.0	13.5	10.8	18.9	5.4	21.6

(53) 各務原市に取り組んでほしいこと、ご意見など（自由回答）

問 53 生活の中で困っていることや各務原市に取り組んでほしいことなど、ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・自由回答記述回答者：94 人
- ・同一の回答の中に複数の意見等がある場合は、個別にカウントしています。そのため回答総数は回答者数を超えています。
- ・また、長文の回答等は適時要約しています。

	回答件数									
	計	ブラジル	フィリピン	中国	ベトナム	韓国	ペルー	インドネシア	その他	不明
相互理解、協力、交流について	10	4	1	2	1				2	
言語・情報提供について	21	2	6	1	3		2		7	
社会制度（税金、年金等）について	7	3	1			1			2	
生活ルール等の情報提供と情報共有について	4		2	1					1	
子どもの教育・保育等について	5	2		1	1	1				
就労等について	13	3	1	6	2				1	
居住環境について	4	2	1	1						
医療体制について	5	1			2	1				1
防災対策について	1								1	
多文化共生の意識啓発・醸成等について	2	1		1						
市や国（行政）、企業等に望むこと	11	2	2	1		1	3		2	
各務原市について	9		4	2	2				1	
その他	16	5	2	4	1	1		1	2	
総計	108	25	20	20	12	5	5	1	19	1

1. 相互理解、協力、交流について（抜粋）

- ・バーベキューやスポーツ等、市民一緒に行う活動が増えてほしい。日本人と外国人の交流機会を増やしてほしい。
- ・外国人が自身の国の文化を提示する機会をもっと増やしてほしい。
- ・外国人学校と日本の学校の交流を増やしてほしい。
- ・コミュニティを改善するための提案をすることができる機会が欠如していると思う。

2. 言語・情報提供について（抜粋）

- 規則、ルール、地域文化の内容（情報）については、イメージで日本語を表記したほうが良いと思う。
- 保育園の申込書の親が書くところや、児童手当の申請書などを書いてほしいと言われたことがある。翻訳があれば、各々が自力でできると思う。
- 初めて各務原市に来た時は多くの難しい日本語に苦労した。
例えば、「可燃ごみ」よりは「もえるごみ」の方がわかりやすい。
- いつも感じるフラストレーションのほとんどは、言語の壁から生じている。
日本語を勉強している間は、簡単な日本語と振り仮名を使ってもらいたい。
- 夕方の時間帯にオンラインで開催される日本語教室を希望します。
- 各務原市に中国語で教える自動車教習所があってほしい。
- 市役所に通訳が居ないので困っている。
- 学校や市役所の手紙などを英語かタガログ語に訳してほしい。

3. 社会制度（税金、年金等）について（抜粋）

- 住民税を引き下げてほしい。
- 政府から支援がある場合、なぜ子どもたちが優先されるのか、なぜ公平でないのかと感じる。
- 労働基準法やビザの更新、永住ビザの取得方法・確定申告等について勉強できる場所がほしい。
- 生活保護の高齢者や子どもへの支援をもっとしてほしい。

4. 生活ルール等の情報提供と情報共有について（抜粋）

- 外国人、特に支援や学びを必要とする人の生活を充実させるため、健康・生活・教育や就労といった各務原市での日々の生活に関する情報が必要だと思う。
- 騒音トラブルにあった時、相談できる窓口を設けてほしい。

5. 子どもの教育・保育等について（抜粋）

- 母親が働きやすい場所を簡単に見つけられるように、より多くの保育所を建設してほしい。
- 学校の規則、ルール、教育内容についてはベトナム語を表記してほしい。

6. 就労等について（抜粋）

- 外国人の給料を上げてほしい。
- 外国人労働者のための権利を保証してほしい。
- 研修生の給料を上げ、保険控除を減らし、語学力や宿泊条件を改善してほしい。
- 良い賃金で採用される職場や仕事についてもっと教えてほしい。
- 高齢者の雇用が欠如していると思う。
- 投資や経済に関する講座をしてほしい。

7. 居住環境について（抜粋）

- 外国人にとって、家やアパートを借りるのがもっと簡単になってほしい。
- 外国人居住者が各務原市の公営住宅を借りることができるのであれば、低収入の人も助かると思う。

8. 医療体制について（抜粋）

- 病院にもっと通訳者が増えてほしいと思う。
- 鵜沼宝積寺町には、医療施設が少ないと思う。
- 診療所において、外国人患者に対し日本人患者と同じように対応（順番等）して欲しい。
- 不妊治療の情報を教えてほしい。また不妊治療費もサポートしてほしい。

9. 防災対策について（抜粋）

- 防災無線の内容をネットで見るができる「web 閲覧機能」を追加してほしい。
今はメール登録をしないと見るができないため不便に感じている。

10. 多文化共生の意識啓発・醸成等について（抜粋）

- 定期的に刊行物を送って頂く際、日本の風土・人情や生活ルールを紹介して、外国人がいち早く情報を把握し、また重んじられているのだと実感できるようになれば良いと思う。
- 各言語の広報紙に外国人の権利や義務について詳細な情報を載せてほしい。

11. 市や国（行政）、企業等に望むこと（抜粋）

- 制度や補助金について、きちんと説明してほしい。
- 公園や安定したごみ処理コンテナを増やしてほしい。
- 外国人支援について、生活支援していくのであれば帰化についても勉強して欲しいと思う。
日本で生まれ日本で育っているのに外国人扱いされている人もいることを理解してほしい。
- ガスと電気代を安くしてほしい。

12. 各務原市について（抜粋）

- 各務原市に住んでいることは幸せだと思う。
- 各務原は生活するのに非常に快適だと思う。
- 今回このアンケートを受け取り、市役所が我々外国人のことを忘れずにいてくれることを嬉しく思った。

13. その他／とくになし

IV 日本人市民アンケート調査結果

1. 調査結果のまとめ

①外国人市民に対する意識の変化が求められます。

○外国人市民に対する親しみについては、「親しみを感じる」と「多少親しみを感じる」を合わせた【親しみを感じる計】は19.2%、「あまり親しみを感じない」と「まったく親しみを感じない」を合わせた【親しみを感じない計】は20.3%となっており、【親しみを感じない計】が【親しみを感じる計】を上回る結果となっています。（日本人市民調査：問10/P114）

○外国人市民とのこれからの関わり合いについては、「今くらいの関わりでよい」が51.3%、「関心がない」が18.1%、「あまり関わりたくない」が15.4%となっています。一方「積極的に関わっていききたい」は11.6%と1割台にとどまっています。（日本人市民調査：問17/P121）

○地域に外国人が増えることについては、「文化の違いによるトラブルが心配」が52.9%、「国際理解・異文化理解の機会が増える」が35.8%、「治安が悪化する可能性がある」が35.6%となっており、上位3項目の内2項目は消極的な意見となっています。（日本人市民調査：問12/P116）

○「多文化共生」の認知度については、「考え方まで詳しく知っている」と「概要だけ知っている」を合わせた【内容認知計】は26.1%となっています。また、【内容認知計】と「言葉を聞いたことがある」を合わせた【言葉認知計】は66.6%と6割を超えています。
年代別にみると【内容認知計】【言葉認知計】ともに10～30歳代のスコアが高くなっています。一方、40～80歳代以上の【内容認知計】は2割台にとどまっていることから、今後は「多文化共生」という言葉の周知啓発とともに、内容理解の浸透が必要になってくると考えられます。（日本人市民調査：問18/P122）

②外国人市民とコミュニケーションを取るための、きっかけづくりが必要です。

○外国人市民との相互理解を深めるために地域で必要なことについては、「日常的にあいさつをする」が57.1%、「生活ルール等を外国人市民に知ってもらおう」が54.0%、「差別意識を持たないようにする」が48.5%となっています。

また、外国人市民と共に暮らすために、自分できることについても、「あいさつをするなど気軽に交流をする」が68.1%、「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」が41.1%、「生活習慣やルールを話し合う」が24.0%となっていることから、コミュニケーションをとるきっかけ作りとして、まずは「あいさつをすること」を上げる日本人市民が多く、その延長線上に「文化や習慣の相互理解」が続くという結果となっています。

(日本人市民調査：問16/P120、問21/P125)

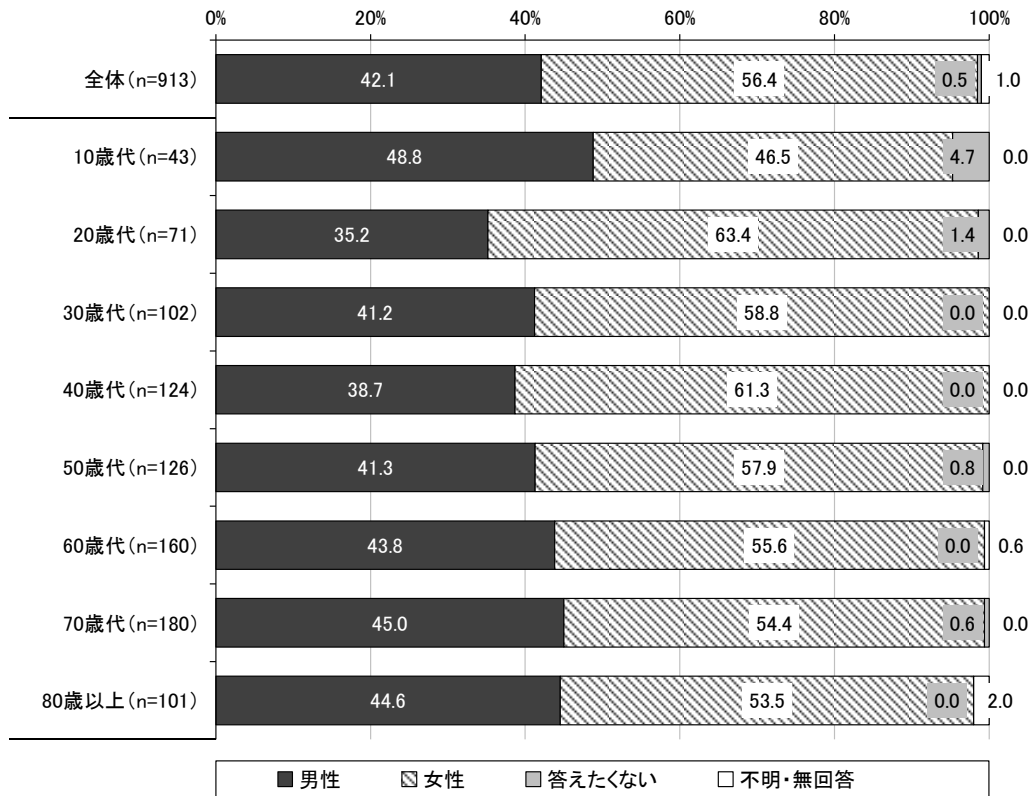
※団体・企業ヒアリングにおいても多文化共生を推進するにあたり、一番大事な項目はコミュニケーションという意見が団体・企業ともに多く、イベントの開催やコミュニティの創出・活性化を求める声が上がっていました。(団体・企業ヒアリング調査： P130)

2. ご自身のことについて

(1) 性別（単数回答）

問1 性別はどれにあてはまりますか。(1つに○)

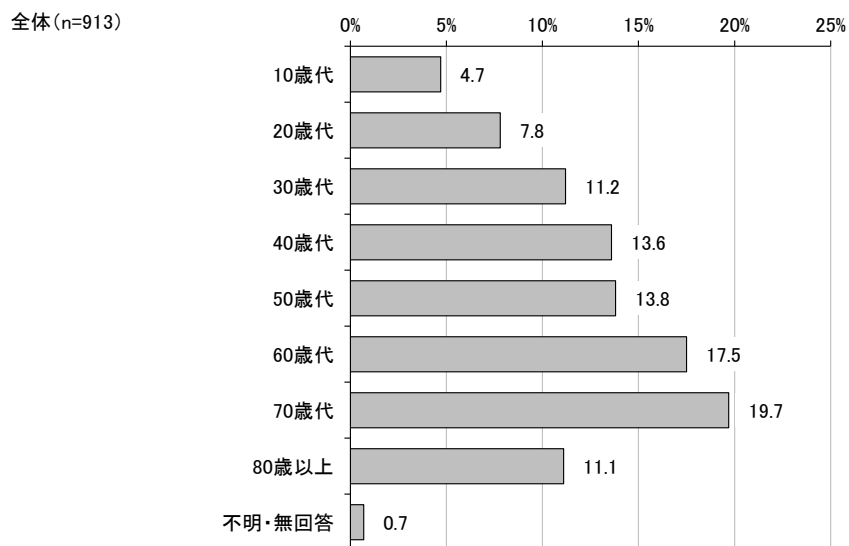
性別についてみると、「男性」が42.1%、「女性」が56.4%、「答えたくない」が0.5%となっています。



(2) 年齢（単数回答）

問2 年齢は次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

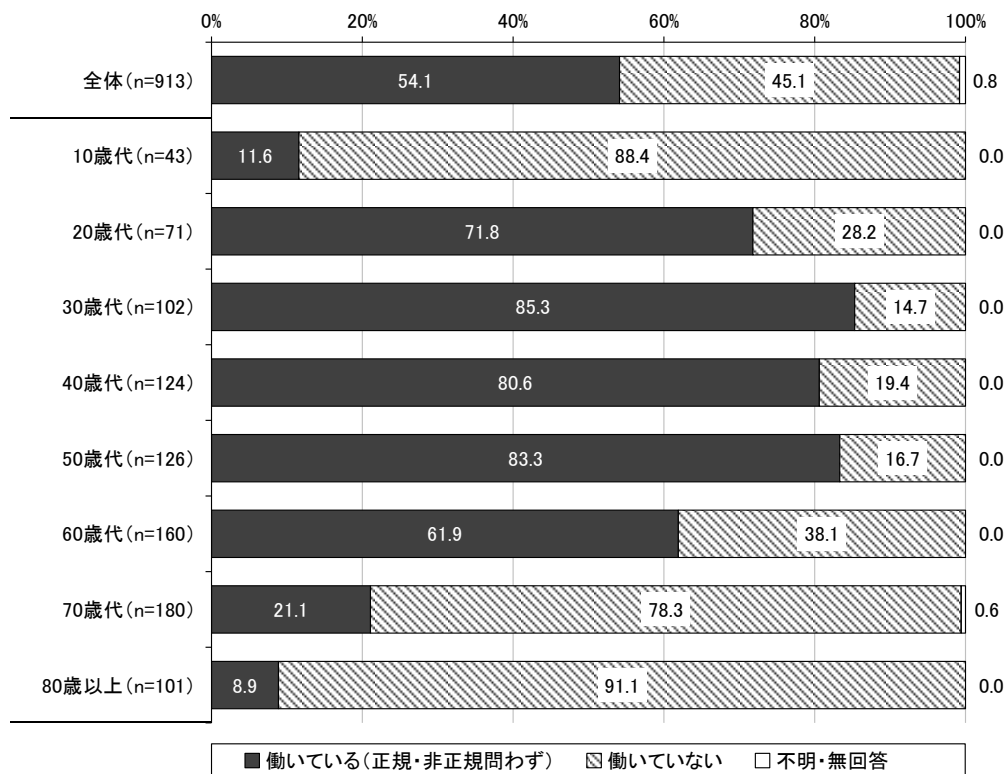
年齢についてみると、「70歳代」が19.7%で最も高く、次いで「60歳代」が17.5%、「50歳代」が13.8%となっています。



(3) 就業の有無 (単数回答)

問3 現在、働いていますか。(1つに○)

就業の有無についてみると、「働いている」が54.1%、「働いていない」が45.1%となっています。



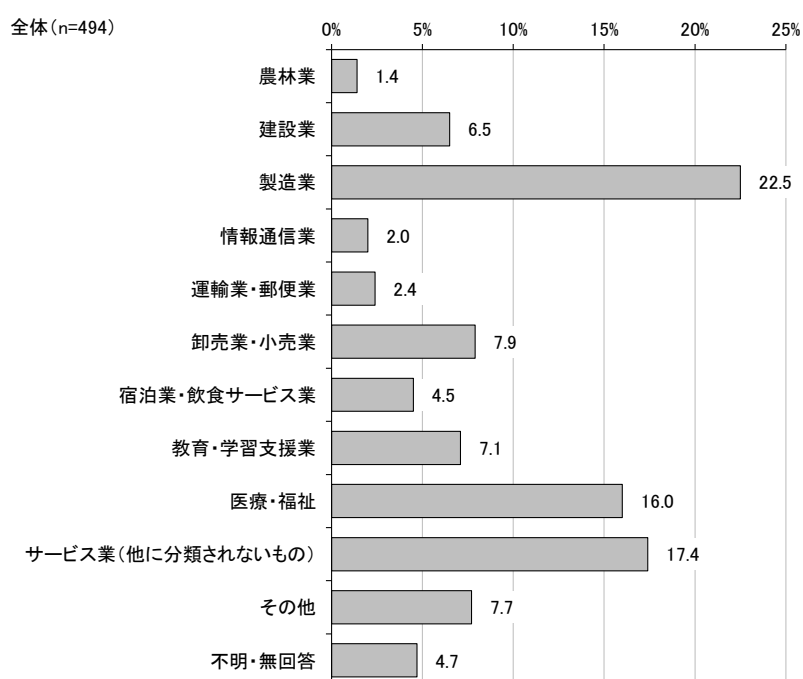
【問3で就業の有無について、「1 働いている」と回答された人のみ】

(4) 職業（単数回答）

問4 どのような業種に就いていますか。(1つに○)

職業についてみると、「製造業」が22.5%で最も高く、次いで「サービス業」が17.4%、「医療・福祉」が16.0%となっています。

年代別にみると、20歳代・70歳代は「サービス業」が最も高く、30～60歳代は「製造業」が最も高くなっています。



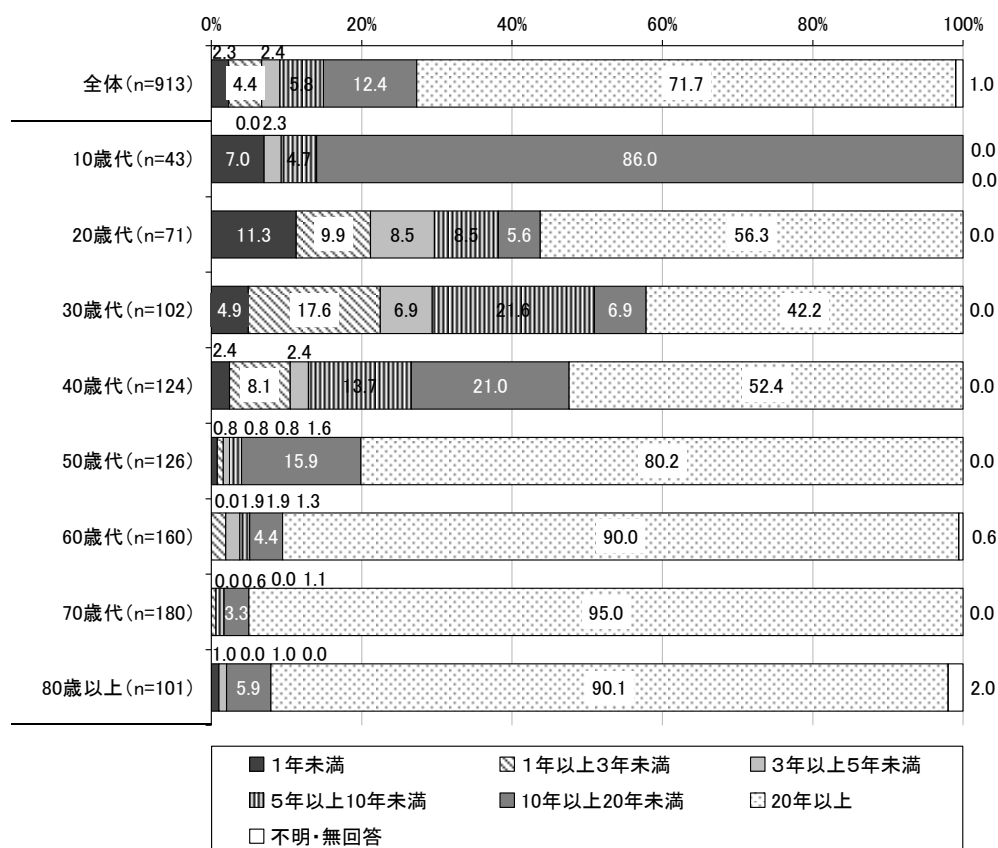
単位: %		農林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	宿泊業・飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉	サービス業(他に分類されないもの)	その他	不明・無回答
全体(n=494)		1.4	6.5	22.5	2.0	2.4	7.9	4.5	7.1	16.0	17.4	7.7	4.7
年齢別	10歳代(n=5)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	20歳代(n=51)	2.0	3.9	19.6	3.9	0.0	3.9	7.8	5.9	15.7	23.5	7.8	5.9
	30歳代(n=87)	0.0	2.3	26.4	2.3	2.3	5.7	1.1	9.2	25.3	16.1	6.9	2.3
	40歳代(n=100)	1.0	6.0	26.0	1.0	3.0	8.0	4.0	9.0	17.0	13.0	4.0	8.0
	50歳代(n=105)	1.9	8.6	21.0	3.8	1.9	12.4	4.8	6.7	15.2	12.4	6.7	4.8
	60歳代(n=99)	0.0	9.1	23.2	1.0	3.0	6.1	5.1	8.1	10.1	19.2	11.1	4.0
	70歳代(n=38)	2.6	10.5	10.5	0.0	5.3	10.5	2.6	0.0	13.2	26.3	15.8	2.6
	80歳以上(n=9)	22.2	0.0	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0

(5) 各務原市の居住年数（単数回答）

問5 各務原市に通算で何年くらい住んでいますか。(1つに○)

各務原市の居住年数についてみると、「20年以上」が71.7%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が12.4%、「5年以上10年未満」が5.8%となっています。

年代別にみると、50歳代以上は「20年以上」が8割以上と高くなっています。

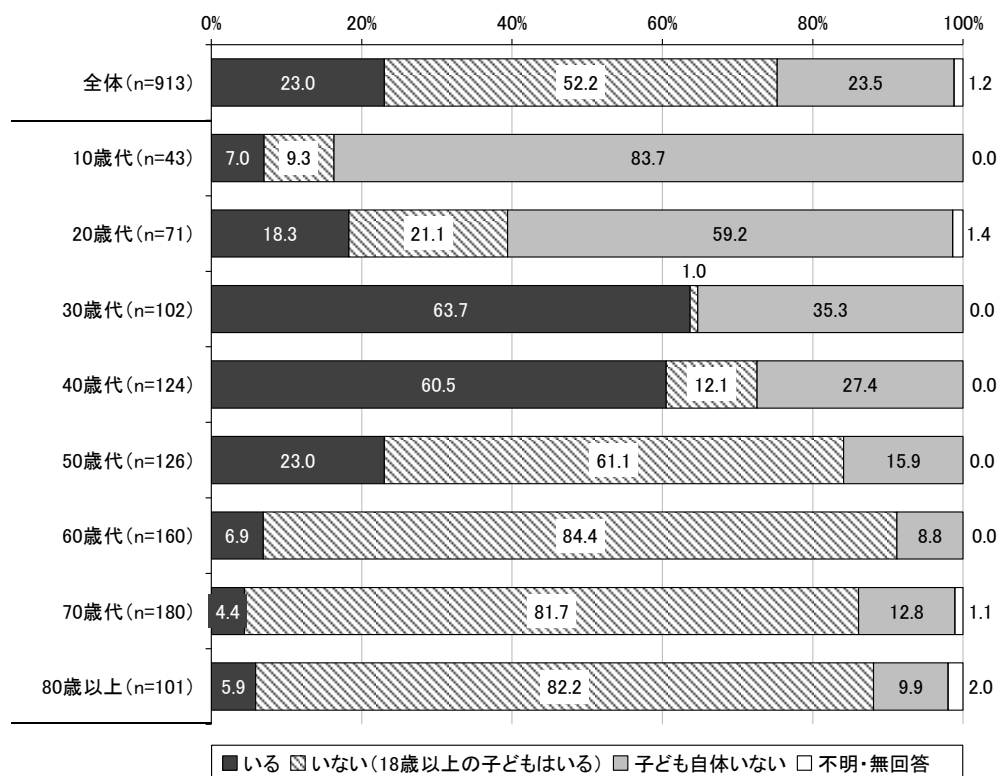


(6) 子ども（18歳未満）の有無（単数回答）

問6 18歳未満の子どもはいますか。(1つに○)

18歳未満の子供の有無についてみると、「いない（18歳以上の子供はいる）」が52.2%で最も高く、次いで「子ども自体いない」が23.5%、「いる」が23.0%となっています。

年代別にみると、30～40歳代は「いる」が6割を超えています。

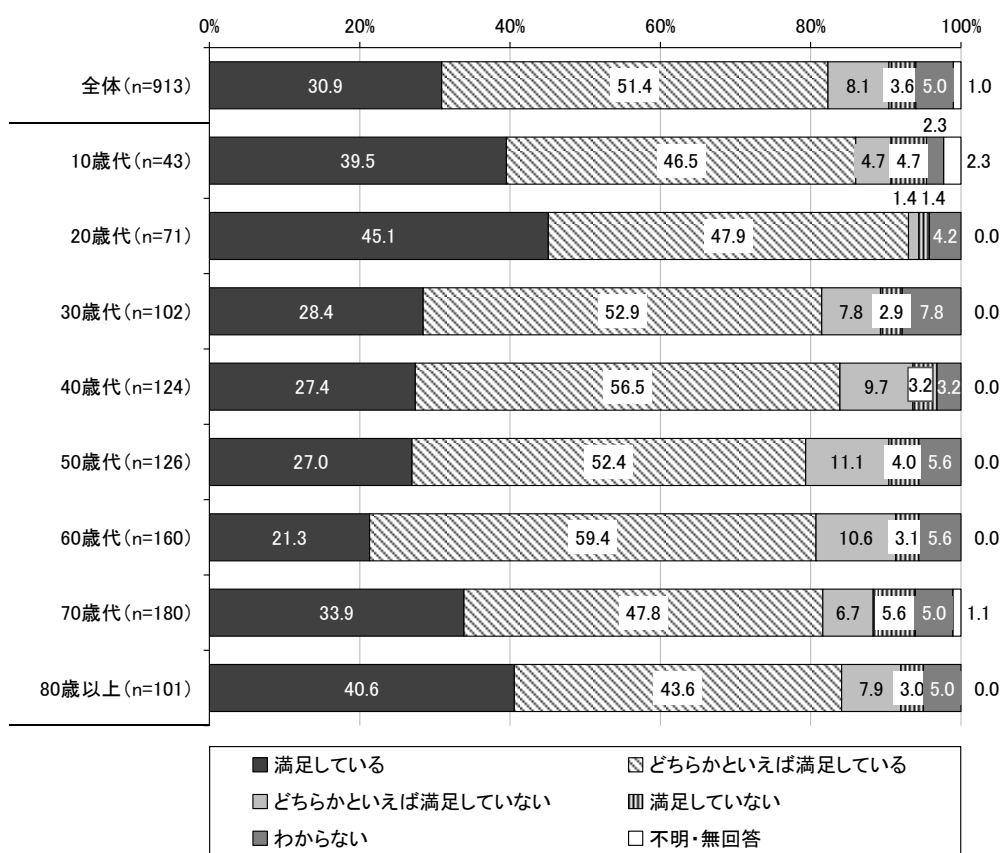


(7) 各務原市での生活における満足度（単数回答）

問7 各務原市での生活に満足していますか。(1つに○)

各務原市での生活における満足度についてみると、「どちらかと言えば満足している」が51.4%で最も高く、次いで「満足している」が30.9%、「どちらかと言えば満足していない」が8.1%となっており、「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた【満足計】は82.3%と8割を超えています。

年代別にみると【満足計】は20歳代（93.0%）が最も高く、次いで10歳代（86.0%）、80歳代（84.2%）となっており、なかでも20歳代・80歳代は「満足している」が4割台と高くなっています。

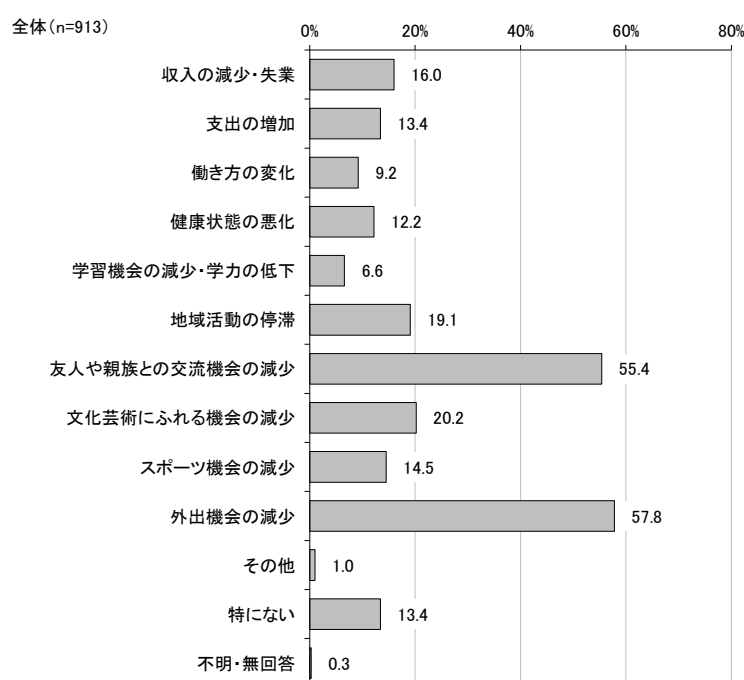


(8) 新型コロナウイルス感染症の影響による困り事・心配事（複数回答）

問8 新型コロナウイルス感染症の影響で、困っていることや心配なことはありますか。（○はいくつでも）

新型コロナウイルス感染症の影響による困り事・心配事についてみると、「外出機会の減少」が57.8%で最も高く、次いで「友人や親族との交流機会の減少」が55.4%、「文化芸術にふれる機会の減少」が20.2%となっています。

年代別にみると、10歳代・40歳代は「友人や親族との交流機会の減少」が最も高く、20～30歳代と50歳代以上は「外出機会の減少」が最も高くなっています。また、20～50歳代は「収入の減少・失業」、60歳代以上は「地域活動の停滞」がともに2割台と他の年代に比べて高くなっています。



単位：%		収入の減少・失業	支出の増加	働き方の変化	健康状態の悪化	学習機会の減少・学力の低下	地域活動の停滞	友人や親族との交流機会の減少	文化芸術にふれる機会の減少	スポーツ機会の減少	外出機会の減少	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=913)		16.0	13.4	9.2	12.2	6.6	19.1	55.4	20.2	14.5	57.8	1.0	13.4	0.3
年齢別	10歳代 (n=43)	4.7	4.7	2.3	0.0	16.3	14.0	44.2	16.3	18.6	39.5	0.0	32.6	0.0
	20歳代 (n=71)	21.1	8.5	12.7	11.3	12.7	8.5	53.5	12.7	18.3	54.9	1.4	11.3	0.0
	30歳代 (n=102)	23.5	18.6	18.6	10.8	11.8	11.8	65.7	18.6	16.7	67.6	1.0	3.9	0.0
	40歳代 (n=124)	23.4	19.4	15.3	12.1	13.7	15.3	57.3	25.0	16.1	54.8	0.0	8.1	0.0
	50歳代 (n=126)	24.6	19.8	13.5	11.1	5.6	17.5	50.0	17.5	11.1	53.2	0.0	12.7	0.0
	60歳代 (n=160)	15.0	15.0	8.8	8.1	1.9	22.5	55.0	26.3	10.6	58.1	1.3	13.1	0.6
	70歳代 (n=180)	8.3	6.7	2.8	14.4	2.8	26.7	58.9	18.9	17.2	62.2	2.8	14.4	0.0
	80歳以上 (n=101)	5.0	8.9	0.0	23.8	0.0	23.8	50.5	18.8	10.9	59.4	0.0	21.8	1.0

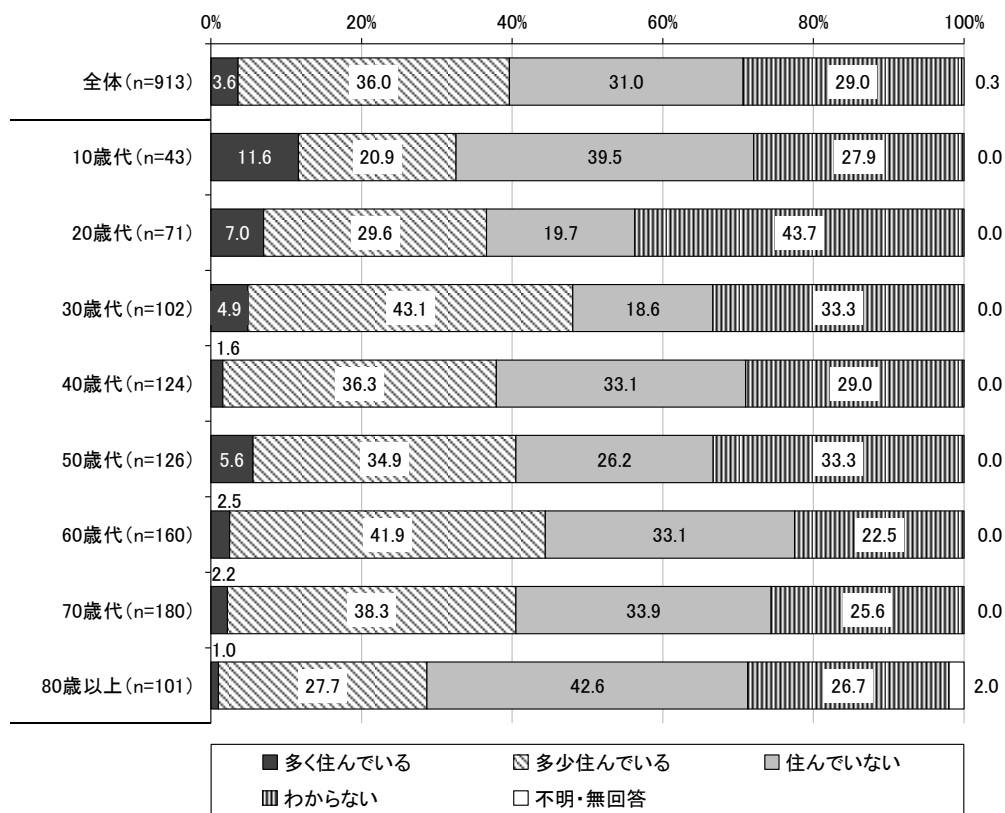
3. 外国人市民への理解や交流について

(9) 近隣における外国人市民の居住の有無（単数回答）

問9 近隣に外国人市民の方は住んでいますか(1つに○)

近隣における外国人市民の居住の有無についてみると、「多少住んでいる」が36.0%で最も高く、次いで「住んでいない」が31.0%、「わからない」が29.0%となっています。

年代別にみると、80歳以上では「住んでいない」が42.6%と4割を超えており、外国人市民との接点が少ない環境であることが伺えます。

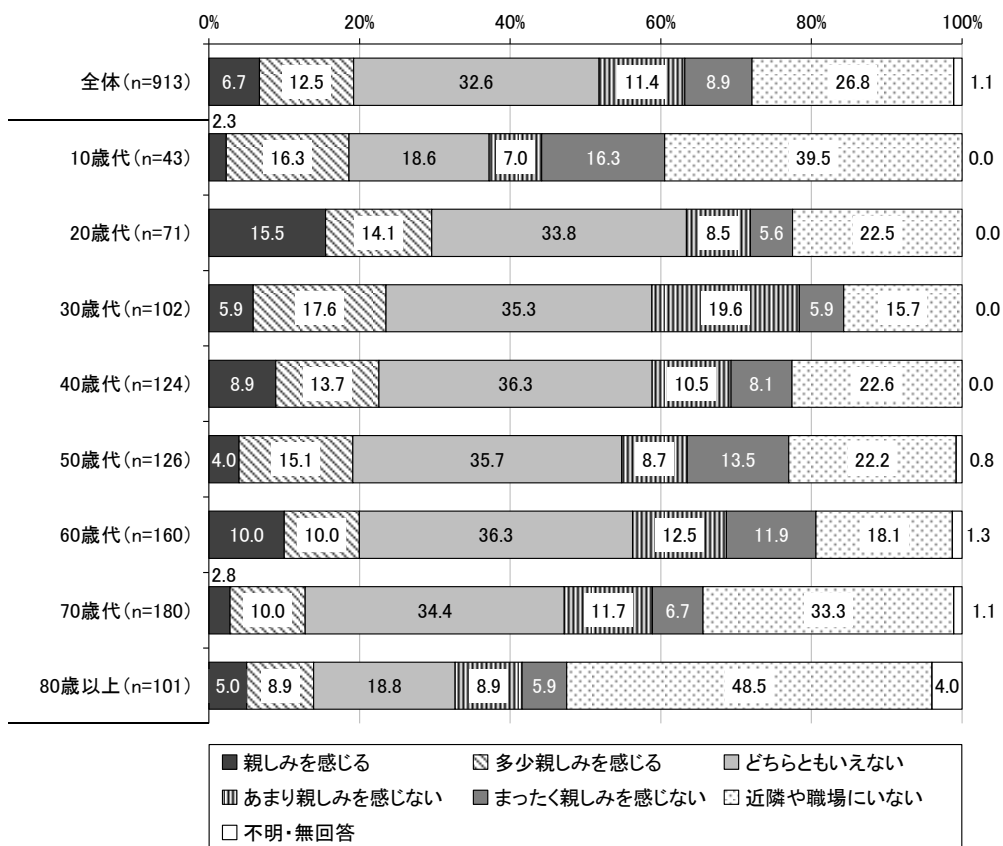


(10) 外国人市民に対する親しみについて（単数回答）

問 10 近隣や職場などにいる外国人市民に親しみを感じますか。（1つに○）

外国人市民に対する親しみについてみると、「どちらともいえない」が32.6%で最も高く、次いで「近隣や職場にいない」が26.8%、「多少親しみを感じる」が12.5%となっており、「親しみを感じる」と「多少親しみを感じる」を合わせた【親しみを感じる計】は19.2%、「あまり親しみを感じない」と「まったく親しみを感じない」を合わせた【親しみを感じない計】は20.3%となっています。

年代別に【親しみを感じる計】と【親しみを感じない計】のスコアを比較すると、20歳代・40歳代は【親しみを感じる計】が高く、10歳代・30歳代・50歳代以上は【親しみを感じない計】が高くなっています。

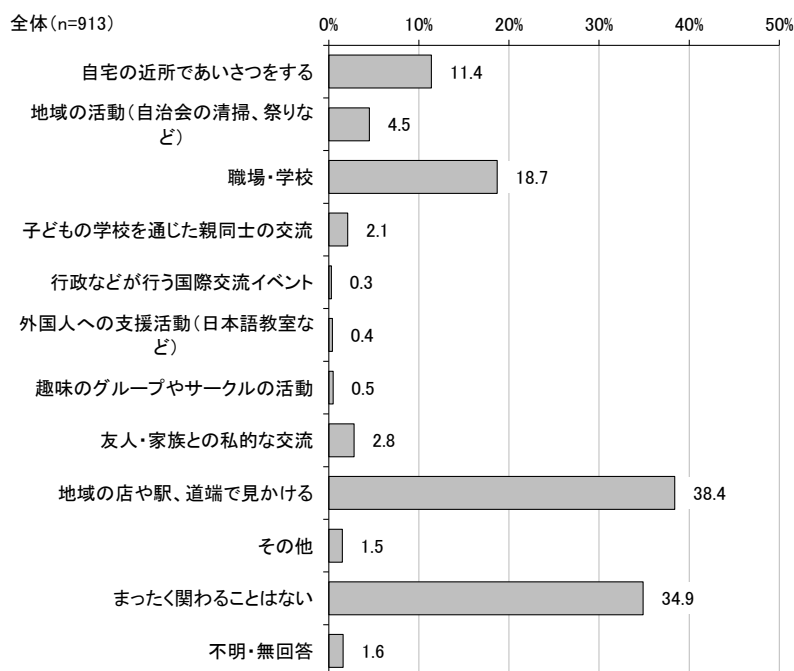


(11) 外国人市民と関わる場面について（複数回答）

問 11 日ごろ外国人市民と関わるのはどのような場面ですか。（〇はいくつでも）

外国人市民と関わる場面についてみると、「地域の店や駅、道端で見かける」が38.4%で最も高く、次いで「まったく関わることはない」が34.9%、「職場・学校」が18.7%となっています。

年代別にみると、10歳代・60歳代・80歳以上は「まったく関わることはない」が最も高く、20～50歳代・70歳代は「地域の店や駅、道端で見かける」が最も高くなっています。10歳代は「職場・学校」も34.9%と他の年代と比べて高くなっています。



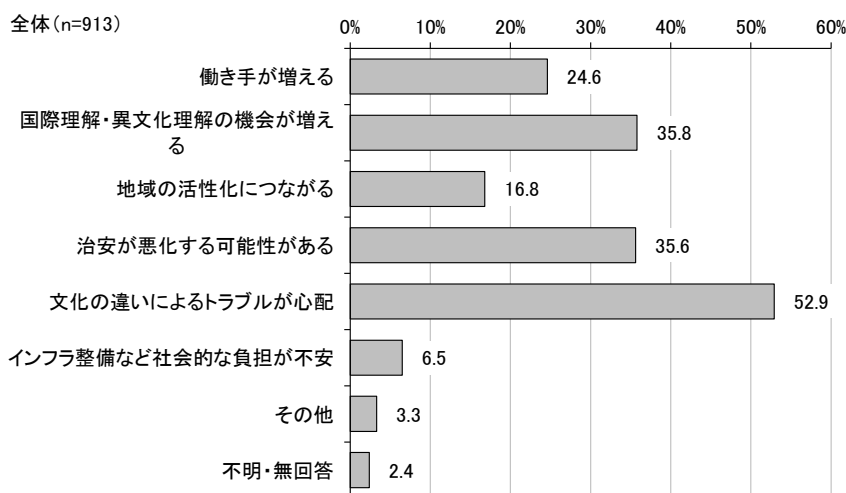
単位: %		自宅の近所であいさつをする	地域の活動(自治会の清掃、祭りなど)	職場・学校	子どもの学校を通じた親同士の交流	行政などが行う国際交流イベント	外国人への支援活動(日本語教室など)	趣味のグループやサークルの活動	友人・家族との私的な交流	地域の店や駅、道端で見かける	その他	まったく関わることはない	不明・無回答
全体 (n=913)		11.4	4.5	18.7	2.1	0.3	0.4	0.5	2.8	38.4	1.5	34.9	1.6
年齢別	10歳代 (n=43)	7.0	0.0	34.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	30.2	0.0	39.5	0.0
	20歳代 (n=71)	11.3	2.8	25.4	0.0	2.8	0.0	2.8	4.2	40.8	1.4	25.4	0.0
	30歳代 (n=102)	12.7	3.9	26.5	8.8	1.0	2.0	1.0	2.9	45.1	2.9	30.4	0.0
	40歳代 (n=124)	6.5	2.4	25.8	6.5	0.0	0.0	0.8	3.2	33.9	1.6	31.5	0.0
	50歳代 (n=126)	11.1	3.2	27.8	1.6	0.0	0.0	0.0	2.4	46.0	1.6	23.8	0.8
	60歳代 (n=160)	11.9	4.4	21.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	33.1	0.6	36.3	1.9
	70歳代 (n=180)	15.0	8.3	4.4	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2	41.7	1.1	41.1	2.8
	80歳以上 (n=101)	11.9	5.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	33.7	3.0	48.5	5.0

(12) 地域に外国人が増えることについて（複数回答）

問 12 地域に外国人が増えることをどのように思いますか。（○はいくつでも）

地域に外国人が増えることについてみると、「文化の違いによるトラブルが心配」が52.9%で最も高く、次いで「国際理解・異文化理解の機会が増える」が35.8%、「治安が悪化する可能性がある」が35.6%となっています。

年代別にみると、10～20歳代は「国際理解・異文化理解の機会が増える」が最も高く、30歳代以上は「文化の違いによるトラブルが心配」が最も高くなっていることから、地域に外国人が増えることについて比較的前向きな若年層に対し、30歳代以上は不安が先になる傾向が伺えます。



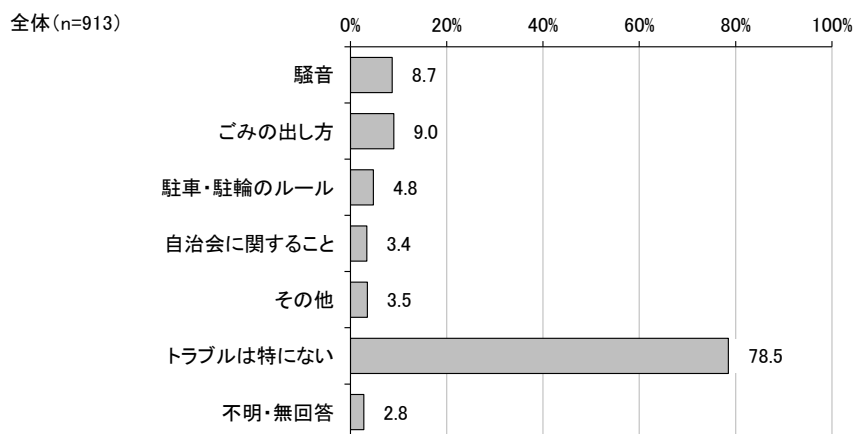
単位：%		働き手が増える	国際理解・異文化理解の機会が増える	地域の活性化につながる	治安が悪化する可能性がある	文化の違いによるトラブルが心配	インフラ整備など社会的な負担が不安	その他	不明・無回答
全体 (n=913)		24.6	35.8	16.8	35.6	52.9	6.5	3.3	2.4
年齢別	10歳代 (n=43)	34.9	55.8	14.0	20.9	41.9	9.3	2.3	2.3
	20歳代 (n=71)	29.6	56.3	25.4	29.6	47.9	4.2	2.8	0.0
	30歳代 (n=102)	27.5	46.1	18.6	35.3	62.7	7.8	2.0	0.0
	40歳代 (n=124)	21.0	41.9	12.9	37.1	56.5	8.1	2.4	0.8
	50歳代 (n=126)	20.6	31.7	13.5	34.9	59.5	4.8	5.6	1.6
	60歳代 (n=160)	28.1	33.8	14.4	36.3	58.1	5.6	3.1	1.9
	70歳代 (n=180)	20.0	25.0	18.3	41.7	50.0	6.7	3.9	3.3
	80歳以上 (n=101)	24.8	22.8	18.8	31.7	36.6	6.9	3.0	7.9

(13) 外国人市民とのトラブルの経験（複数回答）

問 13 外国人市民との間で次のトラブルの経験はありますか。（1つに○）

外国人市民とのトラブルの経験についてみると、「トラブルは特にはない」が78.5%で最も高く、次いで「ごみの出し方」が9.0%、「騒音」が8.7%となっています。

年代別にみると、10～20歳代は「特にはない」が9割以上となっています。一方、30～50歳代は「騒音」、60歳代以上は「ごみの出し方」によるトラブルの経験が1割以上となっています。



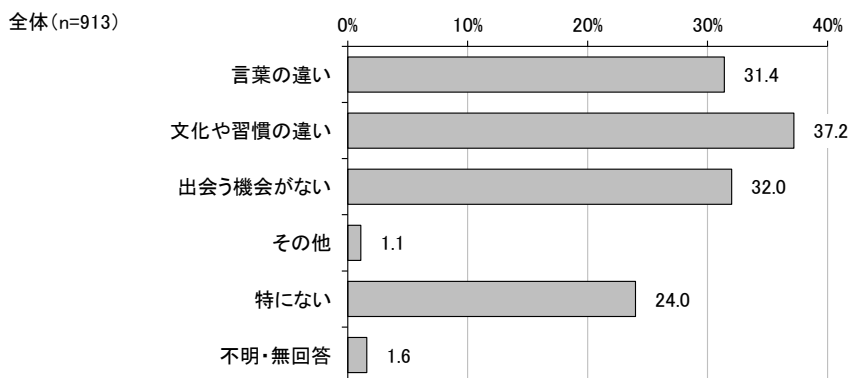
単位：%		騒音	ごみの出し方	駐車・駐輪のルール	自治会に関すること	その他	トラブルは特にはない	不明・無回答
全体 (n=913)		8.7	9.0	4.8	3.4	3.5	78.5	2.8
年齢別	10歳代 (n=43)	2.3	0.0	7.0	0.0	2.3	93.0	0.0
	20歳代 (n=71)	5.6	1.4	0.0	1.4	0.0	93.0	0.0
	30歳代 (n=102)	12.7	8.8	7.8	2.9	5.9	79.4	1.0
	40歳代 (n=124)	13.7	8.1	4.0	0.8	6.5	74.2	1.6
	50歳代 (n=126)	10.3	7.1	5.6	4.0	6.3	80.2	1.6
	60歳代 (n=160)	9.4	13.8	6.3	6.3	1.9	75.0	1.9
	70歳代 (n=180)	7.2	10.6	4.4	3.3	3.3	73.3	6.1
	80歳以上 (n=101)	3.0	10.9	3.0	4.0	0.0	80.2	5.9

(14) 外国人市民との交流における課題（複数回答）

問 14 外国人市民との交流で課題に思うこと(課題になったこと)はありますか。(〇はいくつでも)

外国人市民との交流における課題についてみると、「文化や習慣の違い」が37.2%で最も高く、次いで「出会う機会がない」が32.0%、「言葉の違い」が31.4%となっています。

年代別にみると、10歳代は「特にない」が最も高く、20歳代は「言葉の違い」、30～60歳代は「文化や習慣の違い」、70歳代以上は「出会う機会がない」が最も高くなっています。



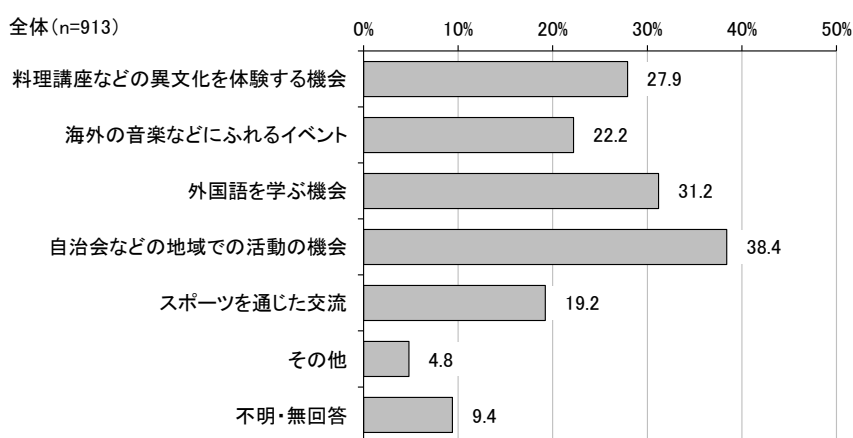
単位: %		言葉の違い	文化や習慣の違い	出会う機会がない	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=913)		31.4	37.2	32.0	1.1	24.0	1.6
年齢別	10歳代 (n=43)	32.6	27.9	30.2	0.0	41.9	0.0
	20歳代 (n=71)	53.5	40.8	21.1	1.4	19.7	0.0
	30歳代 (n=102)	40.2	47.1	29.4	1.0	15.7	0.0
	40歳代 (n=124)	29.0	46.0	27.4	2.4	18.5	0.0
	50歳代 (n=126)	42.1	52.4	25.4	0.8	15.9	0.8
	60歳代 (n=160)	26.9	37.5	31.3	0.6	25.0	1.3
	70歳代 (n=180)	23.3	29.4	40.6	0.6	29.4	3.9
	80歳以上 (n=101)	18.8	14.9	43.6	2.0	33.7	2.0

(15) 外国人市民との相互理解を深めるために必要な機会について（複数回答）

問 15 外国人市民との相互理解を深めるためにどのような機会があればよいと思いますか。（〇はいくつでも）

外国人市民との相互理解を深めるために必要な機会についてみると、「自治会などの地域での活動の機会」が38.4%で最も高く、次いで「外国語を学ぶ機会」が31.2%、「料理講座などの異文化を体験する機会」が27.9%となっています。

年代別にみると、10歳代・60～80歳以上は「自治会などの地域での活動の機会」が最も高く、20～50歳代は「外国語を学ぶ機会」が最も高くなっています。



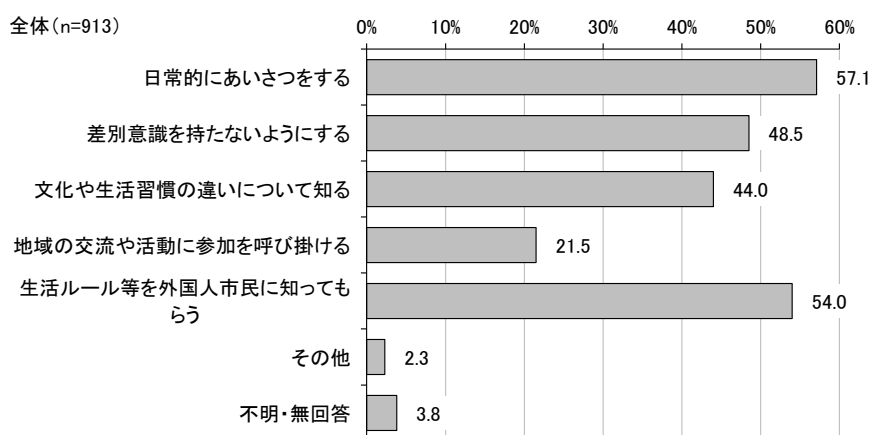
単位：%		料理講座などの異文化を体験する機会	海外の音楽などにふれるイベント	外国語を学ぶ機会	自治会などの地域での活動の機会	スポーツを通じた交流	その他	不明・無回答
全体 (n=913)		27.9	22.2	31.2	38.4	19.2	4.8	9.4
年齢別	10歳代 (n=43)	25.6	25.6	34.9	41.9	25.6	2.3	2.3
	20歳代 (n=71)	35.2	29.6	47.9	31.0	22.5	0.0	4.2
	30歳代 (n=102)	32.4	25.5	42.2	27.5	21.6	3.9	4.9
	40歳代 (n=124)	33.1	28.2	43.5	29.8	16.1	6.5	4.8
	50歳代 (n=126)	34.1	25.4	36.5	34.1	17.5	4.8	7.1
	60歳代 (n=160)	29.4	18.1	25.6	43.8	20.6	5.6	7.5
	70歳代 (n=180)	21.1	19.4	19.4	47.2	18.9	4.4	17.8
	80歳以上 (n=101)	15.8	12.9	15.8	44.6	16.8	7.9	14.9

(16) 外国人市民との相互理解を深めるために地域で必要なこと（複数回答）

問 16 外国人市民との相互理解を深めるために地域で必要と思うことはありますか。（○はいくつでも）

外国人市民との相互理解を深めるために地域で必要なことについてみると、「日常的にあいさつをする」が57.1%で最も高く、次いで「生活ルール等を外国人市民に知ってもらう」が54.0%、「差別意識を持たないようにする」が48.5%となっています。

年代別にみると、10歳代は「差別意識を持たないようにする」が最も高く、20～30歳代・70～80歳以上は「日常的にあいさつをする」、40～60歳代は「生活ルール等を外国人市民に知ってもらう」が最も高くなっています。



単位: %		日常的にあいさつをする	差別意識を持たないようにする	文化や生活習慣の違いについて知る	地域の交流や活動に参加を呼び掛ける	生活ルール等を外国人市民に知ってもらう	その他	不明・無回答
全体 (n=913)		57.1	48.5	44.0	21.5	54.0	2.3	3.8
年齢別	10歳代 (n=43)	55.8	62.8	44.2	14.0	39.5	0.0	2.3
	20歳代 (n=71)	63.4	53.5	53.5	26.8	47.9	0.0	0.0
	30歳代 (n=102)	59.8	47.1	53.9	17.6	58.8	2.0	1.0
	40歳代 (n=124)	53.2	41.9	50.8	18.5	54.8	2.4	1.6
	50歳代 (n=126)	52.4	46.8	47.6	18.3	63.5	1.6	0.8
	60歳代 (n=160)	57.5	48.1	43.8	26.3	58.1	4.4	3.1
	70歳代 (n=180)	60.6	52.2	36.1	22.8	53.3	1.1	7.8
	80歳以上 (n=101)	54.5	44.6	28.7	20.8	41.6	5.0	7.9

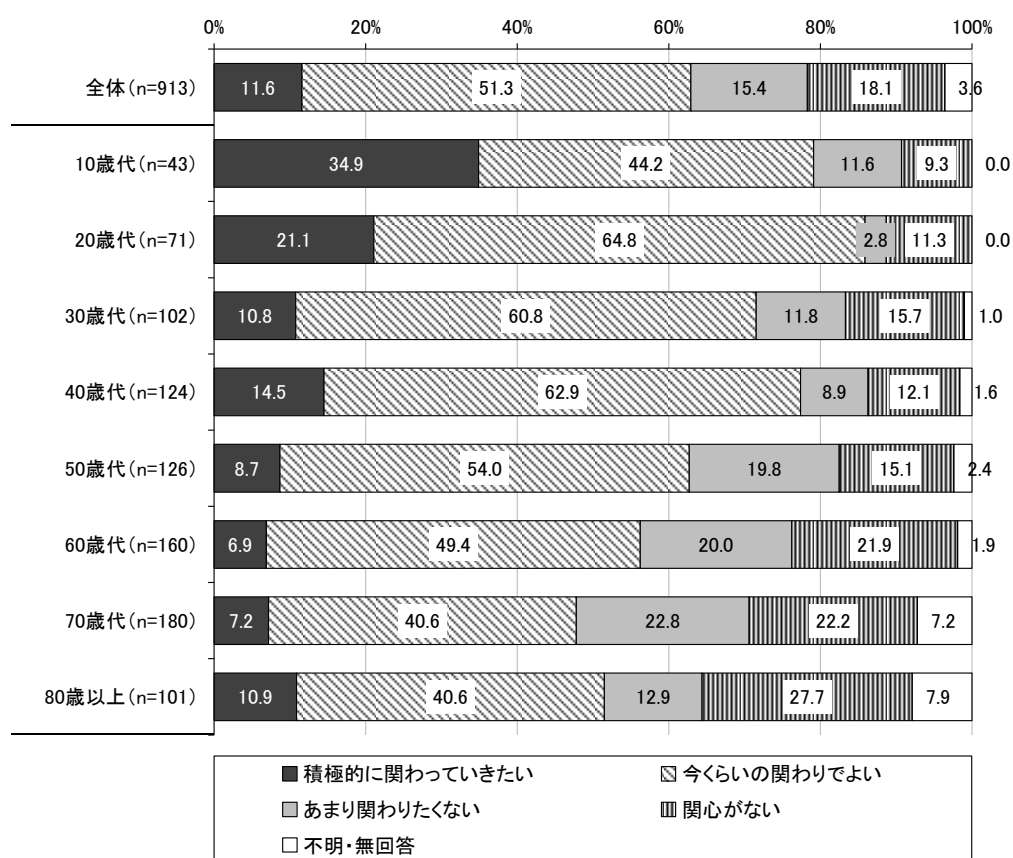
(17) 外国人市民とのこれからの関わり合い（単数回答）

問 17 外国人市民とこれからどのように関わっていきたいですか。（1つに○）

外国人市民とのこれからの関わり合いについてみると、「今くらいの関わりでよい」が51.3%で最も高く、次いで「関心がない」が18.1%、「あまり関わりたくない」が15.4%となっています。

年代別にみると「積極的に関わっていきたい」は10歳代が34.9%、20歳代が21.1%と高くなっています。

「あまり関わりたくない」では50～70歳代が2割前後、「関心がない」では60～80歳以上が2割台と高く、年代が上がるにつれて外国人市民への関心が薄くなる傾向が見受けられます。



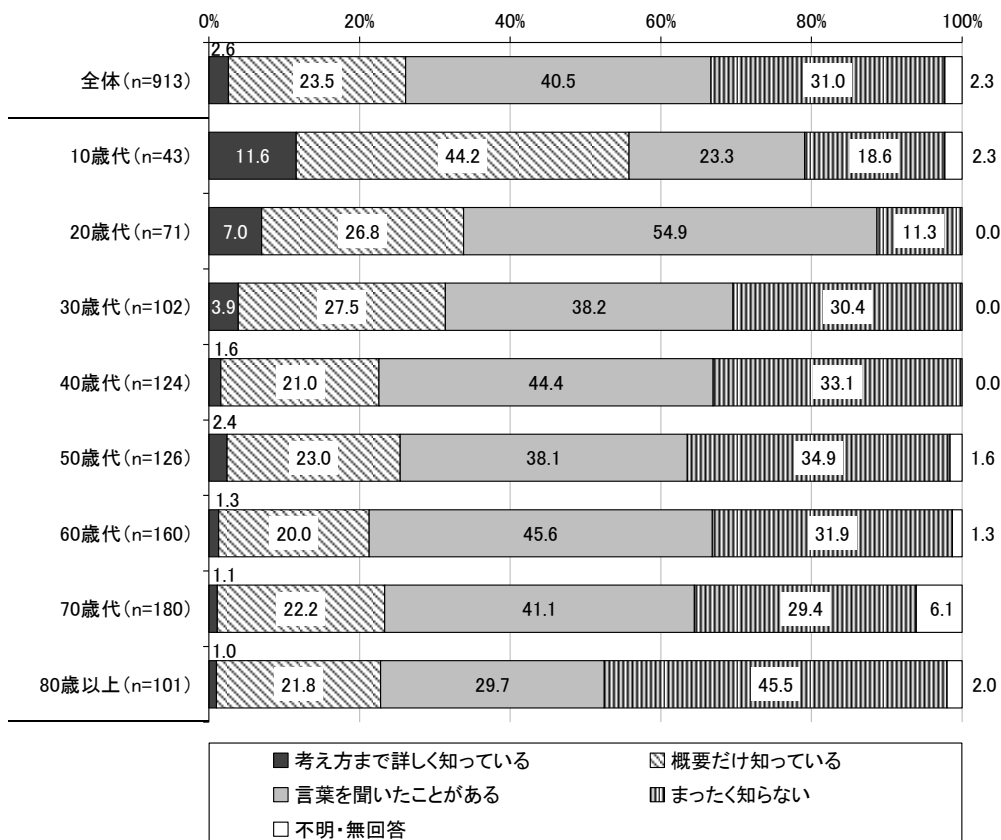
4. 多文化共生のまちづくりについて

(18) 「多文化共生」の認知度（単数回答）

問 18 「多文化共生」という言葉・考え方をどの程度知っていますか。（1つに○）

「多文化共生」の認知度についてみると、「言葉を聞いたことがある」が40.5%で最も高く、次いで「まったく知らない」が31.0%、「概要だけ知っている」が23.5%となっており、「考え方まで詳しく知っている」と「概要だけ知っている」を合わせた【内容認知計】は26.1%となっています。また、【内容認知計】と「言葉を聞いたことがある」を合わせた【言葉認知計】は66.6%と6割を超えています。

年代別にみると【内容認知計】【言葉認知計】ともに10～30歳代のスコアが高く、10歳代の【内容認知計】は55.8%と半数を超えています。一方、40～80歳代以上の【内容認知計】は2割台にとどまっています。【言葉認知計】ではどの年代においても5割を超えていることから「多文化共生」という言葉の周知啓発とともに、内容理解の浸透が今後必要になると考えられます。

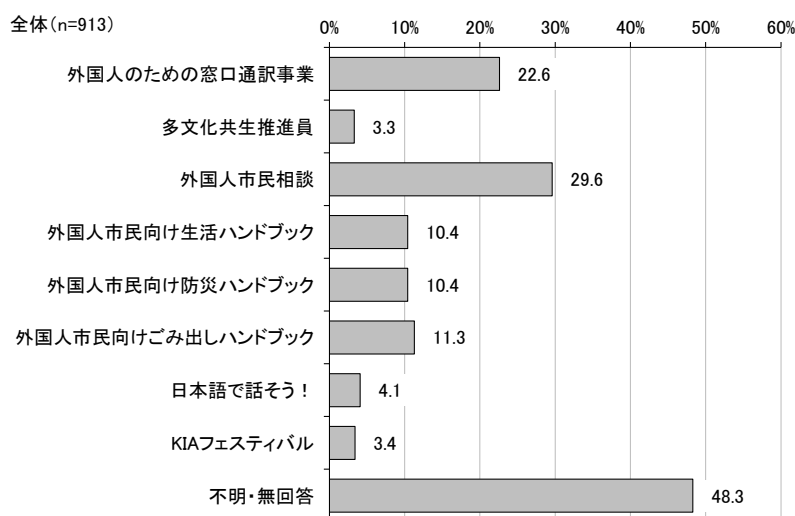


(19) 「多文化共生」に関する市のサービスの認知度（複数回答）

問 19 市で行っている以下のサービスについて知っていますか。(○はい/△は多少/×はいくつでも)

「多文化共生」に関する市のサービスの認知度についてみると、「外国人市民相談」が29.6%で最も高く、次いで「外国人の為の窓口通訳事業」が22.6%、「外国人市民向けごみ出しハンドブック」が11.3%となっています。

年代別にみると、10～20歳代・50～80歳以上は「外国人市民相談」が最も高く、30～40歳代は「外国人の為の窓口通訳事業」が最も高くなっています。



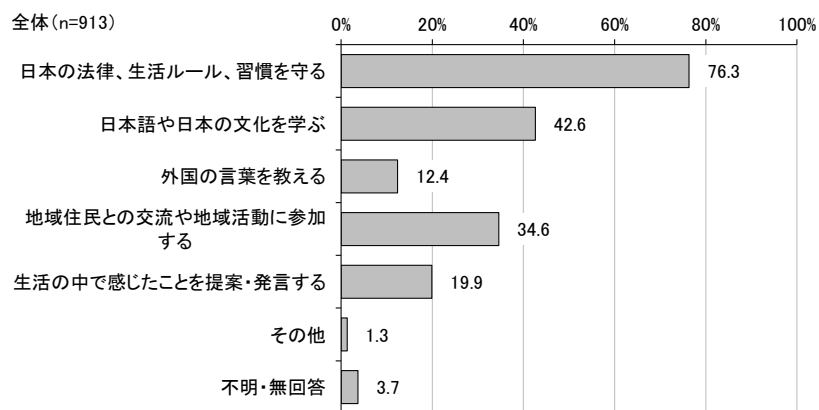
単位: %		外国人のための窓口通訳事業	多文化共生推進員	外国人市民相談	外国人市民向け生活ハンドブック	外国人市民向け防災ハンドブック	外国人市民向けごみ出しハンドブック	日本語で話そう!	KIAフェスティバル	不明・無回答
全体 (n=913)		22.6	3.3	29.6	10.4	10.4	11.3	4.1	3.4	48.3
年齢別	10歳代 (n=43)	7.0	2.3	32.6	4.7	7.0	2.3	7.0	2.3	46.5
	20歳代 (n=71)	11.3	1.4	18.3	5.6	11.3	7.0	7.0	0.0	57.7
	30歳代 (n=102)	23.4	1.0	20.6	10.8	6.9	10.8	2.9	1.0	52.9
	40歳代 (n=124)	33.1	0.8	28.2	12.1	13.7	12.9	3.2	5.6	41.1
	50歳代 (n=126)	19.8	4.8	33.3	8.7	11.1	8.7	1.6	4.0	50.8
	60歳代 (n=160)	23.8	3.8	34.4	14.4	11.9	14.4	3.1	5.0	45.0
	70歳代 (n=180)	21.1	2.8	35.0	11.1	12.2	14.4	5.6	3.3	44.4
	80歳以上 (n=101)	20.8	7.9	24.8	6.9	5.0	8.9	4.0	3.0	55.4

(20) 外国人市民と共に暮らすために、外国人市民に期待すること（複数回答）

問 20 外国人市民と共に暮らすために、外国人市民にどのようなことを期待しますか。（○はいくつでも）

外国人市民に期待することについてみると、「日本の法律、生活ルール、習慣を守る」が76.3%で最も高く、次いで「日本語や日本の文化を学ぶ」が42.6%、「地域住民との交流や地域活動に参加する」が34.6%となっています。

年代別にみると、どの年代においても「日本の法律、生活ルール、習慣を守る」が最も高くなっています。また、20歳代では「生活の中で感じたことを提案・発言する」が3割台と他の年代と比べて高く、50歳代以上では「地域住民との交流や地域活動に参加する」が3～4割台と高くなっています。



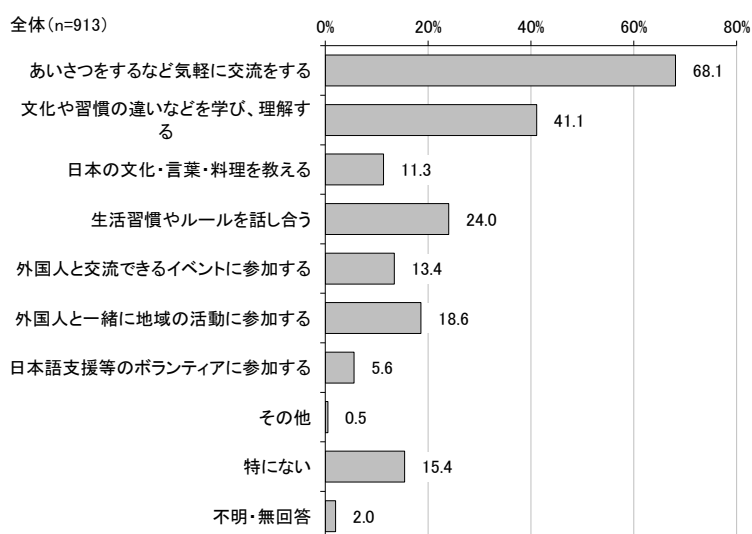
単位：%		慣を 守る	日本 の法 律、 生 活 ル ー ル、 習 慣	日 本 語 や 日 本 の 文 化 を 学 ぶ	外 国 の 言 葉 を 教 え る	に 地 域 住 民 と の 交 流 や 地 域 活 動 に 参 加 す る	生 活 の 中 で 感 じ た こ と を 提 案 ・ 発 言 す る	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=913)		76.3	42.6	12.4	34.6	19.9	1.3	3.7	
年 齢 別	10歳代 (n=43)	55.8	46.5	11.6	23.3	18.6	0.0	2.3	
	20歳代 (n=71)	77.5	49.3	16.9	23.9	32.4	0.0	0.0	
	30歳代 (n=102)	76.5	52.0	13.7	27.5	25.5	2.0	2.0	
	40歳代 (n=124)	77.4	46.0	25.8	25.8	17.7	2.4	3.2	
	50歳代 (n=126)	81.7	42.1	8.7	33.3	22.2	1.6	4.0	
	60歳代 (n=160)	78.8	38.8	6.9	39.4	14.4	0.6	3.1	
	70歳代 (n=180)	78.3	41.7	8.9	43.9	15.0	0.6	5.0	
	80歳以上 (n=101)	70.3	31.7	11.9	41.6	22.8	3.0	5.0	

(21) 外国人市民と共に暮らすために、自分ができること（複数回答）

問 21 外国人市民と共に暮らすために、自分ができることは何だと思えますか。（○はいくつでも）

自分ができることについてみると、「あいさつをするなど気軽に交流をする」が68.1%で最も高く、次いで「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」が41.1%、「生活習慣やルールを話し合う」が24.0%となっています。

年代別にみると、どの年代においても「あいさつをするなど気軽に交流をする」が最も高くなっています。また、「文化や習慣の違いなどを学び、理解する」では、年齢が上がるにつれてそのスコアは低くなる傾向が見受けられます。一方、「外国人と一緒に地域の活動に参加する」では60歳代以上のスコアが2割台と他の年代と比べて高くなっています。



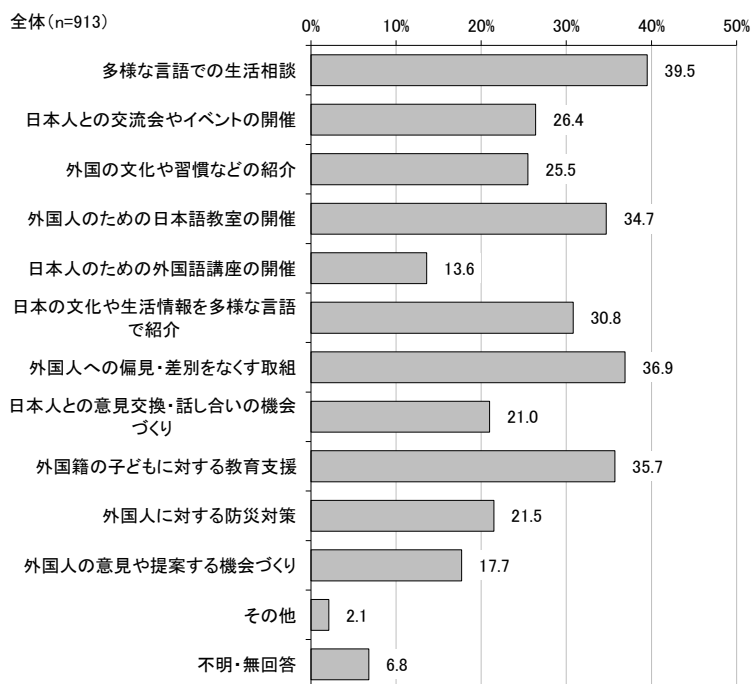
単位: %		あいさつをするなど気軽に交流をする	文化や習慣の違いなどを学び、理解する	日本の文化・言葉・料理を教える	生活習慣やルールを話し合う	外国人と交流できるイベントに参加する	外国人と一緒に地域の活動に参加する	日本語支援等のボランティアに参加する	その他	特にない	不明・無回答
全体 (n=913)		68.1	41.1	11.3	24.0	13.4	18.6	5.6	0.5	15.4	2.0
年齢別	10歳代 (n=43)	69.8	58.1	18.6	23.3	16.3	18.6	9.3	0.0	9.3	0.0
	20歳代 (n=71)	74.6	56.3	21.1	29.6	16.9	11.3	12.7	0.0	4.2	0.0
	30歳代 (n=102)	73.5	48.0	20.6	25.5	9.8	15.7	6.9	0.0	8.8	1.0
	40歳代 (n=124)	71.8	45.2	12.1	18.5	15.3	14.5	5.6	1.6	12.1	0.0
	50歳代 (n=126)	61.9	41.3	8.7	19.8	15.1	16.7	4.8	0.0	16.7	2.4
	60歳代 (n=160)	64.4	37.5	8.8	24.4	13.8	23.1	5.0	0.6	21.9	1.3
	70歳代 (n=180)	68.9	36.1	5.0	25.0	13.3	20.0	2.2	1.1	15.6	5.0
	80歳以上 (n=101)	65.3	26.7	8.9	25.7	8.9	24.8	5.0	0.0	24.8	3.0

(22) 外国人市民と共に暮らすために、必要な市の施策（複数回答）

問 22 外国人市民と共に暮らすために、特に必要だと思う市の施策は何ですか。（〇はいくつでも）

必要な市の施策についてみると、「多様な言語での生活相談」が39.5%で最も高く、次いで「外国人への偏見・差別をなくす取組」が36.9%、「外国籍の子どもに対する教育支援」が35.7%となっています。

年代別にみると、10～20歳代・40～50歳代は「多様な言語での生活相談」が最も高く、30歳代は「外国籍の子どもに対する教育支援」、60～70歳代は「外国人への偏見・差別をなくす取組」、80歳以上は「外国人のための日本語教室の開催」が最も高くなっています。



単位: %		多様な言語での生活相談	日本人との交流会やイベントの開催	外国の文化や習慣などの紹介	外国人のための日本語教室の開催	日本人のための外国語講座の開催	日本の文化や生活情報を多様な言語で紹介	外国人への偏見・差別をなくす取組	日本人との意見交換・話し合いの機会づくり	外国籍の子どもに対する教育支援	外国人に対する防災対策	外国人の意見や提案する機会づくり	その他	不明・無回答
全体 (n=913)		39.5	26.4	25.5	34.7	13.6	30.8	36.9	21.0	35.7	21.5	17.7	2.1	6.8
年齢別	10歳代 (n=43)	51.2	18.6	18.6	30.2	16.3	16.3	41.9	18.6	27.9	20.9	16.3	0.0	4.7
	20歳代 (n=71)	52.1	23.9	26.8	32.4	29.6	32.4	45.1	22.5	42.3	21.1	31.0	0.0	1.4
	30歳代 (n=102)	40.2	21.6	27.5	32.4	17.6	31.4	35.3	15.7	41.2	24.5	15.7	1.0	5.9
	40歳代 (n=124)	46.8	23.4	29.0	37.9	19.4	25.8	27.4	21.0	37.1	16.9	12.1	3.2	1.6
	50歳代 (n=126)	41.3	28.6	28.6	34.1	12.7	31.0	34.1	17.5	38.9	17.5	19.8	1.6	4.0
	60歳代 (n=160)	38.1	28.1	25.0	36.3	7.5	37.5	41.3	21.3	37.5	17.5	19.4	1.9	4.4
	70歳代 (n=180)	32.8	27.8	24.4	34.4	8.3	36.1	38.9	23.9	33.3	27.8	15.6	2.8	13.3
	80歳以上 (n=101)	28.7	29.7	21.8	35.6	10.9	22.8	34.7	25.7	25.7	25.7	16.8	4.0	13.9

(23) 多文化共生に関する取組についてのご意見等（自由回答）

問 23 多文化共生に関する取組などについてご意見等ありましたらお聞かせください。

- 自由回答記述回答者：120人
- 同一の回答の中に複数の意見等がある場合は、個別にカウントしています。そのため回答総数は回答者数を超えています。
- また、長文の回答等は適時要約しています。

	回答件数
相互理解、協力、交流について	40
生活ルール等について	15
子どもの教育・保育等について	3
多文化共生の意識啓発・醸成等について	24
市や国（行政）、企業等に望むこと	17
その他	27
総計	126

1. 相互理解、協力、交流について（抜粋）

- まずは挨拶からだと思う。毎日会う人ならば、挨拶することで心を開いてくれるのではないかと思う。
- 日常生活においては、外国人に対して、偏見なく声をかけて接していくべきだと思う。国情とは別に、同じ人間として接することが大事で、国情と個人は別であると思う。
- 気軽に顔を合わせられる場所づくりが必要だと思う。
- 学びの森や公園等で外国人が出展やステージをするイベントを開催すれば、交流しやすいと思う。
- 外国人の、日本に対する意見や疑問などを意見交換する場所を、月1回でもいいので提供し、発信し続けることが大切だと思う。
- 外国人住民のコミュニティに入り、各務原市のルールを共有できるキーパーソンを作ることが必要だと思う。
- 自治会とかにも積極的に外国人が参画できる仕組みを構築することができれば良いと思う。
- 外国人市民も地域の人と積極的に取り組むため、自治会にも加入してもらい地域を知ってもらうとともに、交流会を通じて日本を知ってもらいたいと思う。
- 子どもの頃から学校教育の中で外国人や外国文化等に接することで、理解することが大切だと思う。
- 知らない内に引っ越して来て、知らない間にいなくなる。貸主が積極的にして下さると交流が取り易い。出身国がわかるだけで、迎える側もある程度理解できることもあると思う。
- 英語圏外の外国人や英語が不得意な市民に対して、共通言語として英語教育を充実してほしい。

2. 生活ルール等について（抜粋）

- 日本人の生活習慣、ルールをしっかり守ってもらう働きかけを行政主導で行ってほしい。
- 各務原市に居住してる外国人は、各務原市のルールや規則・規範を覚え守ってもらい、近隣住民と仲良くスムーズな生活を送れるようにしてほしい。
- ゴミ出し当番を無くし、外国人も住みやすくする。仕事などで当番に参加できない人もいるため、当番があるから自治会に参加したくないということになっていると思う。
- 地域では自治会の未加入、ゴミ出しルール違反等が見受けられる。
- コロナ対策（マスク・消毒・3蜜等）について、しっかり教育してほしい。
- 日常生活においては特に問題は無いが、災害時は日本の習慣を理解してもらうことが大事だと思う。

3. 子どもの教育・保育等について（抜粋）

- 子育て中の外国人ママ達と交流できる場があれば、幼稚園や小学校に入学した時など、日本人の保護者の輪に入りやすいかと思う。子ども達も幼い頃から交流があれば親しみやすいと思う。
- 外国籍の子どもには平等な教育をしてあげてほしい。
- 将来この国で暮らさなくてはならない子どもが大半を占めると思うため、ちゃんと生きる力をつけてあげてほしい。

4. 多文化共生の意識啓発・醸成等について（抜粋）

- 市民一人ひとりの意識を変える活動が必要だと思う。
- 互いに言葉がわかれば文化やものの考え方を知ることができ、共生していけると思う。
- 多文化共生のためには、いろいろな国の通訳が必要だと思う。
- 海外での実践の中で、取り入れられそうなものがあれば導入する。また、外国人居住者が多い市町村を参考にすると良いと思う。
- 日本の子どもたちが海外の文化に触れる機会が増えたら良いと思う。直接体験する機会をもてた子どもは、自然に外国人に偏見がない大人に成長すると思う。
- 外国人の方と触れ合う経験をより多くさせることで、子供が将来に大人になったときに、外国人市民とよりよく暮らせることにつながるのではないかなと思う。
- 外国人を低賃金労働者として当てにするのではなく、必要な人材として活用すべきであり、その工夫も図る必要があると思う。
- 生まれ育った生活様式の違いを感じる。多文化共生は大変難しいことと思う。
- 市でこのような活動をしていることは、将来において意義のあるものであると思う。
- 人口減少の未来を鑑みれば、市による多文化共生への試みは必須だと思います。
- 市が多文化共生に取り組んでいることすら知らない。いろいろな取り組みをアピールしたほうが良いと思う。

5. 市や国（行政）、企業等に望むこと（抜粋）

- 日常の問題は市の広報をデジタル化し、それぞれの国の言葉で翻訳できれば、すれ違いや勘違いが減ると思う。
- 外国の方も生活があるので、きちんとバックアップできる環境をまずは市で整えてほしい。
- ルールを守る外国人は一部の方のみです。全ての外国人に行政は説明等を行ってほしい。
- 働いている中で日本語を勉強する時間や教室に通える時間を作ってあげてほしい、市や雇用している会社ができればいいと思う。
- 職を失った外国人に対する支援強化。
- 幼い子に障害がある場合、早期に民生児童委員等が支援できるとよい。
- 行政としては、各種イベントや自治会行事などに参加してもらえるように伝えることが大事だと思う。外国人も日本人同様、仕事や学校などで平日は動いている人も多数おり、開催するのは平日以外の土日祝日が望ましいと思う。
- お互いを知るための機会を、行政も力を貸してもっと開催していけたら良いと思う
- 月2回発行される市報に、外国の文化や習慣を紹介する等を考えたらと思う。
- 外国人は広報や役所のインターネットはほとんど見ておらず、SNS で友人同士での情報伝達が多いため、SNS で行事やイベント、意見交換等を発信し続けることが大切だと思う。
- 言葉が通じない、文化やマナーがわからない等々、基本的なことの行き違いからトラブルが予測されるため、どこの課で対応してもらえるのか広報活動をしてほしい。

6 その他／とくになし

IV 団体・企業ヒアリング調査結果

1. 調査の目的

各務原市における多文化共生に係る現状と課題を把握し、計画づくりや施策の立案に活用することを目的として、関係団体・企業へのヒアリングを実施しました。

2. 調査概要

調査対象者	各務原市内の多文化共生に係る各種団体・企業
調査方法	聞き取り方式又はFAXによる回収
調査期間	令和4年1月12日～令和4年1月13日
対象団体・企業数	関連団体：4団体 企業：6社

3. 調査結果

多文化共生を推進するにあたり、一番大事な項目はコミュニケーションという意見が団体・企業ともに多く、イベントの開催やコミュニティの創出・活性化を求める声が上がっていました。

また、コミュニケーションを図るためには、言葉の壁を払拭しないといけないといった意見が多く、日本語学校の充実ややさしい日本語の普及などを求める意見がありました。

さらに、お互いに尊重し合いながら互いを理解するためには、お互いの文化や考え方を知ってもらう機会、知る機会が必要だが、その機会が少ないという声もありました。今後は子ども達が中心になるとの意見も見受けられ、子ども達が交流できる場を増やすことで、多文化理解が進むよう、子ども達に焦点を当てた施策が必要との声も上がっていました。

【主な意見】

①コミュニケーションについて

- ・スポーツは世界共通で分かり合える部分だと思うため、スポーツ大会を通じて交流の場を作るなど、皆をまとめる方向でイベントを行うことができれば良いと思う。
- ・今少ないと感じているのはエンターテインメント系のイベントだと思う。趣味やスポーツ、エンターテインメントなど娯楽について外国人をターゲットにしたものが無いと思う。
- ・外国人を巻き込めるようなイベントが沢山あると良いと思う。
- ・ワークショップやイベントなどは意識のある人じゃないと来ないと思う。単に保護者に来てほしいと言っても難しい。子供の興味を向かせることができれば、保護者も一緒に来てくれるのではないかと考えている。
- ・これからの時代は子供が中心だと思っている。そのため、子ども達が交流できる場を増やすことや、子ども達の多文化理解が進むように努力すれば良いと思っている。
- ・外国人でも日本の大学を卒業しているというケースも増えている。このように、子供に焦点を与えていくと、15年、20年後に違いが出てくると思う。

- 職場では2～3か月に1回は近場で食事をするなど、意図的にコミュニケーションを取る場を設けている。
- 教会の中心は礼拝だが、宗教的な場以上に交流や知り合いと合う、相談する場となっておりケーキなどを作ってきて皆で食べながらコミュニケーションを取る場にもなっている。
- 情報発信においては、行政でキーマンを見つけて話をする体制を整えられるのであれば、凄く良いと思う。大切な事であり、その方が情報の伝達は早いと思う。

②言葉の壁について

- 言葉の問題が大きい。日常会話はできる人ではあるが、仕事の詳細が伝わらない。
- 言葉が通じないため、通訳を個人で雇う必要があり、経営における確定申告なども誰かに依頼するという事が必要だった。
- 日本に来る外国人は殆ど仕事をするために日本に来ている。そのため、労働時間が長い人が多い。そうすると、勉強する時間があまりとれず、日本語が話せない事に繋がっている。
- 簡単な単語を理解して頂いたり、自動翻訳や辞書などを見てもらい、言語的に外国人市民にも歩み寄ってもらえると有難い。
- 仕事場では、まずは日本語を少しずつ覚えてもらい、コミュニケーションを取れるようにしている。実習制度には日本語講座も入っている。
- 画像付きの作業仕様書や手順書の外国語版の作成を進めている。
- 「優しい日本語で落語」みたいなイベントがあれば、日本語を学ぶきっかけになるので良いと思う。
- 仕事場に通訳がない国籍の方は、意思疎通が出来ているかと言われれば微妙な部分があると思う。
- 通訳に対して補助があれば良いと思う。
- 日本語教室の出張講義があると有難い。

③相互理解について

- 多文化共生を考えると、日本は凄く動いてくれようとしていて感謝をしているが、外国人側も動いてくれないとダメだと思う。
- お互いに尊重し合う事だと思う。日本にいたので日本の文化も理解しないといけないと思う。
- もう少し打ち解けたらいいなと考えているが、昔からの日本文化は排他的という面もあり、難しいかもしれないと感じている。
- 若い世代の方が繋がりは作りやすいと思う。
- 大人は考え方が固まっており、そこを変えていくのはお金も努力もいるし難しい。やはり子供に焦点を当てた方が将来的な結果も見込めるし、努力もお金も安く済むと思う。
- 例えば「日本にはこのような習慣やルールがある」というような動画を YouTube で配信しみんなに見てもらおうなど。そういった動画を「多文化共生チャンネル」といった感じで、行政に作ってほしい。
- 今後は、外国人の方と一緒に働くことは必須と思う。私たちが、外国人の方を理解できるように不足していることを学ぶことができ、困った時の対処方法を知ることができると有難い。

V 外国人市民ワークショップ調査結果

1. 調査の目的

本調査は、外国人市民の視点から地域課題の洗い出しや相互の理解促進に繋げるとともに、その意見を多文化共生のまちづくりに反映させるために実施します。

2. 調査概要

調査対象者	公募外国人市民7名（市HP等での公募） （ベトナム：4名 ドイツ：1名 アメリカ：1名 ブラジル：1名）
調査期間	令和4年1月23日

3. 調査結果

■テーマ「各務原市で生活する中で日ごろ困ったこと・困ったことの原因・日本人に求めること」

意見として多くあがった項目は①コミュニケーション、②情報発信・入手の手段、③言葉の壁となっており、団体・企業ヒアリング同様、外国人市民にとっても、コミュニケーションに関する要望・質問等が多くなっています。

また、情報の入手においても、その方法がわからないといった意見も見られることから、情報発信の在り方については、コミュニケーションにつながる重要なツールとして、更なる周知・啓発を求める声が上がっていました。

日本語については、勉強方法の質問や「やさしい日本語」を求める意見等もあり、言葉の壁を感じている方も見られました。

【主な意見】

①コミュニケーションについて

- ・日本人・外国人問わず、友達が少ない、身近な友達を作るのがむずかしい。
- ・日本人に対する接し方がわからない。
- ・日本人との共通の話題を知らないこともあるため、会話に入りづらい時がある。
- ・プライベートなことが話せない。
- ・友達ができづらく、友達が少ない。
- ・遊ぶグループを見つけることが難しい。
（日本人・外国人問わず飲み会のような簡単な交流会を見つけることが難しい）
- ・母国の人たちとも交流機会が少ない。
- ・イベントに行ったとしてもみんなと打ち解けられないと思う。
- ・遊ぶグループ等をもっと探したいし、参加もしたい。
- ・日本語を話すには勇気がいる。勇気を与えてくれる人がいればいい。日本人の友達とのそのような出会いがあれば良いと思う。

- ・日本人と仲良くなるきっかけなど、共通の話題があるといいが共通の話題を見つけることが難しい。

■コミュニケーションの成功事例として上がった一例

【キアフェスティバル】

- ・一つの大きな目的に向かって 数力月にわたって頻繁にみんなと集まって計画を立て、一緒に実践まで持っていく、それはとても良かった。
- ・みんなのためにイベントを作るという価値観ややりがいがあり、達成感にもつながった。
- ・頻繁にメンバーと会うため、つながりも作ることができた。

※キアフェスティバル

外国人市民と日本人市民の相互理解を深め、誰もが主役となれる多文化共生のまちを目指し、国際協会が開催する外国人市民参加型イベント。

市にゆかりのある外国人が、ステージイベントやブースを出店。ファッションショーや写真展示などを実施。

【主な意見】

②情報発信・入手の手段について

- ・サポート活動などどの様にスタートすればいいかわからない。
- ・イベントに行こうと思っているが、どこで、いつ、なにをやっているかがわからない。
- ・各務原で開催されているイベントなどはどこから情報収集できるかわからない。
- ・各務原市がHP やラインなどで情報発信していることは知らなかった。
- ・各務原市のラインはほぼ毎日案内が来るが、多すぎてみなくなるため、フェイスブックの方が良いと思う。

【主な意見】

③言葉の壁について

- ・日本語を勉強しようと思っているが、残業などでなかなかできないこともある。また、どのように勉強すればいいのかわからない。
- ・日本語がそこまで上手くないため、人とコミュニケーションを取ることは難しい。
- ・災害があった時に放送やテレビを見ても情報がわからないので困る。
- ・日本人に接客する場合、どうすれば信頼してもらえるのかわからない。日本語の壁がありうまく話すことができず緊張してしまう。
- ・やさしい日本語を話してほしい。

各務原市
多文化共生推進プラン策定調査
結果報告書

各務原市 観光交流課
〒504-855 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地
TEL:058-383-1426 FAX:058-389-0765
発行年月:令和4年3月